

令和5年度 第1回 高知県健康づくり推進協議会

次 第

1 開会

2 議事

- (1) 令和4年高知県県民健康・栄養調査について
(別冊「令和4年高知県県民健康・栄養調査の概要」)
- (2) 第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の達成状況及び令和5年度の取組について
(資料1、資料2-1、2-2、補足資料)
- (3) 第5期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の基本方針等について
 - ①第5期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の基本目標及び基本方針について
(資料3)
 - ②第5期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の骨子（案）について
(資料4)
- (4) 第5期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）策定スケジュール
(資料5)

3 閉会

日時：令和5年6月15日（木） 18時30分～20時30分
場所：高知共済会館 COMMUNITY SQUARE 3階 大ホール「桜」
方法：対面とオンライン（Zoom）の併用開催

第4期高知県健康増進計画



お問合せ先

高知県健康政策部保健政策課

担当：大川、柳、渡部

TEL：088-823-9675

FAX：088-823-9137

高知県健康づくり推進協議会 委員名簿

任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日

所 属 等	役職等	氏 名	備考
高知大学医学部	教授	安田 誠史	オンライン
高知県立大学	教授	池田 光徳	オンライン
高知県医師会	常任理事	◎計田 香子	会場
高知県歯科医師会	理事	有田 佳史	オンライン
高知県薬剤師会	専務理事	堀岡 広稔	欠席
	副情報センター長	浅野 圭二	代理出席 会場
高知県看護協会	常任理事	吉永 恵子	オンライン
高知県栄養士会	会長	新谷 美智	会場
高知産業保健総合支援センター	所長	高橋 淳二	欠席
	副所長	内村 聡一郎	代理出席 オンライン
高知労働局	健康安全課長	吉本 雄一	会場
高知県経営者協会	事務局長	沖田 良二	会場
高知市	健康増進課長	小藤 吉彦	会場
高知県健康づくり婦人会連合会	会長	○熊田 敬子	会場
高知県食生活改善推進協議会	会長	津野 美也	会場
高知県ウォーキング協会	副会長	田村 滋	会場
日本健康運動指導士会高知県支部	支部長	葛岡 善行	会場
高知県国民健康保険団体連合会	保険者支援課長	諸石 恵子	オンライン
高知縣市町村教育委員会連合会	理事	谷 智子	オンライン
高知県保健所長会	会長	福永 一郎	会場

◎会長 ○副会長 (敬称略、順不同)

高知県教育委員会

所 属 組 織	役 職	氏 名
教育委員会 保健体育課	チーフ（食育・学校給食・保健担当）	廣田 志保

事務局

所 属 組 織	役 職	氏 名
健康政策部	副部長	中嶋 真琴
保健政策課	課長	濱田 仁
	保健推進監	酒井 美枝
	チーフ(健康づくり担当)	大川 純子
	チーフ(血管病対策担当)	吉松 恵
	主査	柳 光紀
	主査	渡部 玲

オブザーバー

所 属 組 織	役 職	氏 名	備 考
安芸福祉保健所 健康障害課	チーフ（健康増進担当）	佐々木 小百合	オンライン
中央東福祉保健所	所長	谷脇 淑代	会場
中央東福祉保健所 健康障害課	チーフ（健康増進担当）	前田 由佳	会場
	主査	土居 愛弓	会場
中央西福祉保健所 健康障害課	チーフ（健康増進担当）	沖本 敦子	会場
須崎福祉保健所 健康障害課	チーフ（健康増進担当）	尾崎 美和	会場
幡多福祉保健所 健康障害課	チーフ（健康増進担当）	古居 妙子	オンライン
	技師	氏原 愛絵	オンライン

配席図

熊田副会長

計田会長



- オンライン出席
- ・安田委員
 - ・池田委員
 - ・有田委員
 - ・吉永委員
 - ・内村様(高橋委員代理)
 - ・諸石委員
 - ・谷委員

津野委員



新谷委員



葛岡委員



吉本委員



田村委員



沖田委員



福永委員



小藤委員



浅野様

(堀岡委員代理)



吉松 チーフ	大川 チーフ	酒井 保健推進監	中嶋 副部長	濱田 課長	廣田 チーフ
-----------	-----------	-------------	-----------	----------	-----------



事務局

柳 主査	渡部 主査		
---------	----------	--	--



須崎福祉保健所 中央西福祉保健所

尾崎 チーフ	沖本 チーフ		土居 主査	中央東福祉保健所 前田 チーフ	谷脇 所長
-----------	-----------	--	----------	-----------------------	----------



オブザーバー
(福祉保健所)

--	--	--	--



記者席 (3席)
傍聴席 (3席)

出入口

出入口

出入口

高知県健康づくり推進協議会設置要綱

(目的)

第1条 高知県における健康づくりを推進するために、高知県健康づくり推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 協議会は、以下の事項について協議をするものとする。

- (1) よさこい健康プラン21の具体的な取り組みの推進、進行管理及び評価並びに見直しに関すること。
- (2) 地域保健と職域保健の連携による健康づくり推進に関すること。
- (3) その他県民の健康づくりに必要な事項。

(組織)

第3条 協議会には、専門部会を置き、担当する分野に関する事項を協議し決定することができる。

- 2 専門部会の委員は、会長が指名して決定する。
- 3 専門部会は、協議に必要があると認める場合には、必要に応じて委員以外の者に出席を求め、助言及び意見を聞くことができる。
- 4 専門部会が協議し、調整した事項は、協議会へ報告して協議会が決定したものとみなす。但し、専門部会からの報告は、報告文書を送付して報告に代えることができる。

(委員)

第4条 協議会の委員は、別表1に掲げる機関、団体の代表者などを持って構成し、知事が委嘱する。

(会長、副会長及び部会長)

第5条 協議会に会長1名及び副会長1名を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、協議会の会務を統括し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- 4 専門部会には、会長の指名により部会長1名を置く。
- 5 部会長は、専門部会の会務を統括し、専門部会を代表する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年間とし、再任を妨げない。委員が欠けた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 専門部会の会議は、必要に応じて部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 3 委員はやむを得ない事情により会議に出席できない場合には、会長または部会長の了解を得て、代理人を会議に出席させることができる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、高知県健康政策部保健政策課が行う。

(雑則)

第9条 この要綱で定めるもののほか、協議会及び専門部会の運営に関し必要な事項は、それぞれ会長及び部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成19年2月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年5月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月20日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年6月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月21日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年5月12日から施行する。

別表 1 (第 4 条関係)

高知大学医学部
高知県立大学
高知県医師会
高知県歯科医師会
高知県薬剤師会
高知県看護協会
高知県栄養士会
高知産業保健総合支援センター
高知労働局
高知県経営者協会
高知市
高知県健康づくり婦人会連合会
高知県食生活改善推進協議会
高知県ウォーキング協会
日本健康運動指導士会高知県支部
高知県国民健康保険団体連合会
高知縣市町村教育委員会連合会
高知県保健所長会

令和4年高知県 県民健康・栄養調査の概要



朝食摂取

早寝早起
朝ごはん



減塩

1日の塩分摂取
マイナス1g
たったこれだけ!!



野菜摂取

野菜、もう1皿^(70g)
たったこれだけ!!



禁煙

始めよう
まずは禁煙外来へ!



運動

(約1500歩)
あと15分歩こう
5分×3回でもOK!!



節酒

週2日休肝日
たったこれだけ!!

令和5年3月 高知県

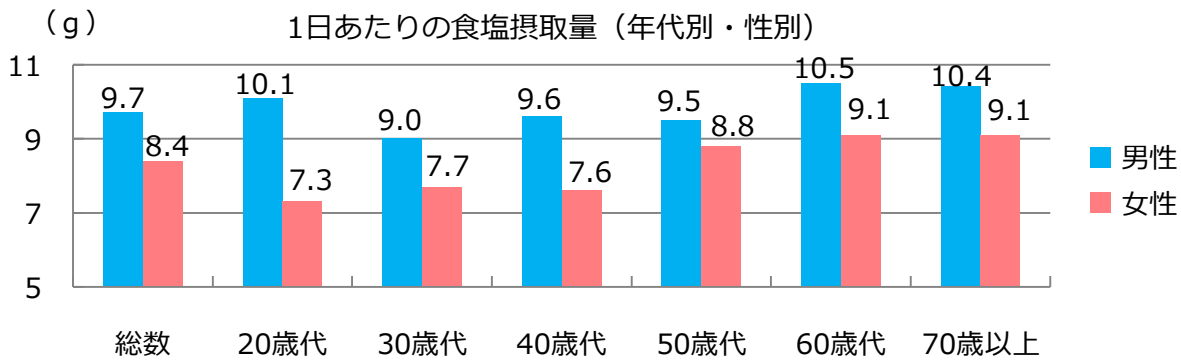
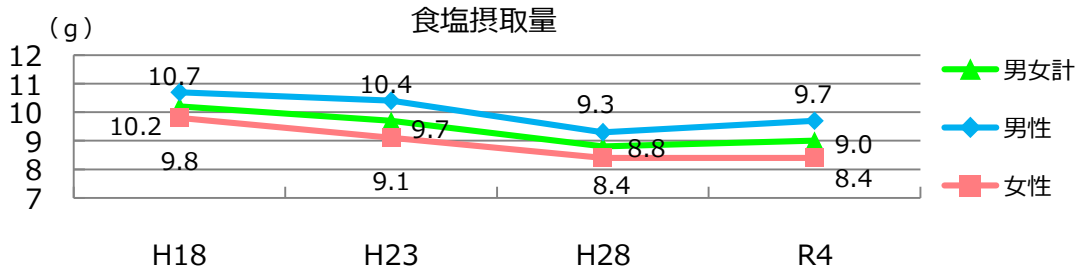
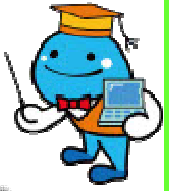
日本一の健康長寿県構想

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けられるために

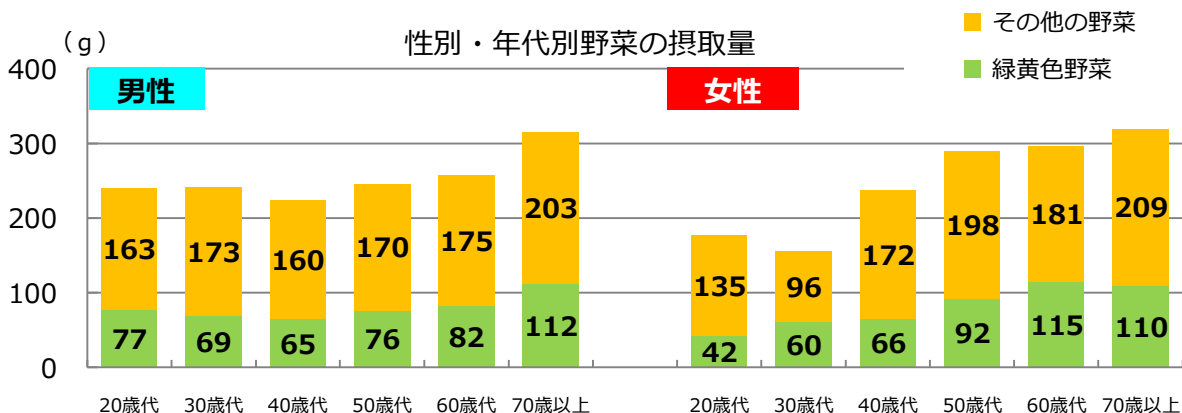
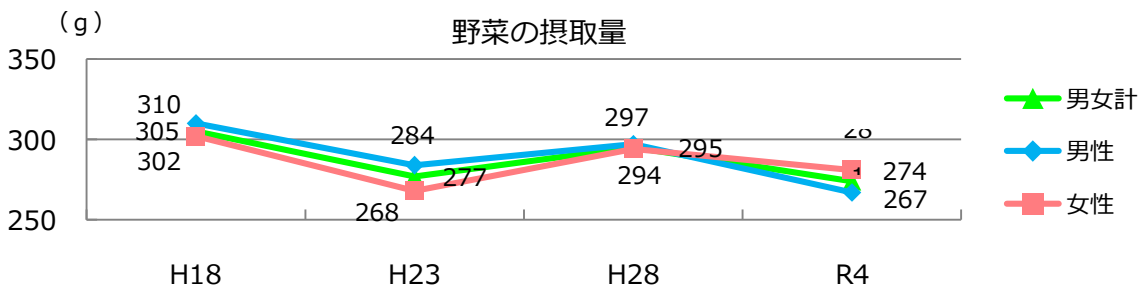
栄養・食生活①



食塩の摂取量は減少傾向にあります。
 しかし、日本人の食事摂取基準（2020年版）によると食塩の目安量は、男性は7.5g未満、女性は6.5g未満となっており、男女とも2gほど多く取っています。
 食塩の過剰摂取は、高血圧の原因の一つです。うす味を心がけましょう。



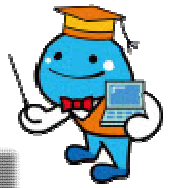
野菜の摂取目標は350g以上ですが、今回の調査では274gでした。
 野菜が不足すると食物繊維、ビタミン、ミネラルなどが欠乏する恐れがあります。
 あと一皿の野菜料理（約70g）を食べましょう。



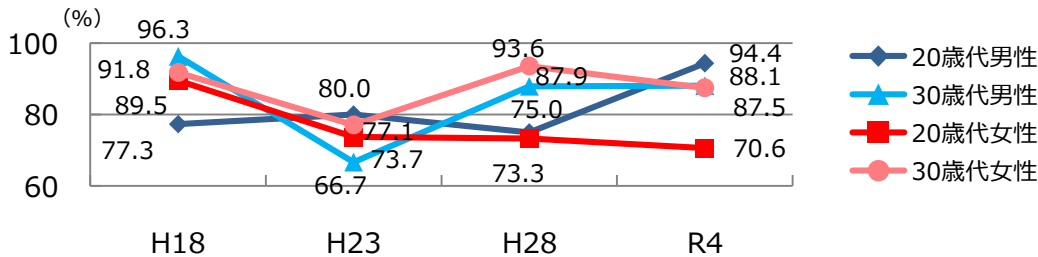
栄養・食生活②



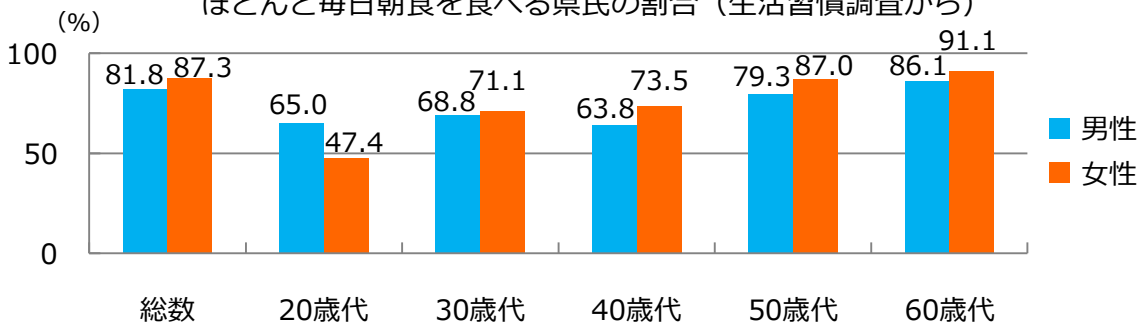
ほとんど毎日朝食を食べる方は84.9%でした。
朝ごはんは活動エネルギーの供給源です。
毎日朝食を摂る習慣をつけましょう。



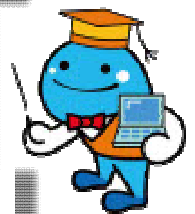
朝食を食べている県民の割合（調査日に朝食を食べていた人）



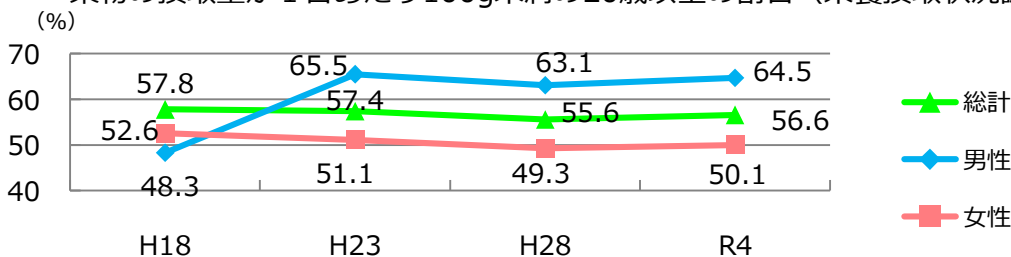
ほとんど毎日朝食を食べる県民の割合（生活習慣調査から）



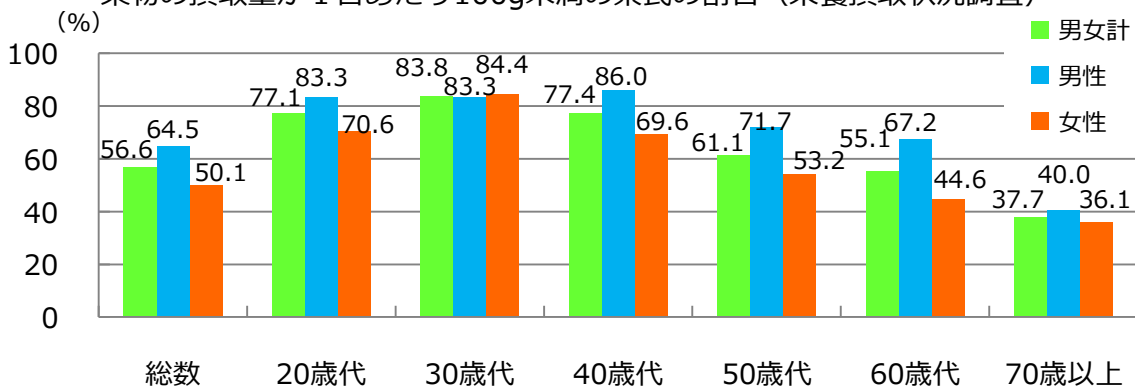
果物の摂取量は1日あたり200gが目安ですが、56.6%の方が100g未満でした。
果物も野菜と同じく、食物繊維、ビタミン、ミネラルなどの供給源です。
適量を毎日食べましょう。



果物の摂取量が1日あたり100g未満の20歳以上の割合（栄養摂取状況調査）



果物の摂取量が1日あたり100g未満の県民の割合（栄養摂取状況調査）

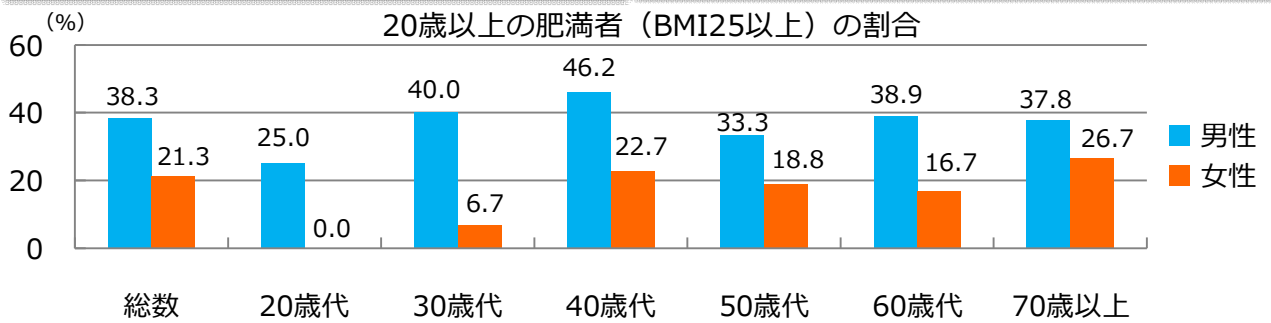
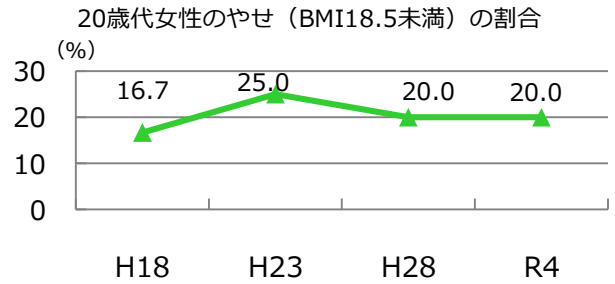
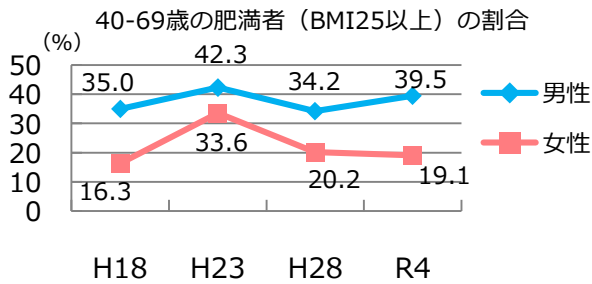
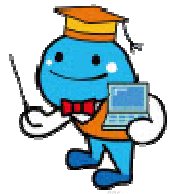


【果物100g〔例〕温州みかん Lサイズ1個、リンゴ ½個、キウイフルーツ1個】

体重

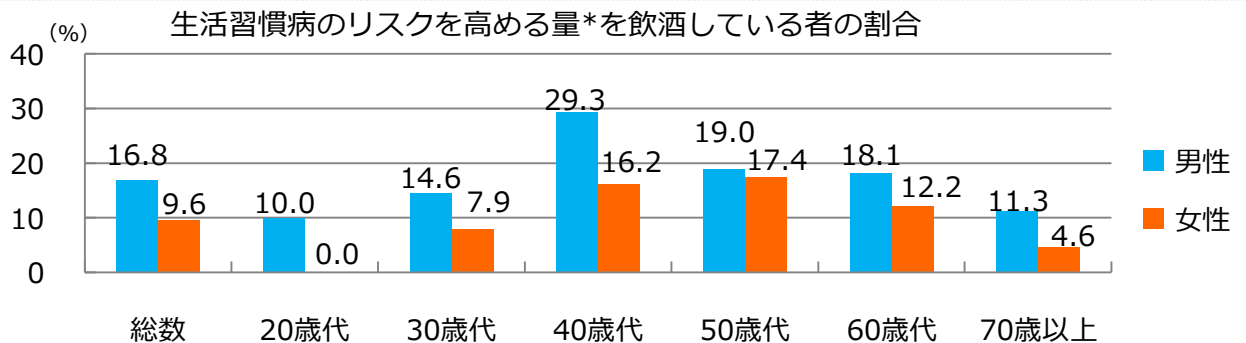
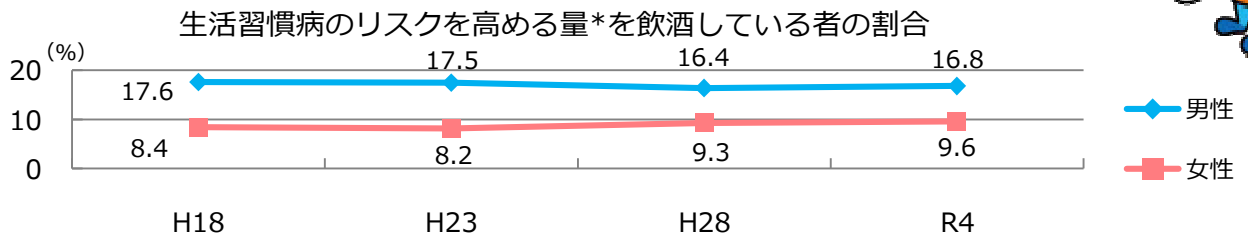
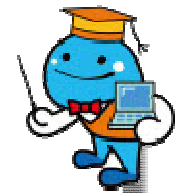
肥満者の割合は男性は増加しました。女性は肥満者の割合、やせの者の割合とも横ばいです。

適正体重の維持が健康の秘訣です。太りすぎ、やせすぎの方は、生活習慣を見直しましょう。



アルコール

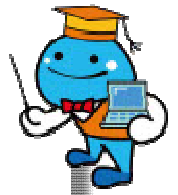
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合はほぼ横ばいです。休肝日をつくり、適正飲酒（男性は1日2合まで、女性は1日1合まで）を心がけましょう。



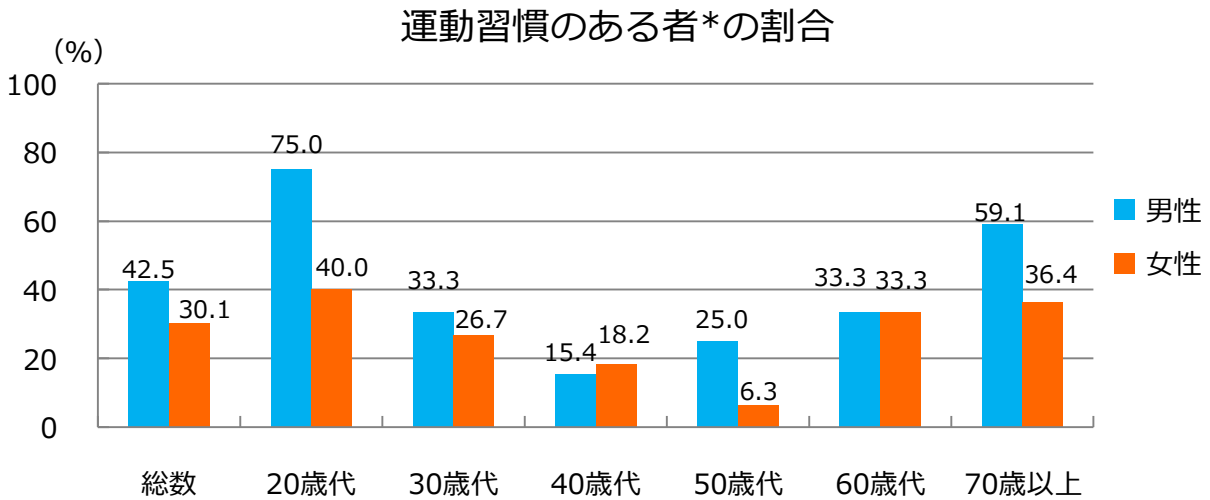
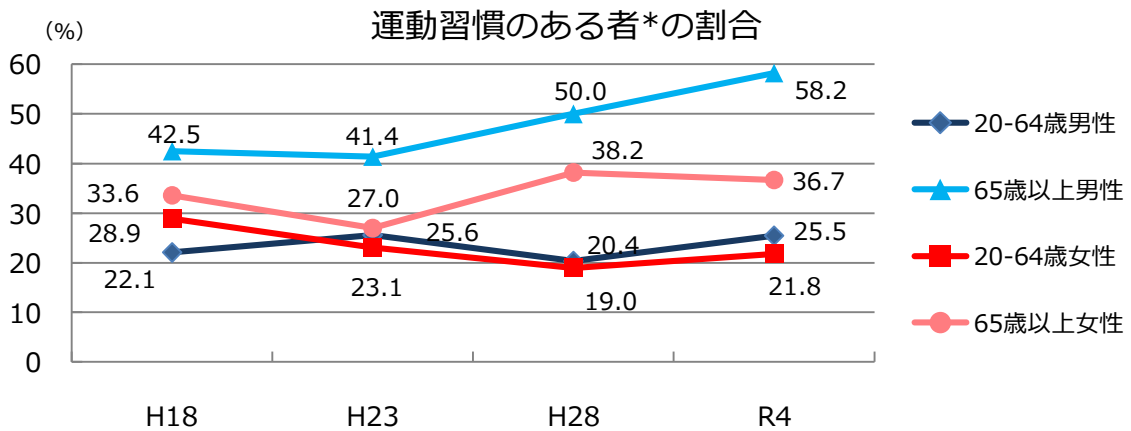
*生活習慣病のリスクを高める量とは、

男性 毎日2合以上、週5~6日2合以上、週3~4日3合以上、週1~2日5合以上、月1~3日5合以上
 女性 毎日1合以上、週5~6日1合以上、週3~4日1合以上、週1~2日3合以上、月1~3日5合以上

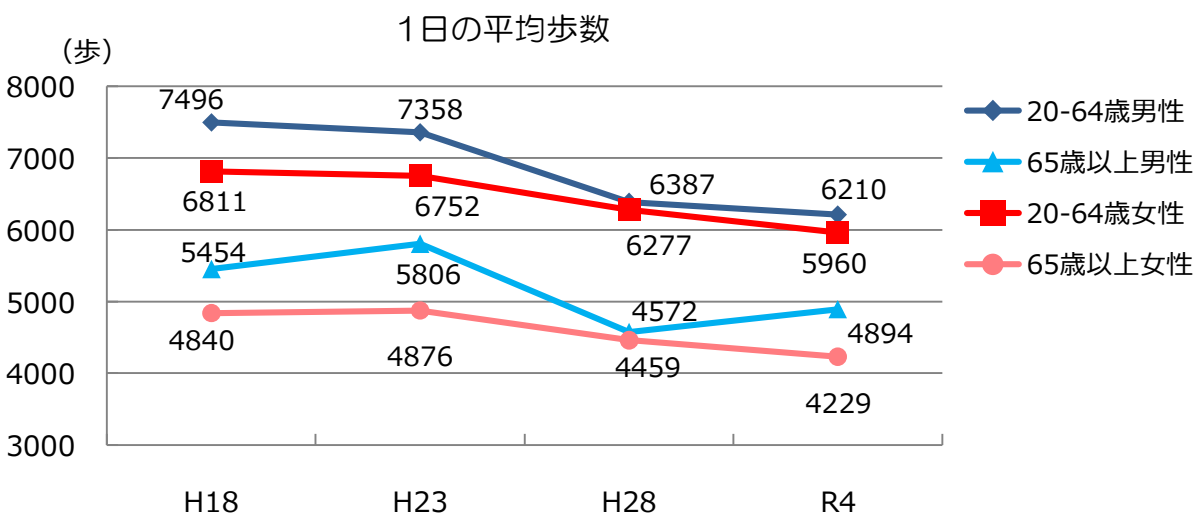
運動



若い世代で運動習慣のある者の割合が低くなっています。65歳以上の女性を除いて、運動習慣のある者の割合が増加しています。今より10分多く体を動かしましょう。

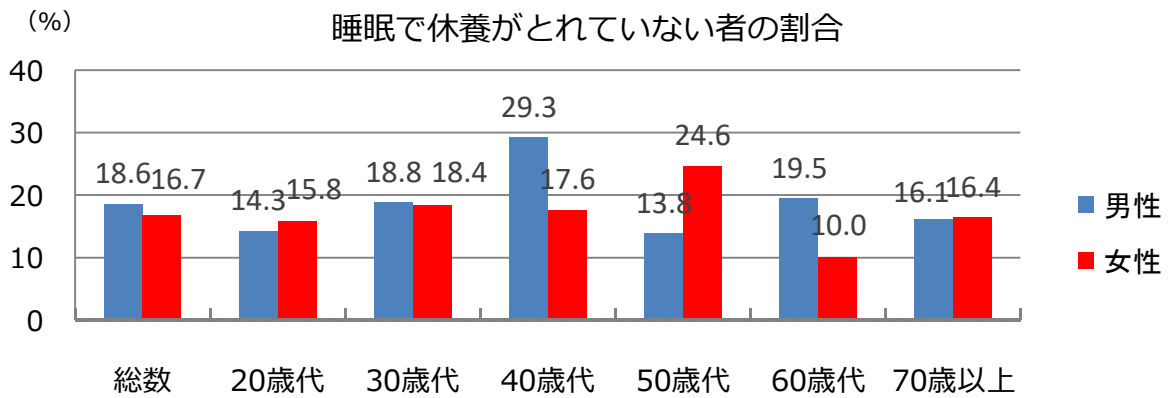
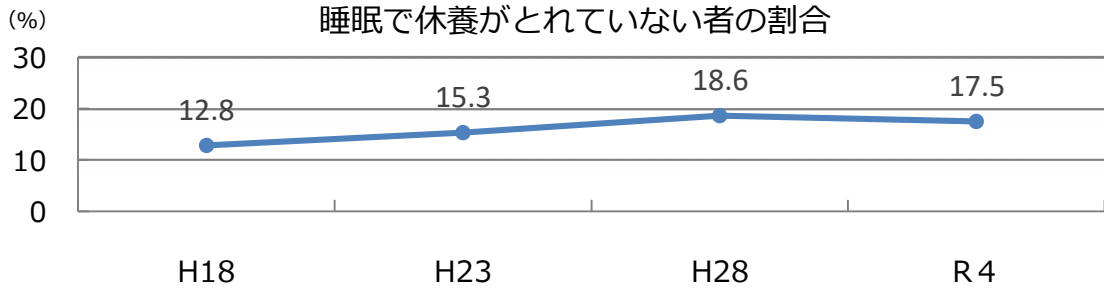
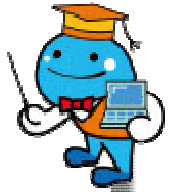


*運動習慣のある者
週2日以上、1回30分以上の運動を1年以上続けている者（医師に運動を禁止されている者を除く。）



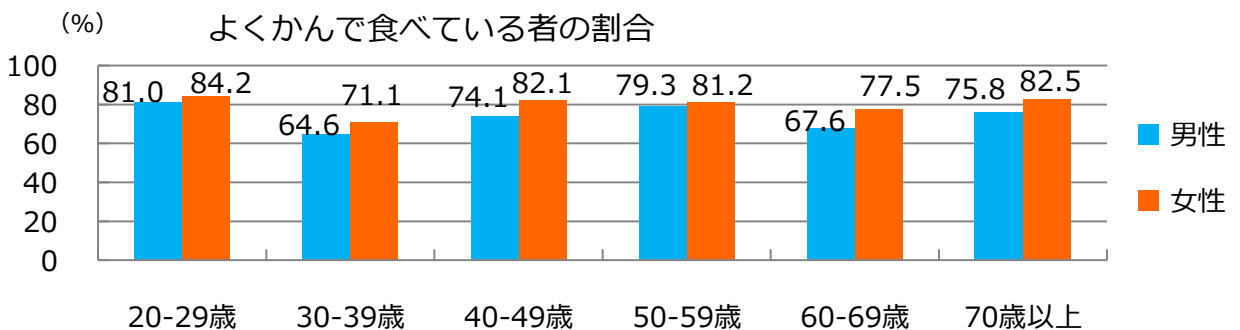
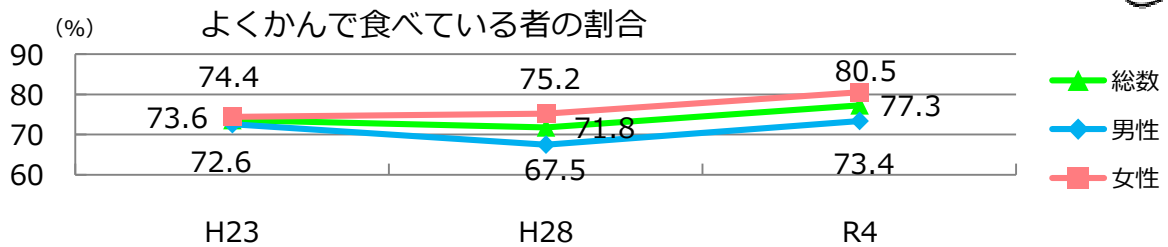
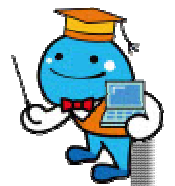
休 養

睡眠で休養がとれていない者の割合は減少しています。
休養で心身の疲れを回復させましょう。



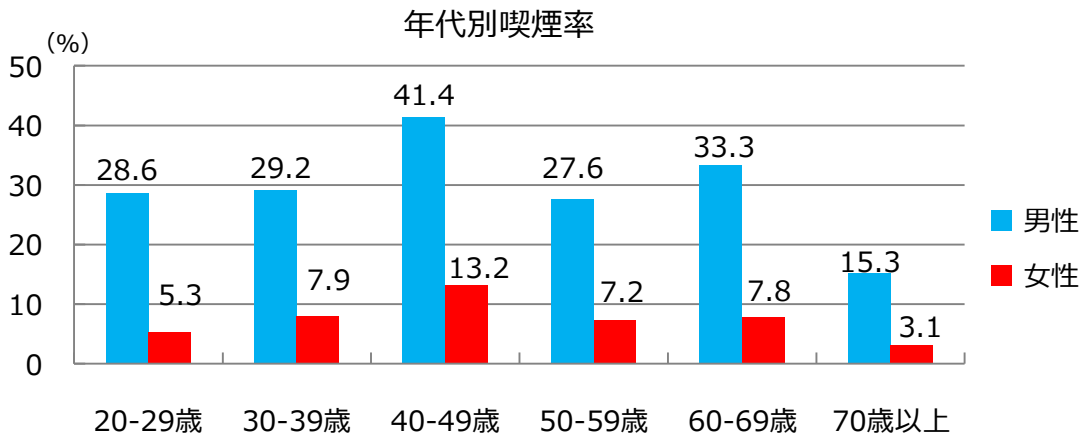
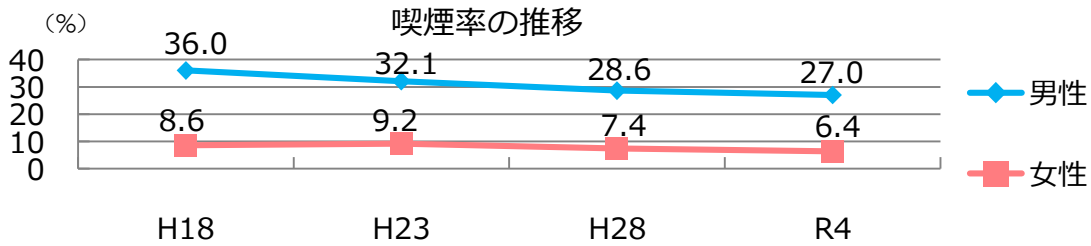
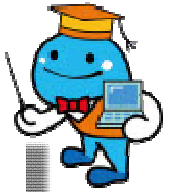
歯・口腔

よくかんで食べている者の割合は増加しています。
ふだんから食べるときには、よくかんで食べる習慣をつけましょう。

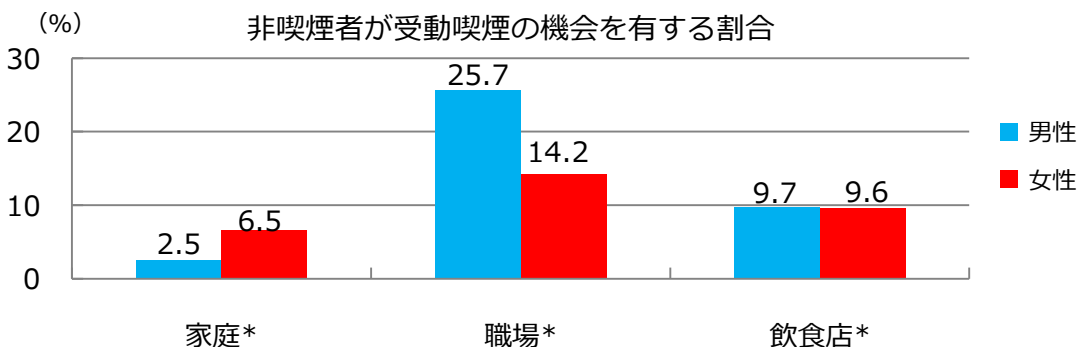
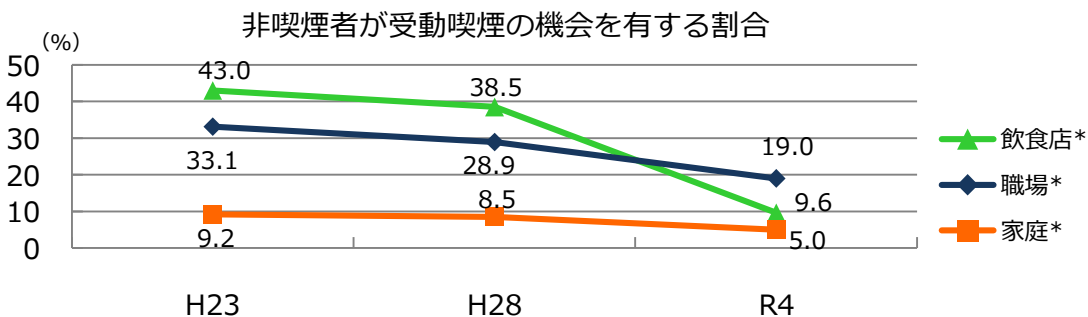
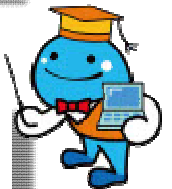


たばこ

男女とも、喫煙者の割合は減少しています。
年代別の喫煙率では、男女ともに40歳代が最も高く、男性は41.4%、女性は13.2%となっています。



非喫煙者が受動喫煙の機会を有する割合は減少しています。
家庭では女性、職場や飲食店では男性が受動喫煙の機会が多くなっています。



*家庭：毎日受動喫煙の機会があった非喫煙者

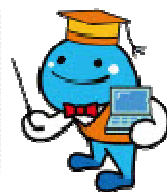
*職場：月1回以上受動喫煙の機会があった非喫煙者（職場に行かなかった人を除く）

*飲食店：月1回以上受動喫煙の機会があった非喫煙者（飲食店に行かなかった人を除く）

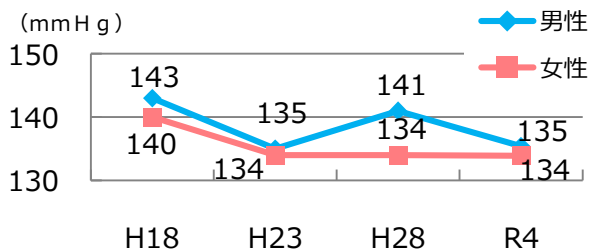
血 圧

血圧（収縮期血圧）の平均値は、男性は低下、女性は横ばいです。また、収縮期血圧130mmHg以上の割合も男女とも減少しています。

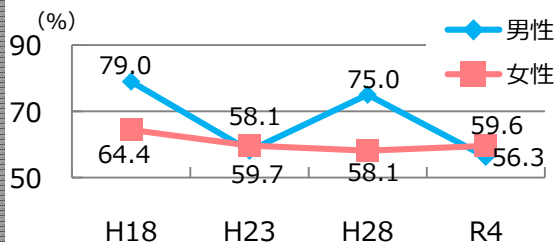
血圧が高い状態が続くと血管を痛め、心臓病や脳卒中などの発症リスクが高くなります。家庭でも血圧を測定されることをお勧めします。



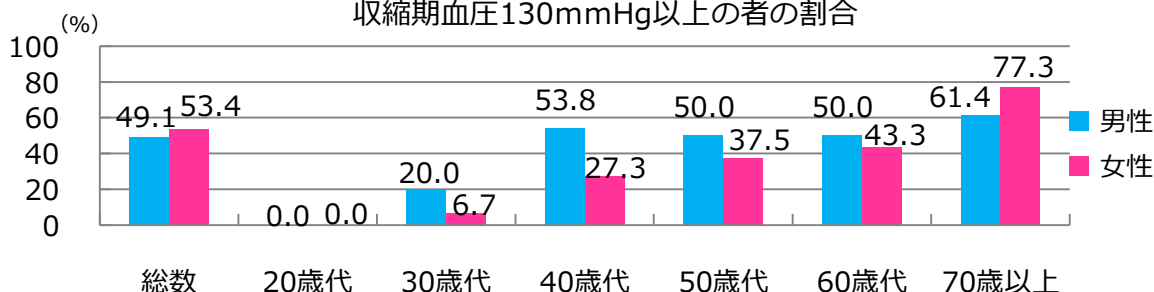
収縮期血圧の平均値（40歳以上）



収縮期血圧130mmHg以上の割合（40歳以上）



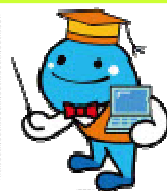
収縮期血圧130mmHg以上の者の割合



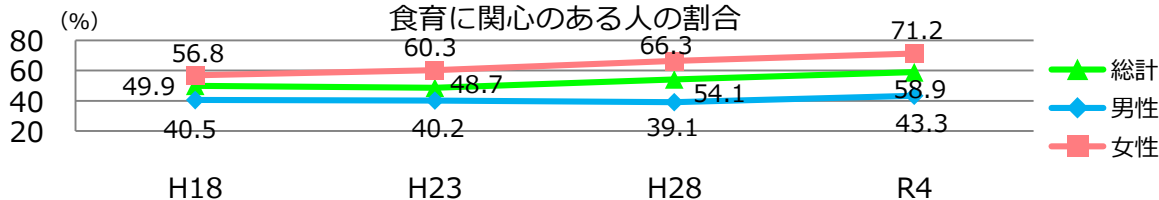
食 育

食育に関心のある人の割合は男女とも増加しています。女性に比べ、男性の関心のある人の割合が低くなっています。

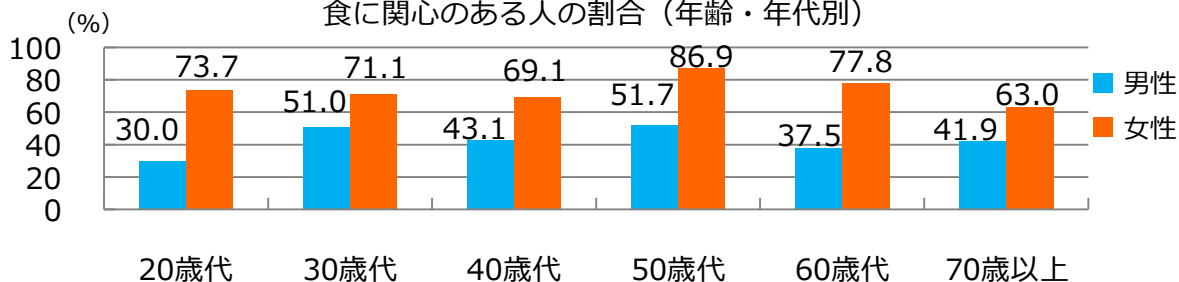
食は自分や家族の健康の他、地域の食文化や産業などに関わりがあるので、関心を持つことは大切です。



食育に関心のある人の割合



食に関心のある人の割合（年齢・年代別）



発行：高知県健康政策部保健政策課

住所：〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号（本庁舎4階）

電話：088-823-9648 FAX：088-823-9137

第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の達成状況

1 「基本目標」の指標

改善傾向にあるもの（A）	変わらない（B）	悪化傾向にあるもの（C）
<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小 脳血管疾患の年齢調整死亡率（10万人あたり） 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（10万人あたり） 		

2 「子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着」の指標

改善傾向にあるもの（A）	変わらない（B）	悪化傾向にあるもの（C）
<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合（女子） 		<ul style="list-style-type: none"> 朝食を必ず食べる子どもの割合 肥満傾向にある子どもの割合 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合（男子）

3 「働きざかりの健康づくりの推進」の指標

改善傾向にあるもの（A）	変わらない（B）	悪化傾向にあるもの（C）
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに一歩踏み出した方の人数（高知家健康パスポートI取得者数） 健康パスポートアプリダウンロード件数 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業所数 		

4 「生活習慣病の発症予防と重症化予防対策」の指標

改善傾向にあるもの (A)	変わらない (B)	悪化傾向にあるもの (C)
<ul style="list-style-type: none"> がん検診受診率 がん検診受診率 (40~50歳代) 特定健診の実施率 特定保健指導の実施率 収縮期血圧の平均値(男性) 収縮期血圧130mmHg以上の人の割合(男性) 未治療ハイリスク者・治療中断者に対する指導の成功率 市町村がん健診の精密検査受診率 (子宮頸がん、乳がん) 	<ul style="list-style-type: none"> 収縮期血圧の平均値(女性) 糖尿病性腎症による新規透析患者数 	<ul style="list-style-type: none"> メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率 降圧剤の服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合(男女とも) 収縮期血圧130mmHg以上の人の割合(女性) 特定健診受診者で糖尿病治療中の者のうち、HbA1c7.0%以上の人の割合 (男女とも) 市町村がん健診の精密検査受診率 (肺がん、胃がん、大腸がん)

5 「分野ごとの健康づくりの推進」の指標

改善傾向にあるもの (A)	変わらない (B)	悪化傾向にあるもの (C)
<ul style="list-style-type: none"> 適正体重を維持している人の割合 (40~60歳女性) 65歳以上低栄養傾向の割合 (男女とも) 日常生活における歩数 (65歳以上男性) 運動習慣者 (65歳以上女性を除く) 睡眠による休養を十分とれていない人の割合 自殺者 成人の喫煙率 (男女とも) 受動喫煙の機会を有する人の割合 一人平均むし歯数 定期的に歯科健診を受けている人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> 適正体重を維持している人の割合 (20歳代女性のやせ) 	<ul style="list-style-type: none"> 適正体重を維持している人の割合 (40~60歳男性) 食塩摂取量 野菜と果物の摂取量 日常生活における歩数 (65歳以上男性を除く) 運動習慣者の割合 (65歳以上女性) 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合 (男女とも) 歯肉炎罹患率 80歳以上で自分の歯を20本以上有する人の割合

※「40歳代で進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットあり)に罹患している人の割合」は計画策定時の数値がないため、評価不可

1 「基本目標」の指標

項目：健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小

① 目標達成状況

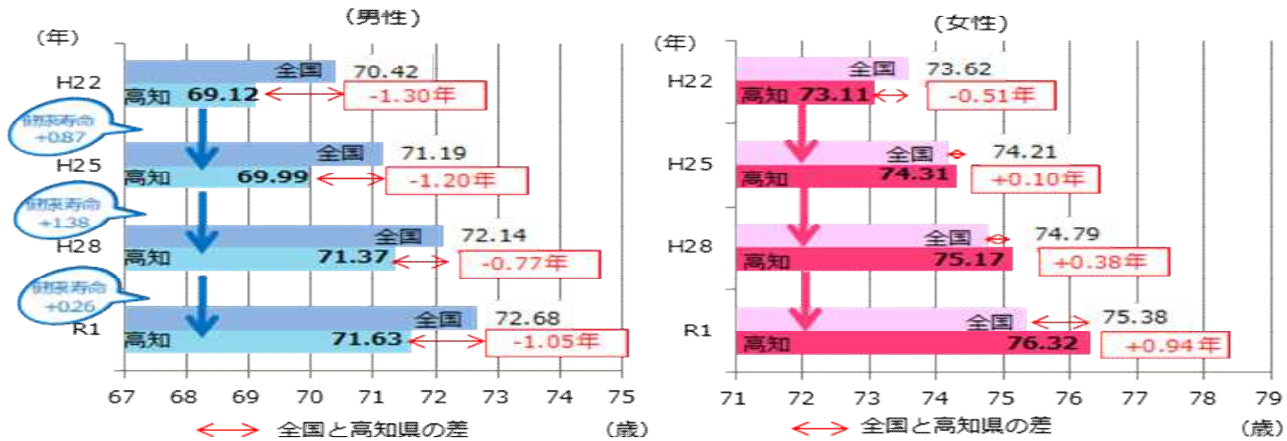
指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和元年度	達成状況
健康寿命の延伸と 都道府県格差の縮小	男性 73.02年以上 女性 77.47年以上	男性 69.99年 (全国第46位) 女性 74.31年 (全国第29位)	男性 71.63年 (全国第43位) 女性 76.32年 (全国第8位)	男女とも A

健康寿命

⇒女性は全国平均を上回り改善傾向にある。

男性は改善傾向にあるものの、全国平均を下回っている。

(グラフ7) 健康寿命



出典：厚生労働省 第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会資料

項目：壮年期死亡率の改善

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和3年度	達成状況
脳血管疾患の年齢 調整死亡率 (10万 人あたり)	男性 34.0 女性 16.0	男性 37.6 女性 20.2	男性 33.10 女性 18.23	男女とも A
虚血性心疾患の年 齢調整死亡率 (10 万人あたり)	男性 34.0 女性 11.0	男性 36.1 女性 11.7	男性 31.31 女性 9.47	男女とも A

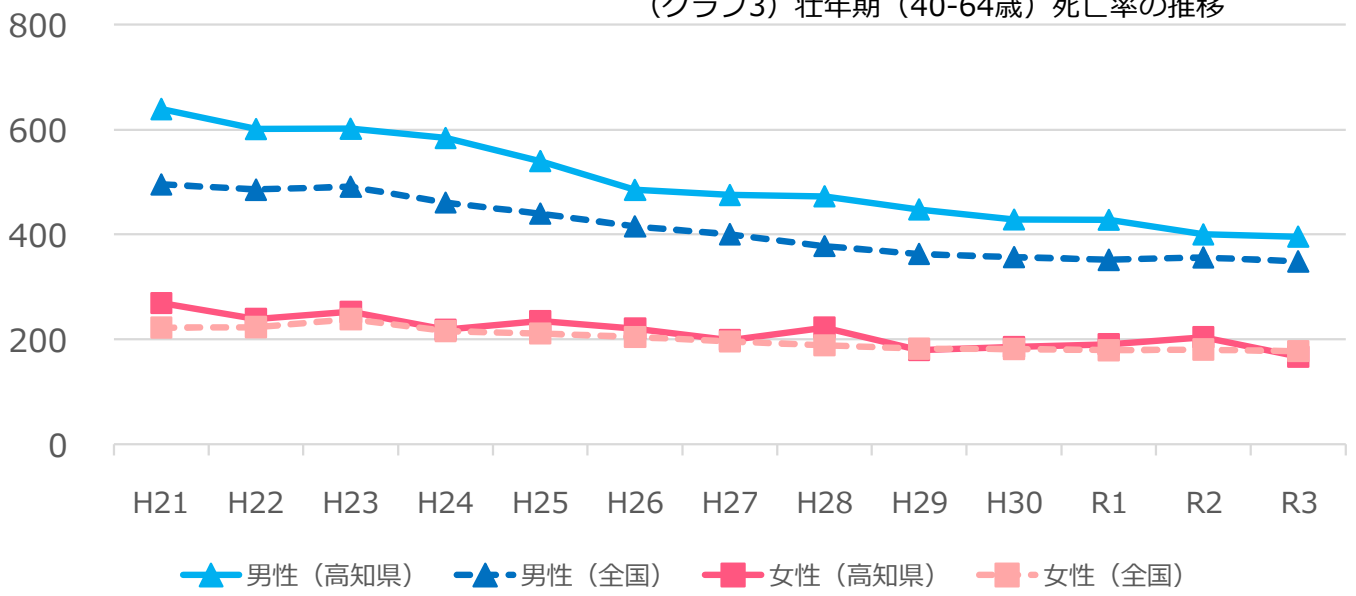
脳血管疾患の年齢調整死亡率 (10万人あたり)

⇒改善傾向にあるものの、全国平均を上回っている。

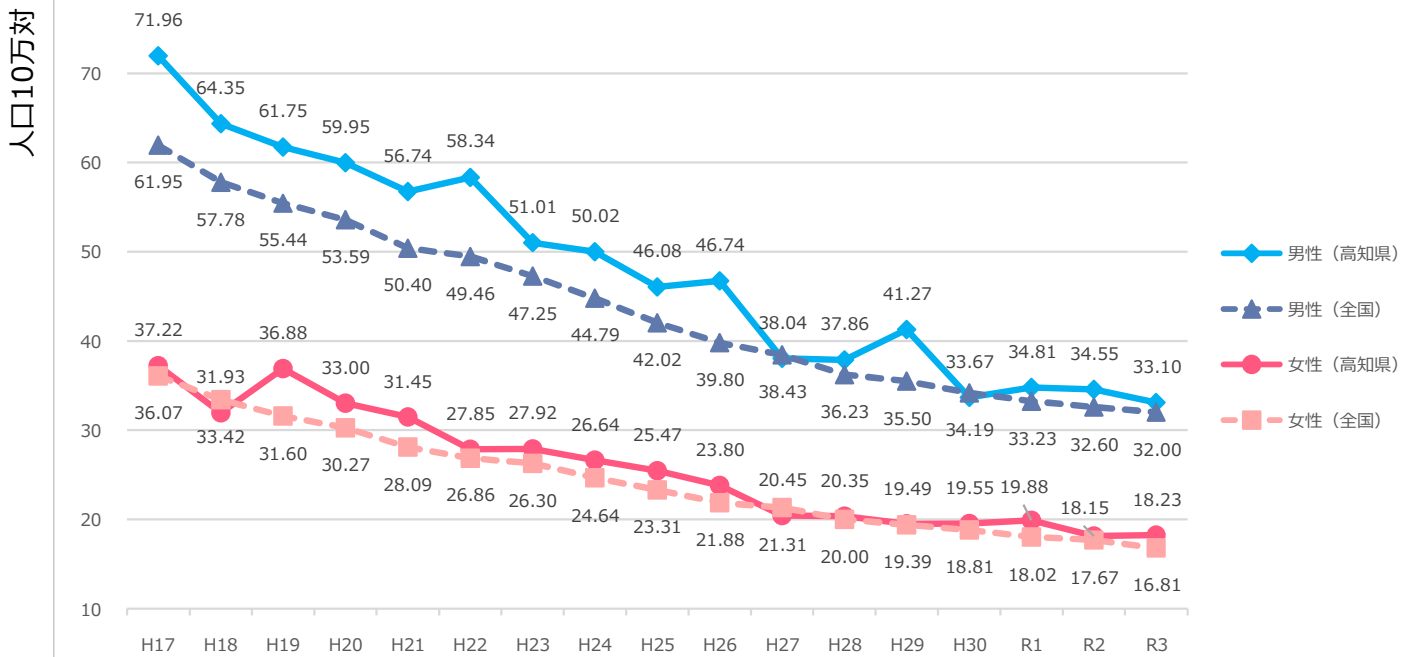
虚血性心疾患の年齢調整死亡率 (10万人あたり)

⇒改善傾向にあるものの、全国平均を上回っている。

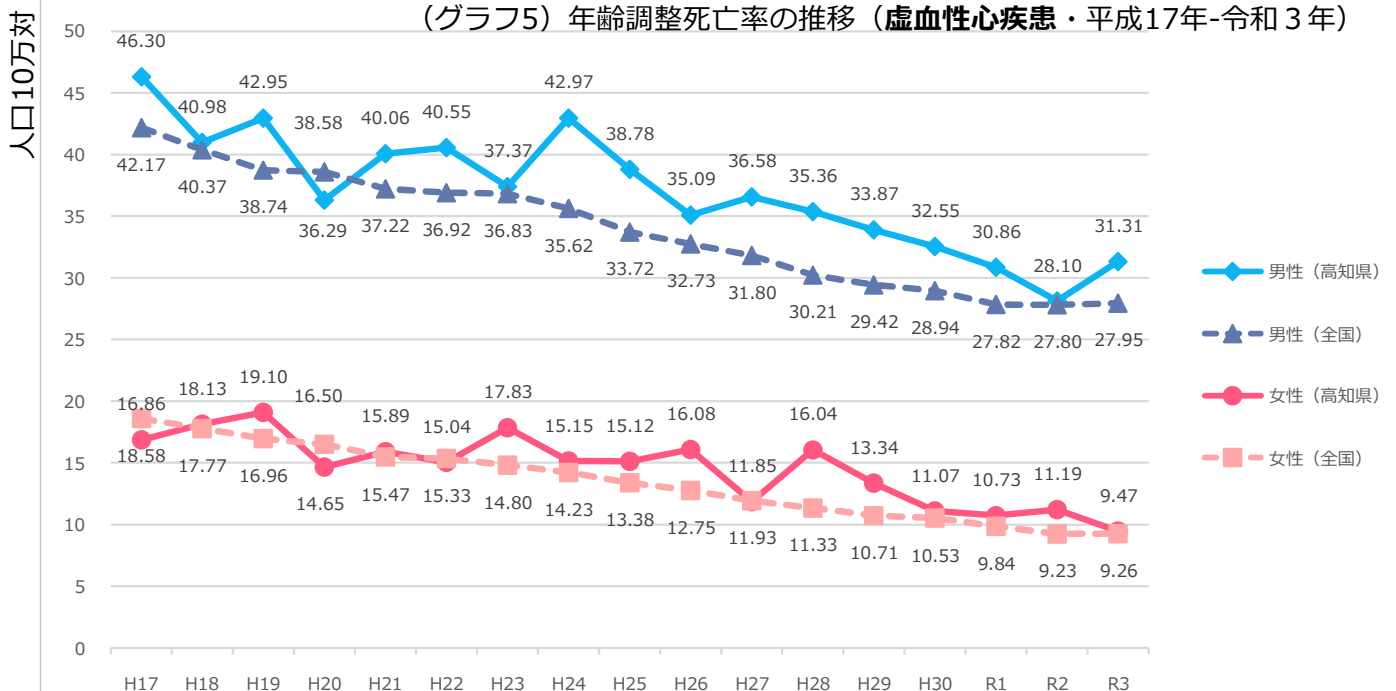
(グラフ3) 壮年期 (40-64歳) 死亡率の推移



(グラフ6) 年齢調整死亡率の推移 (脳血管疾患・平成17年-令和3年)



(グラフ5) 年齢調整死亡率の推移 (虚血性心疾患・平成17年-令和3年)



- ② これまでの取組
 - ・日本一の健康長寿県構想に基づく各種取組
- ③ 課題
 - ・壮年期男性の死亡率が依然として全国平均より高い。
- ④ 今後の方向性
 - 子どもの頃からの健康づくりの推進

 - 働き盛りの健康づくりの推進

 - 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策
(ポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチの強化)
 - ポピュレーションアプローチ
 - ・高知家健康チャレンジによる啓発の強化
 - ・高知家健康パスポートアプリを活用した事業所や市町村の取組支援
 - ・フレイル予防の推進

 - ハイリスクアプローチ
 - ・がん検診受診率の向上対策の推進
 - ・特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の推進
 - ・血管病重症化予防対策の推進
(糖尿病性腎症対策・循環器病対策)

2 「子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着」の指標

項目：こども

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
運動やスポーツを 習慣的にしている 子どもの割合	増加傾向	小学5年生 男子 58.0% 女子 39.0%	小学5年生 男子 55.0% 女子 40.0%	男子 C 女子 A
朝食を必ず食べる 子どもの割合	95%以上	小学5年生 男子 86.0% 女子 85.0%	小学5年生 男子 84.0% 女子 83.0%	男女とも C
肥満傾向にある 子どもの割合	全国平均以下	小学5年生の中等 度・高度肥満傾向 児の割合 男子 5.3% 女子 4.3%	小学5年生の 中等度・高度 肥満傾向児の 割合 男子 8.0% 女子 5.3%	男女とも C

② 現状（傾向）

運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合
⇒ 男子 悪化傾向にある 女子 改善傾向にある
朝食を必ず食べる子どもの割合
⇒ 悪化傾向にあるが、全国との差は縮まっている
肥満傾向にある子どもの割合
⇒ 悪化傾向にある

③ これまでの取組

- ・ 3歳児及び就学前の保護者に基本的な生活習慣に関するパンフレットを配布
- ・ 小・中・高等学校の授業で副読本を活用した健康教育を実施
- ・ 学校関係者を対象とした研修会で健康教育推進を周知
- ・ 健康教育に関する出前講座の実施
- ・ 地域の住民組織（ヘルスマイト）と連携した健康教育を実施

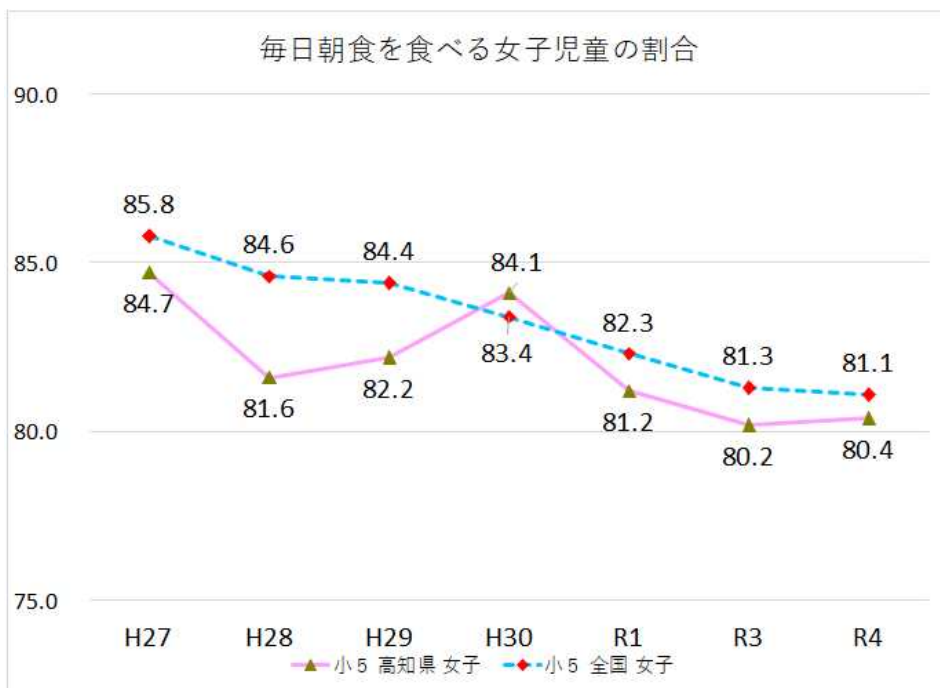
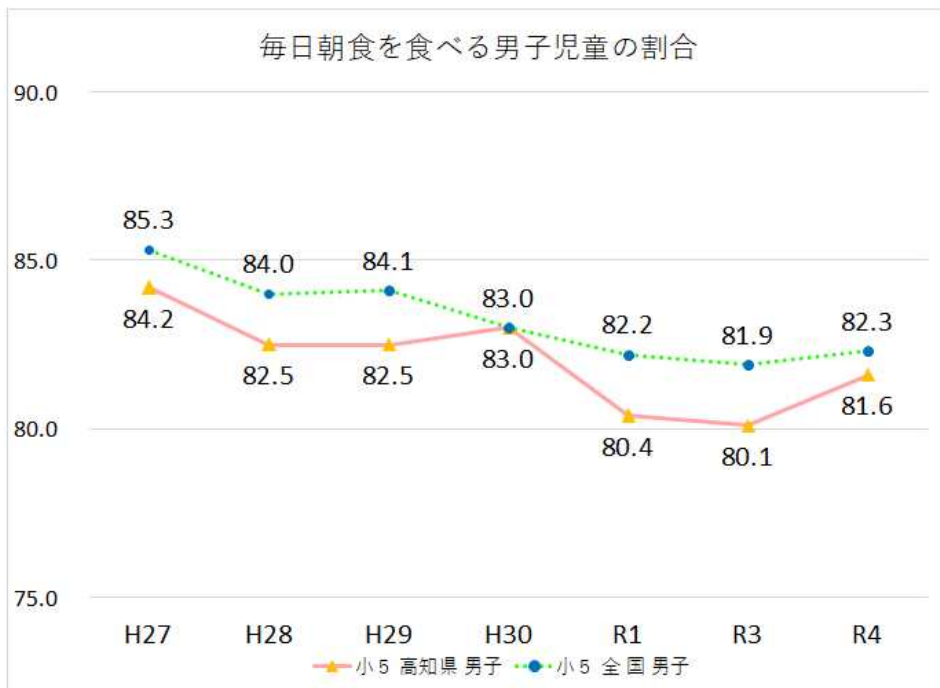
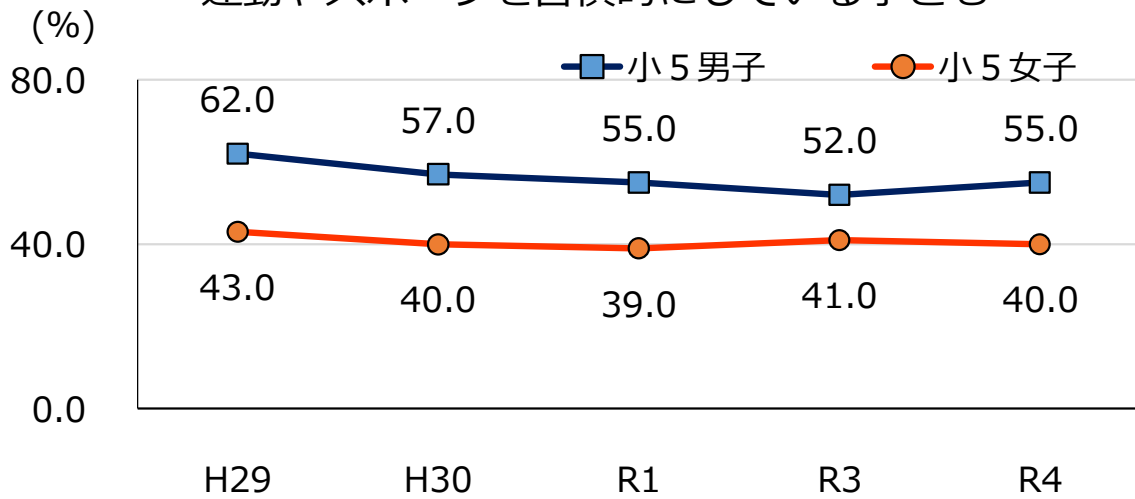
④ 課題

- ・ 朝食欠食率や、肥満傾向にある子どもの割合は悪化傾向にあり、効果的な健康教育の実施が必要
- ・ 望ましい生活習慣（運動、食習慣）を身につけるため学校・家庭・地域が連携した取組のさらなる推進が必要
- ・ 朝食の大切さについて、子どもへの継続した健康教育の実施と家庭への波及が必要

⑤ 今後の方向性

- ・ 朝食を欠食する子どもへの指導や支援の強化
- ・ 学校・家庭・地域が連携した取組の推進
- ・ 健康教育の推進と指導内容の充実を図る
- ・ 健康教育を通じた家庭への波及
- ・ ヘルスマイトによる健康教育の実施と家庭への波及

運動やスポーツを習慣的にしている子ども



出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（文部科学省）

※R2は調査なし

3 「働きざかりの健康づくりの推進」の指標

項目：一次予防

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
健康づくりに一步踏み出した方の人数（高知家健康パスポートI取得者数）	50,000人 (令和3年度)	23,715人	50,688人 (令和3年度末 達成済み)	A
健康パスポートアプリ ダウンロード件数	50,000件 (令和5年度)	—	42,661件 (令和4年度)	A
高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業所数	500事業所	—（新設）	265事業所 (令和4年度)	A

② 現状（傾向）

健康づくりに一步踏み出した方の人数（高知家健康パスポートI取得者数）
⇒改善傾向にある
高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業所数
⇒改善傾向にある

③ これまでの取組

- ・ 県、市町村、保険者及び民間参加施設等と連携した官民協働の取り組み（インセンティブの提供や、健康経営普及を目指した啓発等）
- ・ 口コミ等を活用した健康づくり無関心層への継続的なアプローチ
- ・ 働きざかり世代等の利用を促進するため、紙媒体メインでの運用からアプリでの運用に切替え（令和4年4月1日からアプリへ完全移行）
- ・ 健康づくりプラットフォームである仕組みの強化及び多様化する利用者ニーズへの対応を目的として、事業者や市町村独自の運用を可能とするシステムを追加（令和5年度）

④ 課題

- ・ 壮年期男性の死亡率が依然として全国平均より高い
- ・ 職場での健康づくりが十分ではない

⑤ 今後の方向性

- ・ 地域や職場における健康パスポートを活用した健康づくりの促進など、ポピュレーションアプローチを強化

項目：血管病

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
特定健診の実施率	70%以上	46.6%	53.7%(R3)	A
特定保健指導の実施率	45%以上	14.6%	24.4%(R3)	A
メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率	平成20年度と比べて25%以上減少	13.39%	10.46%(R3)	C
降圧剤の服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合 (特定健診受診者)	男女とも30%未満	男性 34% 女性 31%	男性 36% 女性 34% (R2)	男女とも C
収縮期血圧の平均値 (40歳以上)	男女とも 130mmHg以下	男性 141mmHg 女性 134mmHg	男性 135mmHg 女性 134mmHg	男性 A 女性 B
収縮期血圧130mmHg以上の人の割合 (40歳以上)	男女とも45%以下	男性 75.0% 女性 58.1%	男性 56.3% 女性 59.6%	男性 A 女性 C

② 現状（傾向）

特定健診の受診率

⇒改善傾向にある

特定保健指導の実施率

⇒改善傾向にある

メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率

⇒悪化傾向にある

降圧剤の服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合

⇒改善傾向にある

収縮期血圧の平均値（40歳以上）

⇒男性 改善傾向にある
女性 悪化傾向にある

収縮期血圧130mmHg以上の人の割合（40歳以上）

⇒男性 改善傾向にある
女性 悪化傾向にある

③ これまでの取組

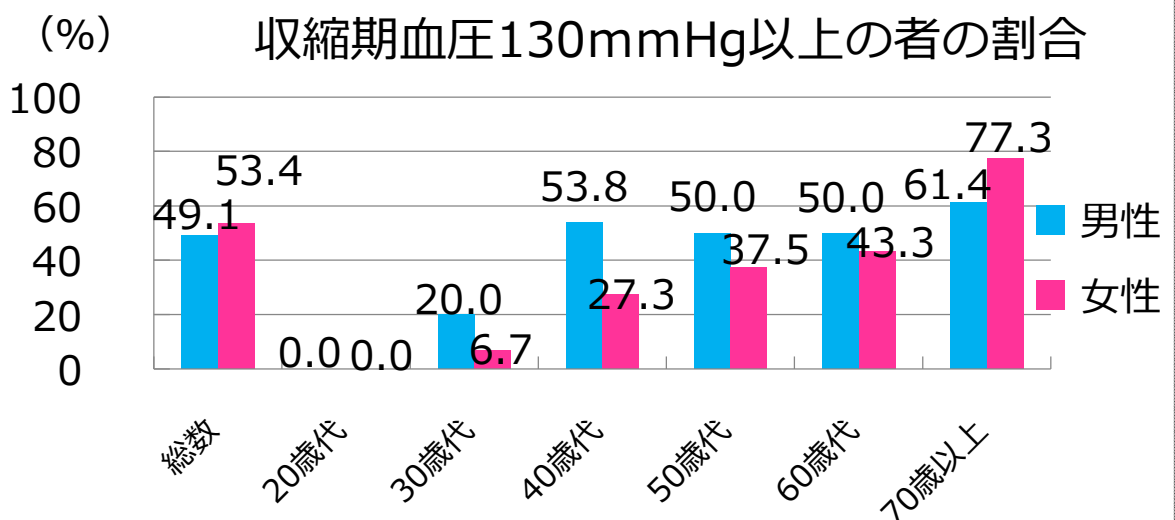
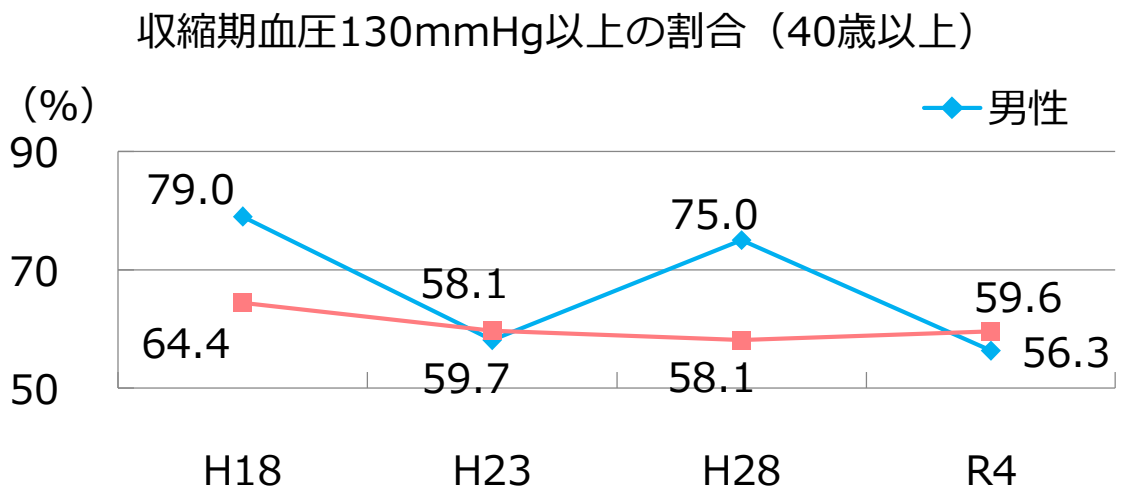
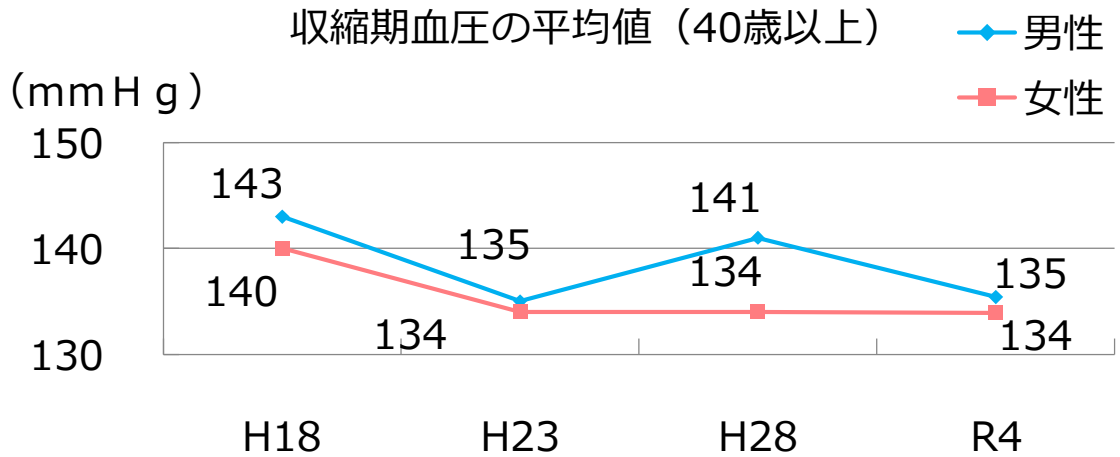
- ・ヘルシー・高知家・プロジェクト（減塩対策、総合啓発）
- ・高血圧対策（医療機関・健診機関・健康づくり支援薬局からの指導）
- ・たばこ対策（医療機関・健診機関・健康づくり支援薬局からの指導）
- ・特定健診・特定保健指導の実施率向上
- ・医療従事者のスキルアップ

④ 課題

- ・集団健診の受診率を維持させるとともに、個別健診の受診者数の増加
- ・市町村国保及び協会けんぽ被扶養者の受診率向上への支援強化が必要
- ・特定保健指導の利用勧奨の徹底と特定保健指導従事者の質の向上
- ・発症の2大リスクである高血圧対策・喫煙対策の充実・強化が必要

⑤ 今後の方向性

- ・ヘルシー・高知家・プロジェクトによるさらなる啓発
- ・保険者協議会や協会けんぽ等と連携した支援
- ・特定保健指導従事者育成研修会を継続し、効率的・効果的な保健指導力及び健診結果のアセスメント力の向上を支援
- ・減塩の健康教育・保健指導の充実（ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ）
- ・医療機関向け研修会を継続し、高血圧治療ガイドラインに基づく標準治療につなげる



項目：糖尿病性腎症重症化予防

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
糖尿病性腎症による 新規透析患者数	増加させない	108人	117人 (R1~R3の平均 値)	B
特定健診受診者で糖尿 病治療中の者のうち、 HbA1c7.0%以上の人の 割合	男女とも25%以下	男性 30% 女性 31%	男性 39% 女性 38% (R2)	男女とも C
未治療ハイリスク者・ 治療中断者に対する指 導の成功率	未治療ハイリスク者 50%以上 治療中断者 50%以上	未治療ハイリスク者 26.6% 治療中断者 40.0%	未治療ハイリス ク者 38.1% 治療中断者 52.1% (R4)	両方 A

② 現状（傾向）

糖尿病性腎症による新規透析患者数 ⇒ 変わらない

特定健診受診者で糖尿病治療中の者のうち、HbA1c7.0%以上の人の割合
⇒ 悪化傾向にある

未治療ハイリスク者・治療中断者に対する指導の成功率 ⇒ 改善傾向にある

③ これまでの取組

(ア) 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組

- 市町村国保におけるプログラム対象者抽出や介入結果の入力等を円滑に行う診療報酬データ等分析システムを開発、運用
- 市町村国保における糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組の推進を図ることを目的に、糖尿病看護や栄養食事指導の専門家等を糖尿病アドバイザーとして派遣し、保険者の取組を支援
- 各福祉保健所単位で医療機関向け研修会を開催

(イ) 糖尿病性腎症透析予防強化プログラムに基づく取組

- 数年以内に透析導入が予想される患者への腎保護療法と生活指導の強化により、透析導入時期の遅延を図る「糖尿病性透析予防強化プログラム」を策定
- R4年度までに、4地域（土佐市、高知市、幡多、中央東）・9市町村・10医療機関にて計73人に介入
- 定期的な事業効果の検証や推進会議及び実務者会議で進捗管理を実施

(ウ) 医療体制整備に関する取組

- ・高知県糖尿病医療体制検討会議、糖尿病発症・重症化予防施策評価会議、福祉保健所単位の糖尿病対策協議会等で関係機関の連携体制整備や施策の評価等を協議
- ・地域における糖尿病患者の療養支援を強化するため、地域の基幹となる13医療機関で血管病調整看護師を育成
- ・外来栄養食事指導を提供する体制整備や充実のため、管理栄養士のスキルアップ研修及び指導実績を把握

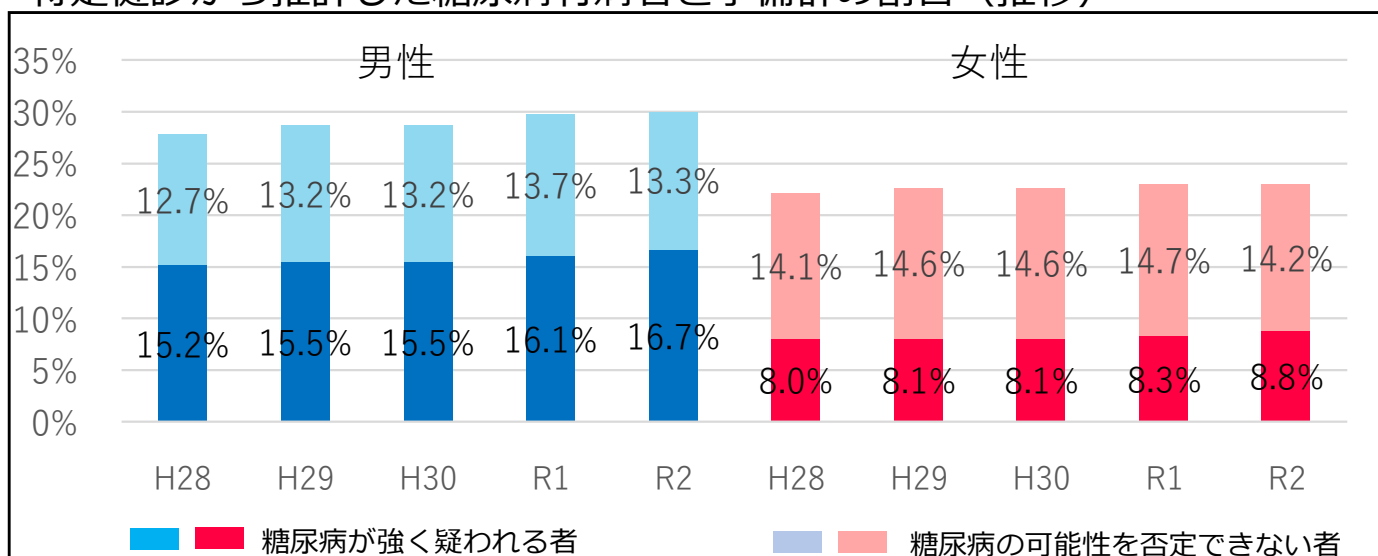
④ 課題

- ・糖尿病性腎症による新規透析導入患者は、一定水準で維持できているが、全国と比較すると依然として高い傾向にある（全国：12.7、高知県：17.9）
- ・特定健診の結果から、血糖・HbA1c有所見者割合が増加
- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおいては治療中ハイリスク者に対する医療機関と保険者が連携した取組が進むよう体制強化が必要
- ・糖尿病性腎症透析予防強化プログラムの周知と実施医療機関・保険者の拡大が必要
- ・保険者による治療中ハイリスク者へ保健指導力の向上が必要

⑤ 今後の方向性

- ・糖尿病性腎症透析予防強化プログラムの普及、及び糖尿病性腎症重症化予防プログラムとの統合による糖尿病性腎症重症化予防対策の推進
- ・血管病調整看護師や外来栄養食事指導協力医療機関、保険者等の関係機関が有機的に連携し、糖尿病患者への地域における支援体制を構築
- ・保険者の支援力の向上対策として、糖尿病看護の専門家等の派遣を継続

特定健診から推計した糖尿病有病者と予備群の割合（推移）



出典：市町村国保・協会けんぽ高知支部「特定健診実績」

5 「分野ごとの健康づくりの推進」の指標

項目：栄養・食生活

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
適正体重を維持している人の割合 (肥満BMI25以上、やせBMI18.5未満の減少)	40~60歳代男性の肥満者の割合 31%以下 40~60歳代女性の肥満者の割合 19%以下 20歳代女性のやせの人の割合 18%以下	40~60歳代男性の肥満者の割合 34.2% 40~60歳代女性の肥満者の割合 20.2% 20歳代女性のやせの人の割合 20.0%	40~60歳代男性の肥満者の割合 39.5% 40~60歳代女性の肥満者の割合 19.1% 20歳代女性のやせの人の割合 20.0%	C A B
食塩摂取量	8g以下	8.8g	9.0g	C
野菜と果物の摂取量	野菜摂取量の平均 350g以上 果物摂取量100g未満の人の割合 30%以下	野菜摂取量の平均 295g 果物摂取量100g未満の人の割合 55.6%	野菜摂取量の平均 274g 果物摂取量100g未満の人の割合 56.6%	C C
65歳以上低栄養傾向 (BMI20以下) の割合	男性 16%以下 女性 20%以下	男性 16.7% 女性 21.2%	男性 10.7% 女性 18.4%	男女とも A

② 現状（傾向）

肥満（BMI25以上）の人の割合 ⇒男性は悪化、女性は改善
 やせ（BMI18.5未満）の人の割合 ⇒変わらない
 食塩摂取量 ⇒悪化
 野菜と果物の摂取量 ⇒悪化
 65歳以上低栄養傾向（BMI20以下）の割合 ⇒改善

③ これまでの取組

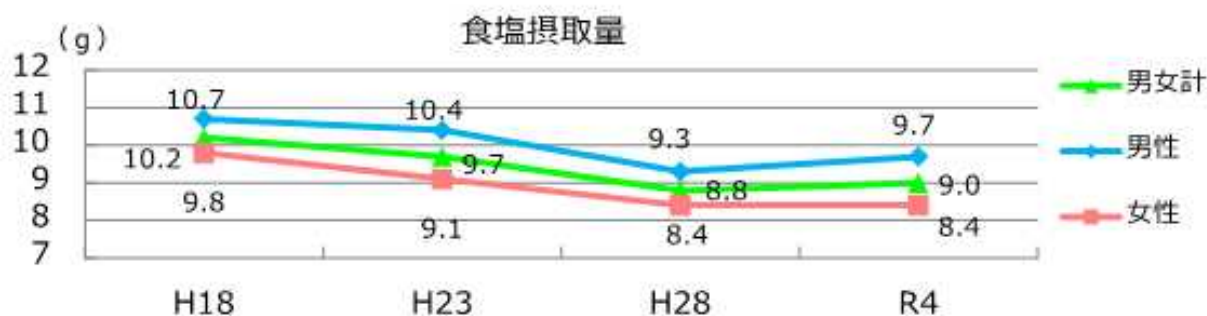
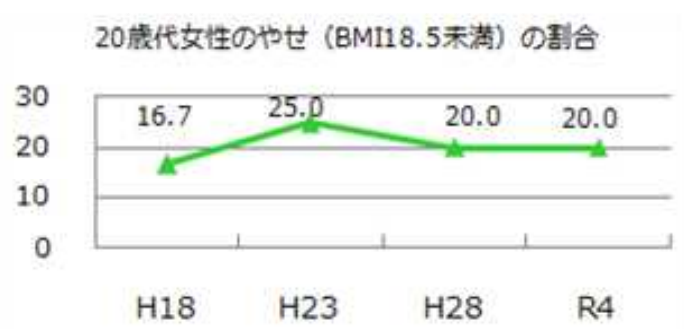
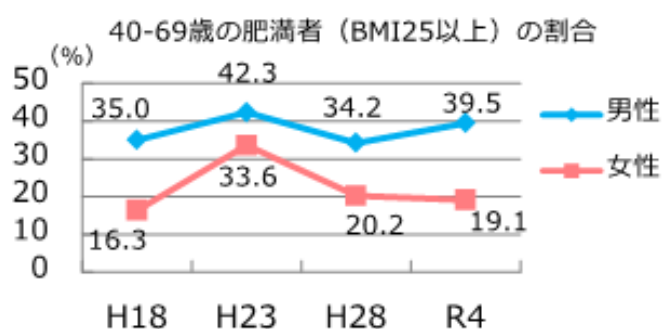
- ・ 特定健診、特定保健指導の実施率向上等の生活習慣病対策
- ・ 食生活改善推進協議会による減塩、野菜摂取等普及啓発
- ・ 推定塩分摂取量測定事業による減塩の啓発
- ・ 減塩・野菜摂取の啓発（減塩プロジェクト、高血圧対策、高知家健康パスポート）
- ・ 量販店での啓発活動（高知家健康チャレンジ）
- ・ 健康づくり啓発事業や健康づくりひとくちメモ等、マスメディアを活用した啓発

④ 課題

- ・健康意識を高めるためのさらなる県民への普及啓発が必要
- ・40～60歳代男性の肥満者の割合が増加（悪化）傾向にあるため、働きざかり世代の男性等の健康意識の醸成や健康的な保健行動の定着化を促すことが必要
- ・行動変容に結びつけることができる取組が必要

⑤ 今後の方向性

- ・マスメディア等を活用した継続的な啓発に加え、日常生活で身近な量販店・コンビニ等の民間事業者、市町村及び健康づくり関連団体等官民協働による普及啓発
- ・県内事業者における職場の健康づくり（健康経営）の取組の継続支援
例：健康経営のツールとして健康パスポートアプリの活用を促進



項目：身体活動・運動

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
日常生活における歩数	20~64歳 男性 9,000歩 女性 8,500歩	20~64歳 男性 6,387歩 女性 6,277歩	20~64歳 男性 6,210歩 女性 5,960歩	65歳以上の男性以外 C
	65歳以上 男性 7,000歩 女性 6,000歩	65歳以上 男性 4,572歩 女性 4,459歩	65歳以上 男性 4,894歩 女性 4,229歩	65歳以上の男性 A
運動習慣者の割合	20~64歳 男性 36%以上 女性 33%以上	20~64歳 男性 20.4% 女性 19.0%	20~64歳 男性 25.5% 女性 21.8%	65歳以上の女性以外 A
	65歳以上 男性 58%以上 女性 48%以上	65歳以上 男性 50.0% 女性 38.2%	65歳以上 男性 58.2% 女性 36.7%	65歳以上の女性 C

② 現状（傾向）

日常生活における歩数 ⇒ 65歳以上男性を除き、悪化傾向にある。

運動習慣者の割合 ⇒ 65歳以上女性を除き、改善傾向にある。

③ これまでの取組

- ・ 出前講座等による運動の啓発
- ・ 健康づくりひとくちメモ（テレビ放送）による啓発
- ・ 高知家健康パスポート事業による啓発（再掲）
- ・ 特定保健指導従事者育成研修会による指導⇒技術の資質向上
- ・ 高知家健康チャレンジによる運動に関する普及啓発

④ 課題

- ・ 運動習慣者の割合は改善傾向にあり、さらなる改善を図る必要がある。

⑤ 今後の方向性

- ・ 運動習慣の改善を図るため、健康パスポート事業等により、さらなる運動習慣の定着化を目指す。

項目：休養・こころ

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
睡眠による休養を十分とれていない人の割合	12%以下	18.6%	17.5%	A
自殺者 (人口10万人あたり)	14.6 (令和4年度)	18.4	17.5	A

② 現状（傾向）

睡眠による休養を十分とれていない人の割合 ⇒改善傾向にある
自殺者（人口10万人あたり） ⇒改善傾向にある

③ これまでの取組

- ・健康教育、出前講座

④ 課題

- ・睡眠による休養を十分とれていない人の割合は、改善傾向にあるものの、依然数値は高く、特に男性40代と女性50代の数値が特に高いため、職場と連携した取り組みが必要
- ・若年層の自殺が深刻な課題
- ・高齢者等の孤独・孤立を防ぐための居場所づくりやゲートキーパーの養成、メンタルヘルス対策

⑤ 今後の方向性

- ・健康教育、出前講座、マスメディア等を活用し、休養や睡眠に関する正しい知識の普及啓発
- ・メンタルヘルス総合サイトを開設し、自殺に対する正しい知識や相談窓口の情報等を発信
- ・自殺予防週間や自殺対策強化月間等の啓発事業
- ・市町村における包括的な支援体制の構築
- ・ゲートキーパー養成のWEB研修用のコンテンツを作成し、気軽に研修できる体制を構築

項目：飲酒

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合	男性 15%以下 女性 7%以下	男性 16.4% 女性 9.3%	男性 16.8% 女性 9.6%	男女とも C

② 現状（傾向）

生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合 ⇒悪化傾向にある

③ これまでの取組

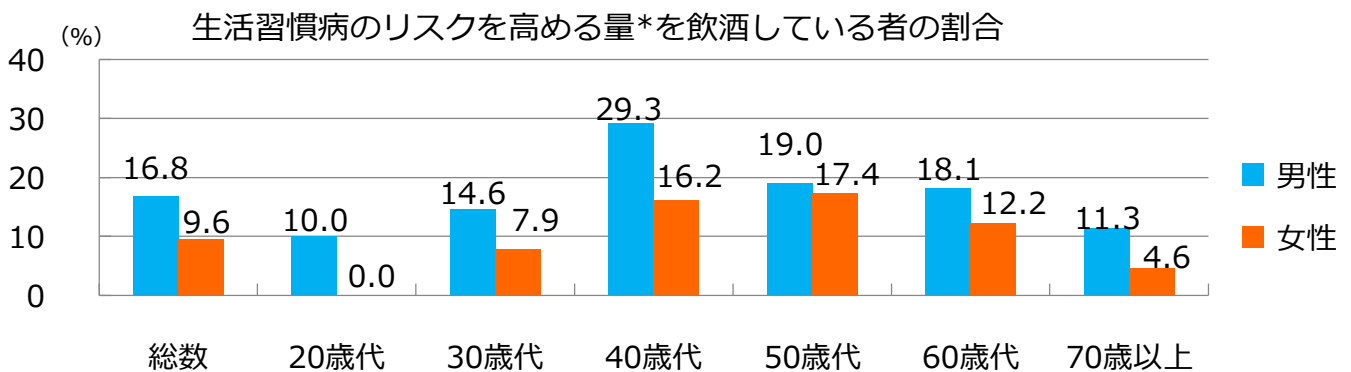
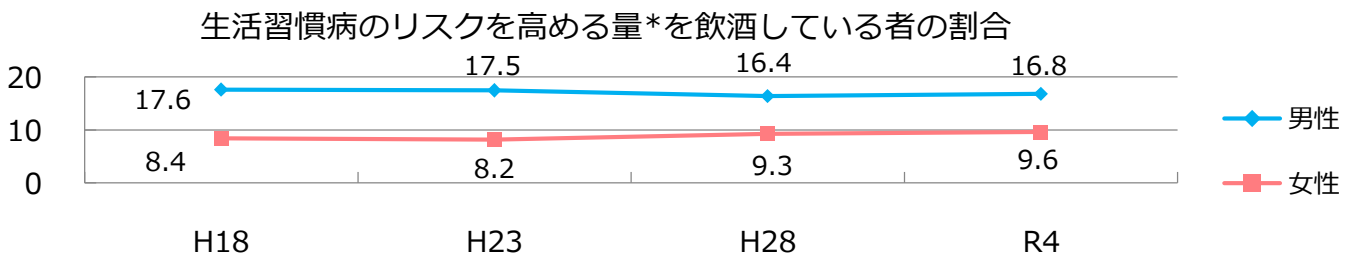
- ・ 出前講座、健康づくりひとくちメモによる啓発

④ 課題

- ・ ほぼ毎日飲酒及び3合以上飲酒している者の割合が全国よりも高い

⑤ 今後の方向性

- ・ 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合を男性15%以下、女性7%以下にする
- ・ 効果的な普及啓発の実施



項目：喫煙

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成状況
成人の喫煙率	男性 20%以下 女性 5%以下	男性 28.6% 女性 7.4%	男性 27.0% 女性 6.4%	男女とも A
受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する人の割合	家庭 3%以下 （ほぼ毎日） 職場 10%以下 （月1回以上） 飲食店 14%以下 （月1回以上）	家庭 8.5% （ほぼ毎日） 職場 28.9% （月1回以上） 飲食店 38.5% （月1回以上）	家庭 5.0% （ほぼ毎日） 職場 19.0% （月1回以上） 飲食店 9.6% （月1回以上）	全て A

② 現状（傾向）

成人の喫煙率

⇒やや改善傾向にある

受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する人の割合

⇒改善傾向にある

③ これまでの取組

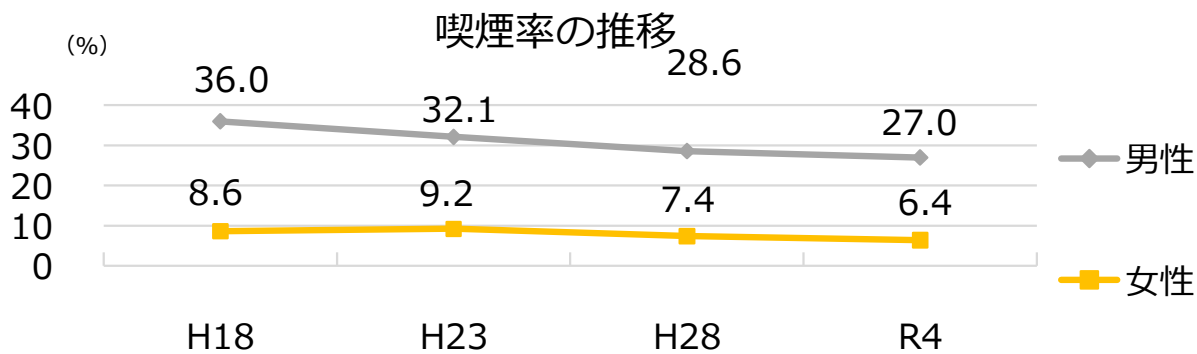
- ・禁煙支援・治療の指導者養成（とさ禁煙サポーターズ、e-ラーニング研修）
- ・各種研修会・関係団体会議での改正健康増進法・禁煙支援に関する周知・啓発
- ・防煙教育の推進（副読本を活用した健康教育、養護教諭対象スキルアップ研修）
- ・高知家健康チャレンジによる禁煙に関する普及啓発

④ 課題

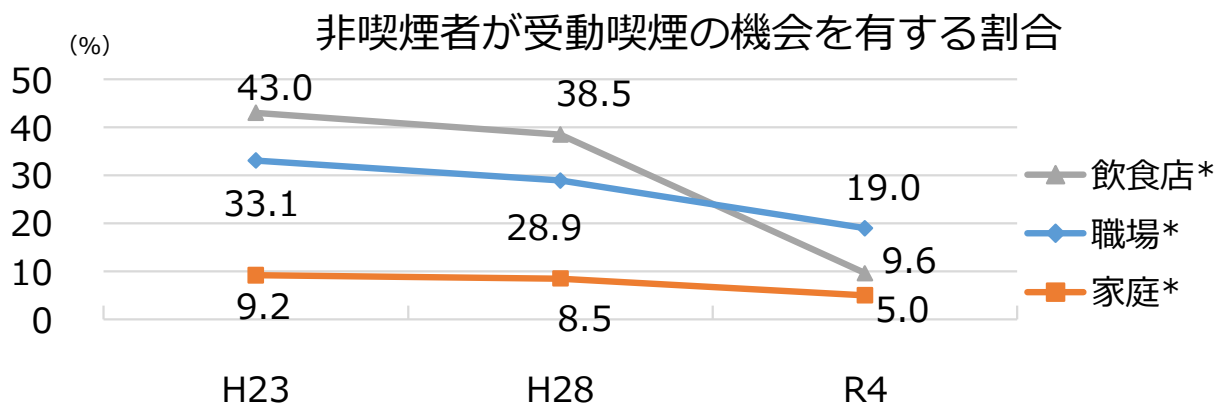
- ・改正健康増進法について、継続しての周知が必要
- ・望まない受動喫煙が生じないように、受動喫煙に関する知識の普及が必要
- ・新型たばこの害について啓発が必要
- ・禁煙指導を行う医療従事者の資質向上が必要

⑤ 今後の方向性

- ・各種研修会・関係団体会議での改正健康増進法・禁煙支援に関する周知・啓発
- ・新型たばこを含めた喫煙が及ぼす健康被害や、禁煙について普及啓発
- ・禁煙指導を行う医療従事者の資質向上のため、研修会を実施



出典：高知県(県民健康・栄養調査)



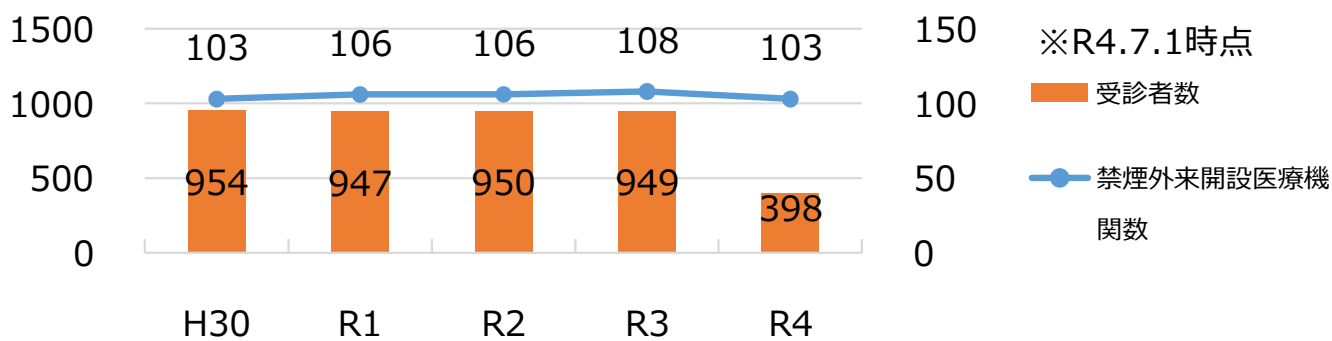
*家庭：毎日受動喫煙の機会があった非喫煙者

*職場：月1回以上受動喫煙の機会があった非喫煙者（職場に行かなかった人を除く）

*飲食店：月1回以上受動喫煙の機会があった非喫煙者（飲食店に行かなかった人を除く）

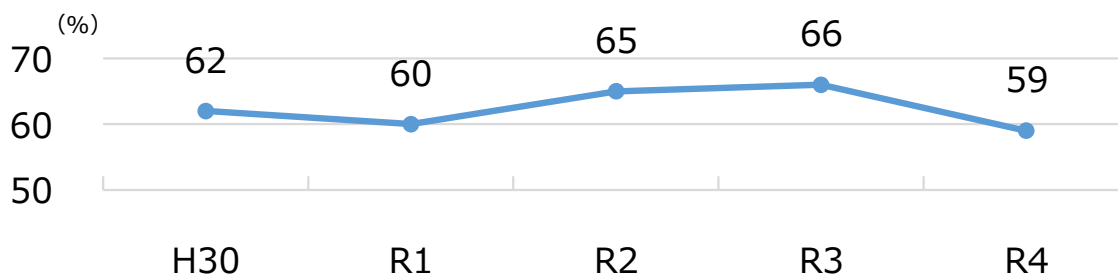
出典：高知県(県民健康・栄養調査)

禁煙外来開設医療機関数及び受診者数



出典：厚生労働省(ニコチン依存症管理料に係る報告書)

(参考) 禁煙成功率



出典：厚生労働省(ニコチン依存症管理料に係る報告書)

項目：歯・口腔

① 目標達成状況

指標	目標値 (令和5年度)	計画策定時 (平成29年度)	直近の実績値 令和4年度	達成 状況
一人平均むし歯数	3歳 0.4本以下 12歳 0.5本以下 17歳 1.5本以下 (令和3年度)	3歳 0.55本 12歳 0.97本 17歳 2.53本	3歳 0.47本 (R3) 12歳 0.68本 (R2) 17歳 2.14本 (R2)	全て A
歯肉炎罹患率	12歳 20% 17歳 20% (令和3年度)	12歳 23.4% 17歳 24.4%	12歳 27.0% (R2) 17歳 23.5% (R2)	全体 評価 C
40歳代で進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットあり)に罹患している人の割合	25%以下 (令和3年度)	—	68.7% (R2)	— ※
80歳以上で自分の歯を20本以上有する人の割合	60%以上 (令和3年度)	59.3%	56.7% (R2)	C
定期的に歯科健診を受けている人の割合	65%以上 (令和3年度)	53.5%	62.4% (R2)	A

※「40歳代で進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットあり)に罹患している人の割合」は計画策定時の数値がないため、評価不可

② 現状（傾向）

- 一人平均むし歯数 ⇒改善傾向にある
- 歯肉炎罹患率 ⇒悪化傾向にある
- 40歳代で進行した歯周病(4mm以上の歯周ポケットあり)に罹患している人の割合 ⇒ -
- 80歳以上で自分の歯を20本以上有する人の割合 ⇒悪化傾向にある
- 定期的に歯科健診を受けている人の割合 ⇒改善傾向にある

③ これまでの取組

- ・フッ化物応用推進のため関係者への説明会等を実施し、施設や市町村の支援
- ・ブラッシングの定着や食育を通じたむし歯・歯肉炎予防のための健康教育を実施（副読本・出前講座）
- ・歯科医師会と市町村の集合契約により成人妊婦歯科健診の体制を構築
- ・マスメディアを活用し、歯周病と全身疾患の関係性等を周知
- ・オーラルフレイル予防複合プログラムによるオーラルフレイル予防啓発

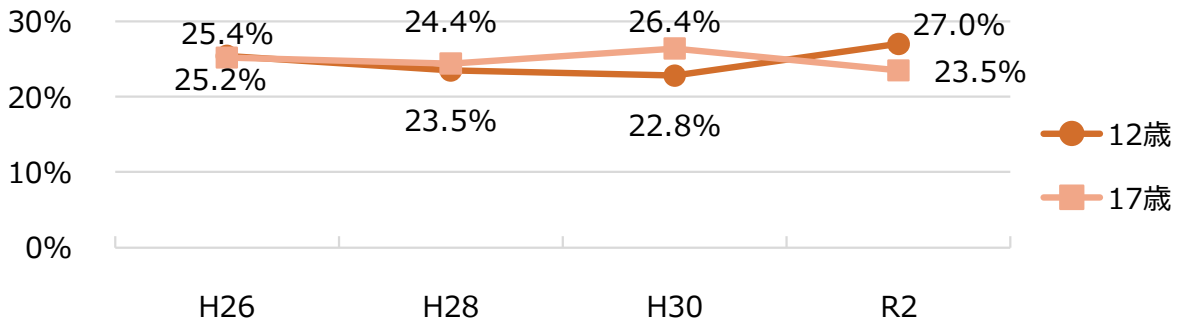
④ 課題

- ・フッ化物洗口実施率は向上しているが、市町村間で差があり、実施率が低い市町村への支援が必要
- ・各市町村で歯科健診が受けられる体制は一定整ったが、県民の受診行動の定着には至っていない
- ・通いの場において、口腔体操に加えて噛みごたえのある食事の重要さの啓発が必要

⑤ 今後の方向性

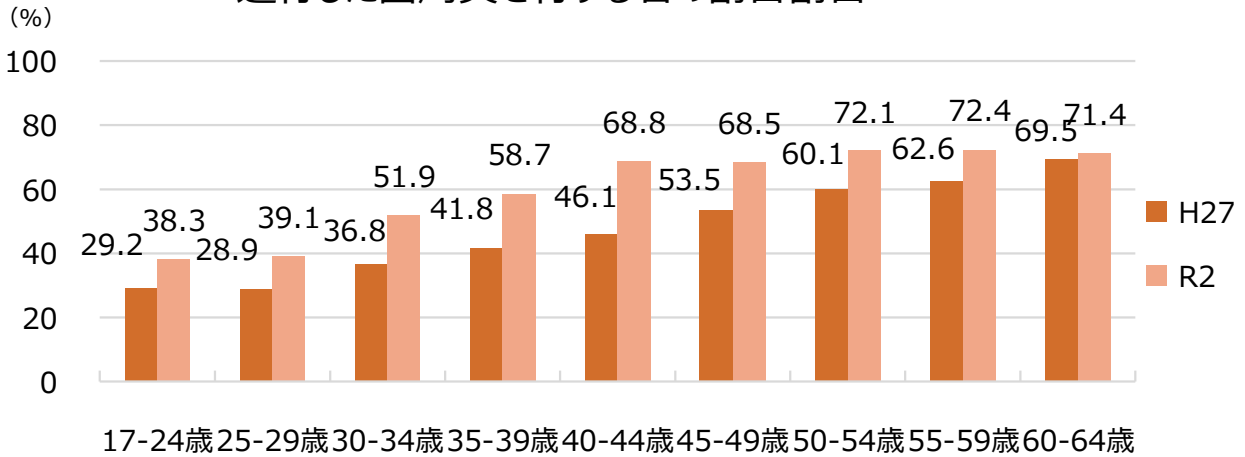
- ・フッ化物洗口導入及び既の実施している施設フォローアップに向けた支援
- ・歯科保健関係団体と連携し、マスメディア等を活用した歯周病予防啓発を実施
- ・オーラルフレイル予防複合プログラムのマニュアルを作成し、各市町村に展開

12歳、17歳 歯肉に炎症所見を有する者の割合



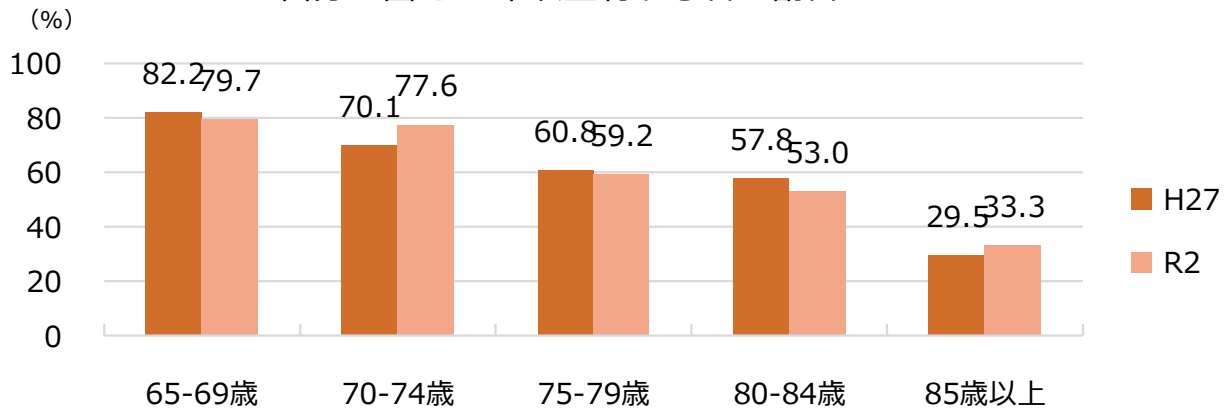
出典：高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）

進行した歯周炎を有する者の割合



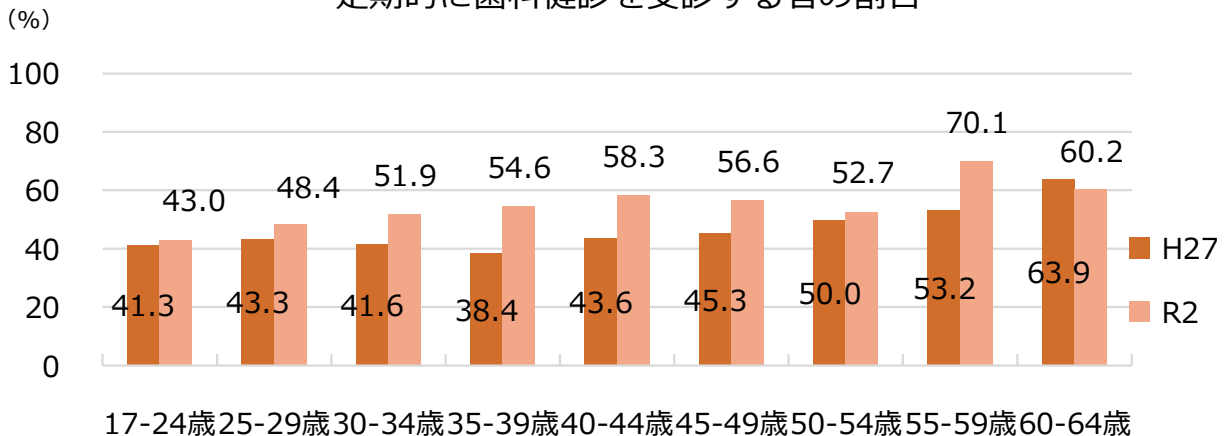
出典：高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）

自分の歯を20本以上有する者の割合



出典：(H27) 高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）
(R2) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査をもとに
智歯を加味して再集計したもの

定期的に歯科健診を受診する者の割合



出典：高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）

第4期よさこい健康プラン2 1の 分野ごとの取組み（令和5年度）

分野		取組内容
基本方針	子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ①学校における組織的な取組の充実 ②家庭の意識向上 ③地域の住民組織の参画による児童生徒への健康教育と家庭への波及
	働きざかりの健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ①デジタル化を活かした「高知家健康パスポート」事業の拡充 アプリ上でのイベント開催によるポピュレーションアプローチの強化 ②職場の健康づくり対策の推進 ③ （拡）事業所でのアプリを活用した従業員の健康づくりの取組支援 ④働き盛り世代の健康づくり総合啓発（テレビCM）
	生活習慣病の発症予防	<p>【高血圧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①家庭血圧測定の記録と指導 ②推定塩分摂取量の測定結果の活用による保健指導の充実 ③幅広い年代の県民に減塩の必要性や減塩商品の紹介などの啓発を実施 <p>【特定健診・特定保健指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コロナにより受診を控えをした人の受診に戻ってくるよう啓発を強化 ② （拡）テレビCMやインターネットなどを活用した効果的な受診勧奨の実施 ③特定健診の受診率向上に向けた医療機関との連携強化 ④医療機関の診療データを活用したみなし健診による受診率向上 ⑤協会けんぽ被扶養者への受診促進 ⑤特定保健指導実施体制への助言等支援
	重症化予防対策	<ul style="list-style-type: none"> ①発症予防のための基盤整備 ②医療機関における質の高い医療の提供及び適切な生活指導の強化 ③糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく重症化予防対策の推進 ④糖尿病性腎症透析予防強化事業の推進 ⑤ （新）介入効果の見える化（冊子等啓発資料の作成） ⑥ （新）「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」と「糖尿病性腎症透析予防強化プログラム」の統合

第4期よさこい健康プラン21の 分野ごとの取組み（令和5年度）

分野		取組内容	
分野ごと	栄養・食生活	①食育の推進 ②食育を担う人材の育成支援、食育団体の活性化	生活習慣病予防の総合啓発 ・ナッジ理論を活用しハードルの低い動作指示をキャッチコピーとした啓発の実施 ① 量販店等と連携したコラボ事業の強化 ② 高知家健康パスポート事業と連携した取組
	身体活動・運動	①「高知家健康パスポート」の活用 ②健康教育や出前講座の実施 ③高知県子どもの健康的な生活習慣支援講師の派遣	
	休養・こころ		
	飲酒		
	喫煙	①禁煙支援・治療の指導者の養成、養護教諭等対象のスキルアップ研修の開催 ②法規制に則った受動喫煙防止対策の徹底 ③子どもの受動喫煙防止対策の強化	
歯・口腔	①子どものむし歯の格差解消 ②歯周病予防対策の強化 ③在宅歯科医療体制の構築支援 ④オーラルフレイル予防対策 モデル市町村の通いの場でのプログラム（運動・口腔・栄養の複合プログラム）実践の継続		

	担当課	保健政策課 【教育委員会】 保健体育課 幼保支援課 生涯学習課
1 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着	計画冊子	P16～P17

(1) 家庭・学校・地域との協働

施策目標		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合(小学5年生)	計画					〈参考値〉			増加傾向	
	実績	男子60.0% 女子37.0%	男子58.0% 女子39.0%	男子62.0% 女子43.0%	男子57.0% 女子40.0%	男子55.0% 女子39.0%	男子58.0% 女子42.0%	男子52.0% 女子41.0%	男子55.0% 女子40.0%		
2	朝食を必ず食べる子どもの割合(小学5年生)	計画					〈参考値〉			95%以上	R4 全国 男82.3% 女81.1%
	実績	男子87.0% 女子88.0%	男子86.0% 女子85.0%	男子85.0% 女子86.0%	男子84.0% 女子87.0%	男子84.0% 女子85.0%	男子87.0% 女子86.0%	男子82.0% 女子85.0%	男子84.0% 女子83.0%		
3	肥満傾向にある子どもの割合(小学5年生)	計画								全国平均以下	R4 全国 男7.5% 女4.4%
	実績	男子6.1% 女子3.1%	男子5.3% 女子4.3%	男子5.8% 女子4.6%	男子5.8% 女子4.6%	男子7.0% 女子4.8%	調査なし	男子7.2% 女子4.3%	男子8.0% 女子5.3%		

【課題】

- ・子どもの頃からの健康的な生活習慣を定着していくために、子どもを取り巻く家庭・学校・地域との協働による取組が必要。
- ・運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合が低い、家庭における運動時間が60分未満の子どもの割合が全国平均より高いなど、運動習慣が身につけていない児童生徒の割合が高い傾向にある。
- ・児童生徒の朝食摂取率が95%に満たない、肥満傾向が全国平均より高いなど、基本的な生活習慣が定着していない児童生徒の割合が高い傾向にある。

【今年度の取組目標】

- ＜保健政策課＞
 - ・副読本を活用した健康教育の公立小中学校の実施率：100%
 - ・自らや友人同士で生活習慣の課題に気付くことで、保健行動の実践を促すことを目的とした副読本を活用した中学校・高校での健康教育の充実
 - ・子どもの健康教育事業の実施：県内小・中5校
- ＜保健体育課＞
 - ・運動習慣定着プロジェクト
 - ・体育・健康教育担当指導主事の指導・助言
 - ・健康教育副読本を活用した学校における健康教育
 - ・学校保健推進委員会
 - ・健康教育の中核となる教員の研修
 - ・食事提供活動
 - ・スクールヘルスリーダーの派遣
 - ・学校保健委員会の設置の推進
- ＜幼保支援課＞
 - ・3歳児保護者に対して基本的な生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合：100%
- ＜生涯学習課＞
 - ・生活リズム名人認定率45%以上
 - ・小学校 160校以上
 - ・中学校 10校以上

直近の実績値(R4年度)

- ＜保健政策課＞
 - ・副読本を活用した健康教育の実施率 100%
- ＜保健体育課＞
 - ・朝食摂取率
 - 小5 男子84% 女子83%
 - 中2 男子78% 女子74%
 - 高2 男子75% 女子76%
 - ・運動やスポーツの頻度
 - 小5 男子55% 女子40%
 - 中2 男子72% 女子57%
 - 高2 男子60% 女子36%
- ＜幼保支援課＞
 - ・3歳児の保護者に対して基本的な生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合 100%(R4)
- ＜生涯学習課＞
 - ・生活リズムチェックカードを活用した生活習慣点検の取組
 - 保育所・幼稚園
 - 園所数 194園所(延べ204園所)
 - 取組人数 6,205人(延べ)
 - 認定者数 4,151人(延べ)
 - 認定率 66.9%
 - 小学校
 - 学校数 107校(延べ197校)
 - 取組人数 34,111人(延べ)
 - 認定者数 12,137人(延べ)
 - 認定率 35.6%
 - 中学校 5校(延べ7校)
 - 取組人数 168人
 - 認定者数 53人
 - 認定率 31.5%
 - 総取組園所校数
 - 306園所校(延べ408園所校)
 - 総取組人数 40,484人(延べ)
 - 総認定者数 16,341人(延べ)
 - 認定率 40.4%

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育の実施 ・小学校・中学校・高校における副読本を活用した健康教育の実施 ・学校関係者への健康教育推進についての周知 ・子どもの健康的な生活習慣支援講師派遣事業 ○子どもの健康教育事業 ・健康教育リーフレットを活用した健康教育の実施と実施校における事後フォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育の実施 ・副読本の印刷・配布(5月に配布) ・健康教育推進研修会での制度案内(7/4) ・子どもの健康的な生活習慣支援講師派遣事業による講師派遣予定 ○子どもの健康教育事業 ・実施校の選定(5市町5校) ・市町村教育委員会及び実施校へ実施依頼 ・健康教育の実施(5校)予定 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
保健体育課	<ul style="list-style-type: none"> ○運動習慣定着プロジェクト ・かけっこ先生(外部講師)の派遣(小学校対象) ・運動遊び認定証の発行(チャレンジランキング) ①短なわ時間跳び ②長なわ8の字跳び ③20mダッシュ走 ④タイム走(持久走) …など走・跳・投の運動による9種目 ・体力向上に関する学校訪問 ○体育・健康教育担当指導主事の指導・助言 ・学校現場での指導・助言(うちの子どもも体力・運動能力向上プログラムの活用) ・学校現場のニーズに応じた研修会講師の派遣 ○健康教育副読本を活用した学校における健康教育 ・各学校での取組 ・活用状況調査の実施 ○学校保健推進委員会の開催 ・委員13名 ・年間2回開催予定 ○健康教育の中核となる教員の研修 ・食育・学校給食推進研修会(栄養教諭・学校栄養職員研修会) ・健康教育推進研修会(保健主事研修会) ・学校保健推進研修会(養護教諭研修会) ・保健教育推進研修会(性に関する指導研修会) ・小、中、高、特別支援学校初任者及び年次研修 ・独立行政法人教職員支援機構研修会への派遣(健康コース・食育コース) ○食事提供活動 ・現在実施団体を募集中 ○スクールヘルスリーダーの派遣 ・12名 17校へ派遣(全194回の予定) ○学校保健委員会の設置の推進 ・研修会等における設置についての指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動習慣定着プロジェクト ・実施通知の送付 ○体育・健康教育担当指導主事の指導・助言 ・実施中 ○健康教育副読本を活用した学校における健康教育 ・実施中 ○学校保健推進委員会の開催(5/11、11/17) ○健康教育の中核となる教員の研修 ・食育・学校給食推進研修会(栄養教諭・学校栄養職員研修会)(9/12) ・健康教育推進研修会(保健主事研修会)(7/7) ・学校保健推進研修会(養護教諭研修会)(11/27) ・保健教育推進研修会(性に関する指導研修会)(7/31) ・小、中、高、特別支援学校初任者及び年次研修(4月～) ・独立行政法人教職員支援機構研修会への派遣(12月予定) ○食事提供活動 ・実施団体決定(5月)、食事提供(6月～) ○スクールヘルスリーダーの派遣 ・派遣開始(5/1～) ○学校保健委員会の設置の推進 ・設置・開催の周知(5月) 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
幼保支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を対象に基本的な生活習慣に関するパンフレットの配付や学習会等を実施 ・取組強調月間の実施(6月・11月) ・基本的な生活習慣に係る親育ち支援研修保護者講話の実施 ・取組強調月間の取組に関するアンケートの集計・事業効果の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児保護者を対象に基本的な生活習慣に関するパンフレットを配付(5月) ・基本的な生活習慣に係る親育ち支援研修保護者講話の実施(5月～) 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発用キャラクターツールの貸し出し(通年) ・生活リズムチェックカードの配布 ・生活リズム認定証の送付(通年) ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2023」食育についての取組(12月3日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内全小学生へ生活リズムチェックカードを配布(5月・11月) ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2023」を実施(12月3日) 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

											担当課	保健政策課	
1 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着											計画冊子	P18~P19	
(2)食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及													
	施策目標		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考	
1	朝食を必ず食べる子どもの割合 (小学5年生)	計画						(参考値)			95%以上	R4 全国 男82.3% 女81.1%	
		実績	男子87.0% 女子88.0%	男子86.0% 女子85.0%	男子85.0% 女子86.0%	男子84.0% 女子87.0%	男子84.0% 女子85.0%	男子87.0% 女子86.0%	男子82.0% 女子85.0%	男子84.0% 女子83.0%			
2	肥満傾向にある子どもの割合 (小学5年生)	計画									全国平均以下 男子5.3% 女子3.5%	R4 全国 男7.5% 女4.4%	
		実績	男子6.1% 女子3.1%	男子5.3% 女子4.3%	男子5.8% 女子4.6%	男子5.8% 女子4.6%	男子7.0% 女子4.8%	調査なし	男子7.2% 女子4.3%	男子8.0% 女子5.3%			
【課題】 ・食育講座の実施方法や内容等について見直しが必要である。													
【今年度の取組目標】 ・食生活改善推進協議会による食育講座の実施回数：103回											直近の実績値(R3年度) ・食育講座実施回数 127回(92校 50.0%)		
今年度の当初計画(P)					今年度の取組状況(D)					課題と今後の取組予定(C-A)			
食育講座	・実施回数の決定(4月) ・朝食摂取課題校への事業の周知(4月) ・食育講座教材の作成、印刷(5月) ・食育講座の開始(6月～) ・研修会の実施(8月) ・理事会において進捗状況の確認と次年度事業について協議(11月) ・事業結果の分析 事業実施報告書及びアンケート					・教材の見直し 自己管理能力を高めるレシピの掲載 ・実施回数の決定(103校)					【成果と課題】 【今後の取組】		

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

	担当課	保健政策課
2 働きがりの健康づくりの推進	計画冊子	P20~P21

(1)健康づくりの県民運動

施策目標		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	健康づくりに一歩踏み出した方の人数(高知家健康パスポートI取得者数)	計画	-			40,000人		50,000人	-	-	利用者5万人達成(R3年度)
	実績	-	10,732人	24,935人	36,030人	44,911人	47,729人	50,688人	-	-	
M1	健康パスポートアプリダウンロード件数	計画	-	-	-	-	-	-	35,000件	50,000件	R4年4月からアプリのみで運用
	実績	-	-	-	-	13,186件	18,525件	28,699件	42,661件	43,568件(4月末)	

【課題】

- 健康経営の取り組みフォロー
⇒働きがり世代の死亡率は全国平均より高く、職場での健康づくりが十分ではない。
- 市町村と連携した取り組み
⇒市町村でアプリを活用した健康受診勧奨が十分ではない等、デジタル化を活かした健康づくりの取り組みが進んでいない。

【今年度の取組目標】

- 健康経営の取り組みフォロー
⇒事業者ごとに高知家健康パスポートアプリを運用できる仕組みを導入し、従業員の健康づくりの取り組みを後押し。
- 市町村と連携した取り組み
⇒高知家健康パスポートアプリを活用した市町村独自の健康づくりの取り組みを支援。
- ポピュレーションアプローチの強化
⇒健康的な保健行動の定着化を図る。

直近の実績値(R4年度)

○健康パスポートアプリダウンロード件数
42,661件(令和5年3月末)

	今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
健康経営の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者ごとに健康パスポートアプリを運用できるシステム(アカウント作成・運用)の導入(7月上旬予定) ○健康パスポートを活用した県内事業者の健康経営の取り組みを後押し ・県内事業者への個別提案の実施(目標:50社) ・取組成果をモデルケースとして紹介(事業者向け特設サイトを設置し、取組事例をアーカイブ化) ・事業者向けインセンティブ提供に向けて企業等へ協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○システムの改修・追加 ⇒4月~6月末予定。その後、個別提案の開始及び相談窓口の設置等を予定。 ○健康パスポートを活用した県内事業所の健康経営の取り組みを後押し ・高知県との包括協定企業や健康パスポート協力企業に対する協力依頼を実施 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
市町村と連携した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村独自の健康づくりに係る取組支援を目的としたシステムをアプリに導入(7月上旬予定) ・独自のインセンティブポイントの設定・運用システム ・健診受診勧奨機能及びアプリイベント開催機能等 ○市町村向け導入支援 ・説明会の実施 ・アプリイベント等取組事例の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ○システムの改修・追加 ⇒4月~6月末予定。その後説明会開催及び導入支援の実施等を開始予定 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
ポピュレーションアプローチの強化	<ul style="list-style-type: none"> ○CM等による健康づくり啓発 ・健康づくりひとくちメモによる「よさこい健康プラン21」の総合的な啓発(通年) ・テレビCMによる高血圧及び高血糖対策・特定健診受診勧奨啓発(10月) ○高知家健康チャレンジと連動した行動変容促進 ・アプリイベント等の開催(9月予定) ・健康意識に関するアンケート調査(8月及び10月予定) ○アプリイベント等の定期的な開催(年間6回予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ○CM等による健康づくり啓発 ・健康づくりひとくちメモ放送 8回(4月末時点) ○アプリイベント等の定期的な開催 ・GW期間(4月29日~5月7日)に実施済(参加者:3,368名) 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

										担当課	保健政策課
2 働きざかりの健康づくりの推進										計画冊子	P22
(2)職域と連携した健康づくり											
施策目標		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
高知県ワークライフ バランス推進企業 認証制度の「健康 経営」認証事業者 数	計画	-	-	-					350 事業所	500 事業所	
	実績	-	-	-	18 事業所	84 事業所	149 事業所	222 事業所	265 事業所	310 事業所 (5月1日)	
【課題】 ・県内で15名以上従業員がいる約1,400事業所を対象に実施した調査(平成26年)では、約4割の事業所が職場の健康づくりに取り組むことができておらず、その主な理由としては「時間がとれない」、「従業員を集めることが難しい」ということが挙げられた ・高知県ワークライフバランス推進企業「健康経営部門」の認証企業は令和4年度末で265事業所であり、健康経営に取り組む事業所の拡大が必要											
【今年度の取組目標】 ・全国健康保険協会(協会けんぽ)など関係機関と連携し、職場の健康づくりを推進 ・健康経営として、企業での健康パスポートの活用を働きかけ、壮年期男性の健康パスポート取得率向上を図るとともに、高知県ワークライフバランス推進企業認証取得を促進										直近の実績値(R4年度) 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業者数:265事業所(R5年3月1日時点)	
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)			
関係機関と連携した啓発	○協会けんぽ高知支部と連携した職場の健康づくり応援研修会を圏域ごとに開催 ○地元新聞社や各支援機関と連携した「こうち健康企業プロジェクト」の実施 ・健康経営推進意見交換会の開催 ・県内事業者の健康経営の取組推進を目的とした取組の実施(時期未定)			○協会けんぽ高知支部と連携した職場の健康づくり応援研修会を圏域ごとに開催(10月～11月実施予定) ○地元新聞社や各支援機関と連携した「こうち健康企業プロジェクト」の実施			【成果と課題】 【今後の取組】				
	健康経営の取り組みの推進	○健康パスポートアプリを活用した健康経営の取組推進(再掲) ○健康経営優良事例のライブラリー化 ※県ホームページで公開 ○高知家健康チャレンジを活用した健康経営の取組支援			○健康パスポートアプリを活用した健康経営の取組推進(再掲) ○健康経営優良事例のライブラリー化 ※県ホームページで5社分を追加公開予定			【成果と課題】 【今後の取組】			

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

										担当課	健康対策課	
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策										計画冊子	P23~P25	
(1)がん												
施策目標				H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	がん検診の受診率 * 40~69歳対象。子宮頸がんは20~69歳対象 (市町村検診+職域検診)	計画	肺 胃 大腸 子宮頸 乳								50.0% 50.0% 50.0% 50.0%	
		実績	肺 胃 大腸 子宮頸 乳	48.6% 33.5% 37.4% 35.5% 42.2%	50.5% 34.0% 38.4% 36.1% 43.3%	51.6% 34.7% 39.8% 36.0% 43.5%	52.3% 34.5% 41.0% 36.0% 43.8%	51.3% 33.8% 39.9% 35.9% 43.2%	54.0% 35.6% 42.3% 36.4% 43.8%			
2	がん検診の受診率 (40~50歳代) (市町村検診+職域検診)	計画	肺 胃 大腸 子宮頸 乳								維持・上昇 50.0% 50.0% 50.0% 維持・上昇	
		実績	肺 胃 大腸 子宮頸 乳	55.3% 40.5% 42.8% 46.7% 50.4%	57.4% 40.7% 43.5% 47.9% 51.4%	58.1% 41.1% 44.8% 45.8% 51.1%	58.3% 40.4% 45.6% 46.0% 51.2%	57.5% 39.4% 44.6% 47.1% 50.3%	59.4% 40.6% 46.5% 47.3% 50.5%			
3	市町村がん検診の 精密検査受診率	計画	肺 胃 大腸 子宮頸 乳								維持・上昇 維持・上昇 90.0% 90.0% 維持・上昇	
		実績	肺 胃 大腸 子宮頸 乳	91.4% 92.4% 83.9% 62.6% 96.1%	90.4% 91.6% 82.4% 77.3% 96.5%	89.4% 91.9% 81.9% 77.4% 96.5%	90.5% 92.1% 84.6% 67.8% 91.7%	89.8% 90.9% 84.8% 63.9% 93.8%	87.1% 89.2% 83.0% 70.5% 96.2%			
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)				
※がん対策推進協議会で進捗管理(健康対策課)								【成果と課題】 【今後の取組】				

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課	保健政策課 国民健康保険課								
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策		計画冊子	P26～P28								
(2) 血管病 ① 特定健診・特定保健指導											
施策目標 (モニタリング指標含む)		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	特定健診実施率 (全体)	計画					60%	63%	66%	70%以上	R2 全国 53.1%
		実績	46.6%	48.2%	49.2%	50.7%	52.5%	51.5%	53.7%		
2	特定保健指導 実施率 (全体)	計画					34%	38%	42%	45%以上	R2 全国 23.0%
		実績	14.6%	18.0%	17.9%	23.7%	23.7%	24.0%	24.4%		
3	メタボリックシンドローム の該当者及び予備群の 減少率	計画								H20と比べて 25%以上減少	R2 全国 10.8%
		実績	13.39%	10.60%	10.63%	9.66%	9.23%	8.58%	10.46%		
M1	特定健診実施率 (市町村国保)	計画					48%	52%	56%	60%以上	R3 全国 36.4%
		実績	34.4%	35.9%	36.5%	38.3%	37.7%	35.2%	35.6%		
M2	特定保健指導 実施率 (市町村国保)	計画					42%	48%	54%	60%以上	R3 全国 27.9%
		実績	16.7%	19.3%	23.9%	24.4%	28.4%	30.1%	33.0%		
【課題】 ・特定健診受診率は上昇傾向にあり、全国との差は縮小はしているものの、全国平均には到達していない ・特定保健指導実施率は上昇傾向にあり、H30、R1と全国平均を上回っているものの目標値には到達していない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、特定健診受診率及び特定保健指導の実施率の向上に取り組む必要がある。											
【今年度の取組目標】 ・特定健診受診対象者への受診の呼びかけ及び受診前世代(39歳)への受診意識啓発のために広報を実施。 (市町村国保) ・未受診者対策として、医療機関に通院中の者に対して、保険者が診療データの提供を受け、保健指導や重症化予防対策に結びつける。(市町村国保) ・国の事業(市町村国保ヘルスアップ事業)を活用した各市町村で取り組む受診勧奨の充実・強化の呼びかける。 ・民間の委託機関の活用について助言等を行い、特定保健指導実施件数を増やす。										直近の実績値(R4年度) R5.4月調査分月例報告(市町村国保) 40～49歳受診率18.21%(前年度比2.35ポイント増)	
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)			
特定健診	・市町村国保の特定健診受診対象世代及び特定健診受診前世代(39歳)に向けて、テレビ・ラジオCM・新聞広告・デジタルサイネージ・ポスターの掲示による広報を実施。 また、受診率の低い若年層世代(40歳から50歳代前半)及び39歳向けにWEB・ネットTVのCMによる広報を拡充。 ・特定健診情報提供事業の実施。 ・市町村国保ヘルスアップ事業の活用の呼びかけを実施。 ・特定健診実施医療機関に対し、かかりつけ医からの受診勧奨を依頼 ・(再掲)健康増進月間に集中したテレビCMによる高血圧対策・特定健診受診勧奨啓発(10月)			・市町村国保の特定健診受診対象世代に向けて受診の呼びかけを実施。テレビCM・WEB広告・ネットTVCM・デジタルサイネージを配信(5月予定) 新聞広告を掲載(5月下旬予定) ・特定健診未受信者への呼びかけを実施。テレビCM・ラジオCM・新聞広告・WEB広告・デジタルサイネージ(9月予定) ・特定健診受診前世代(39歳)に向けて受診啓発を実施。テレビCM・ラジオCM・WEB広告・ネットTVCM・デジタルサイネージ(2月予定) ・特定健診受診対象者及び受診対象前世代に向けて受診を呼びかけるポスターを掲示(6月から掲示予定) ・特定健診情報提供事業の実施(11月・12月・1月実施予定) ・市町村国保ヘルスアップ事業の活用の呼びかけを実施。(9月以降実施予定)				【成果と課題】 【今後の取組】			
	特定保健指導	○特定保健指導の強化 ・特定保健指導従事者育成研修会の開催(初任者編、経験者編Ⅰ・Ⅱ)			・特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編 :6月開催予定 経験者編Ⅰ :10月頃 経験者編Ⅱ :12月頃				【成果と課題】 【今後の取組】		

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

						担当課	保健政策課
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策						計画冊子	P29～P31

(2)血管病 ②高血圧

施策目標 (モニタリング指標含む)		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考	
1	降圧剤服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合 (市町村国保・協会けんぽ 特定健診結果)	計画								30%未満		
		実績	男34% 女31%	男33% 女30%	男33% 女31%	男33% 女31%	男35% 女31%	男36% 女34%				
2	収縮期血圧の平均値 (40歳以上)	計画	男 女		(140) (133)	(138) (133)	(136) (132)	(134) (132)	132 131	(131) (131)	130mmHg 以下	H28全国 男134 女127
		実績	男 女	141mmHg 134mmHg	-	-	-	-	-	-	135mmHg 134mmHg	
3	収縮期血圧130mmHg以上の人の割合 (40歳以上)	計画	男 女		(71) (56)	(66) (54)	(62) (52)	(57) (50)	53 48	(49) (46)	45%以下	
		実績	男 女	75% 58.1%	-	-	-	-	-	-	56.3% 59.6%	
M1	収縮期血圧の平均値(40歳以上) (市町村国保特定健診結果)	計画	男 女									
		実績	男 女	130.9 127.4	131.0 127.7	131.2 127.7	131.2 127.8	132.3 129.4	132.7 129.8			
M2	収縮期血圧130mmHg以上の人の割合(40歳以上) (市町村国保特定健診結果)	計画	男 女									
		実績	男 女	75.0% 58.1%	57.9% 55.6%	57.6% 55.9%	57.5% 54.4%	59.6% 59.2%	60.2% 59.8%			

【課題】

- ・降圧剤服用者での収縮期血圧130mmHg以上の人の割合はR2,3と男女とも増加傾向にある。また、5割以上が血圧130mmHg以上の状況であるため、家庭血圧を指標とした治療や服薬指導、保健指導等の一貫した指導体制が必要
- ・未治療ハイリスク者への対策が必要
- ・塩分の取り過ぎは血圧を上げる要因の一つであるため、さらなる減塩の推進が必要

【今年度の取組目標】

- ・収縮期血圧130mmHg以上の人の割合をさらに減少させるため、血圧自己測定や減塩の普及啓発を行う。
- ・未治療ハイリスク者を治療につなげるため、特定健診結果等から未治療者・治療中断者を抽出し、受診勧奨を行う。
- ・さらなる減塩の推進のため、市町村国保集団健診の場で推定塩分摂取量測定事業を実施し、市町村による健康教育につなげる。

直近の実績値(R4年度)

- 推定塩分摂取量測定事業結果
(平均塩分摂取量)
- ・男性9.43g、女性9.06g
 - 降圧剤服用者の収縮期130mmHg以上の人の割合(市町村国保)
 - ・男性60.2%、女性59.8%(R3)

今年度の当初計画(P)

今年度の取組状況(D)

課題と今後の取組予定(C・A)

測定 家庭血圧 普及	・医療機関、薬局、健診機関による高血圧指導教材を活用した指導への協力依頼、教材の配布	・医療機関、薬局に対し、指導教材を配布予定	【成果と課題】 【今後の取組】
取組 治療に繋ぐ の推進	・健診機関から指導教材を活用した直接指導の継続	・特定健診実施機関に対し、指導教材を配布予定	
高血圧 予防の普及 啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧対策サポーター企業認定事業 ・ポピュレーションアプローチ減塩に関する啓発活動の実施 ・血管病対策研修会の開催 ・(再掲)高知家健康パスポート事業での啓発 ・推定塩分摂取量測定事業による健康教育国保特定健診(集団)会場で実施、結果票に減塩チラシを添付して啓発(31市町村実施予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター企業531社(R5.3末現在) ・ポピュレーションアプローチ(9月実施予定)減塩に関する啓発活動の実施 キャッチコピーによる県内一斉啓発(テレビCM、チラシ配布等) ・テレビ番組による減塩の啓発及び企業と連携したレシピによる啓発(減塩プロジェクト)(11月予定) ・(再掲)高知家健康パスポート事業での啓発 ・テレビCM等による啓発 ・事業実施案内チラシを特定健診実施通知等とあわせて配布するよう市町村へ依頼 ・推定塩分摂取量測定実施(31市町村) 	

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

							担当課	保健政策課
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策							計画冊子	P32～P35

(3) 糖尿病性腎症重症化予防

施策目標			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	糖尿病性腎症による 新規透析患者数	計画									増加 させない	
		実績	108人 (H25～H27 の平均値)	110人 (H26～H28 の平均値)	118人 (H27～H29 の平均値)	122人 (H28～H30 の平均値)	124人 (H29～R1 の平均値)	118人 (H30～R2 の平均値)	117人 (R1～R3の 平均値)			
2	糖尿病治療中の者の うち、HbA1c7.0以上の 人の割合 (市町村国保・協会けんぽ 特定健診結果)	計画									25%以下	
		実績	男30% 女31%	男34% 女32%	男38% 女33%	男38% 女35%	男39% 女35%	男39% 女38%				
3	未治療ハイリスク者・ 治療中断者に対する 指導の成功率	計画									50%以上	H30年度よ り、実績集 計方法の変 更あり。
		実績	未治療 治療中断	26.6% 40.0%	23.9% 46.8%	40.2% 48.2%	40.1% 40%	43.8% 48.9%	35.5% 68.7%	38.1% 52.1%		

【課題】

- ・糖尿病性腎症による新規透析導入患者は、全新規透析導入患者の約4割を占めている。
- ・糖尿病性腎症による新規透析導入患者は増加傾向にあり、人口10万人対の数も全国と比較して高い状況にある(全国:12.7、高知県:17.9)。
- ・特定健診の結果から、血糖・HbA1c有所見者割合が増加している。
- ・未治療ハイリスク者及び治療中断者への指導の成功率は上昇傾向にあるが、対象者への介入率が100%に至っていない市町村もある。
- ・治療中ハイリスク者への介入について、医療機関からの連絡票の返信率が約2割で、そのうちプログラム利用割合は約半数と、医療機関と保険者の連携体制が課題となっている。また、市町村によっては、マンパワー不足や医療機関と連携した保健指導に戸惑いを感じており、市町村での取組が進むような支援も引き続き必要となっている。
- ・R2年度から、数年後に透析導入が想定される者を対象に、医療機関と保険者と協働で生活指導等を行う糖尿病性腎症透析予防強化プログラムを実施し、介入効果を示唆された。患者のQOL向上や医療費の適正化に向け、介入効果の見える化により医療機関や患者に周知を行う必要がある。
- ・糖尿病の専門的医療機関以外の病院、診療所の多くでは、外来看護師は患者への生活指導に十分な対応ができづらい。
- ・医療機関における栄養食事指導が進展していない。(外来栄養食事指導料SCR76.6と全国平均(100)に届いていない。)

【今年度の取組目標】

- 〈糖尿病性腎症重症化予防プログラム〉
- ・市町村への糖尿病アドバイザーの派遣による糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取組推進
- 〈糖尿病性腎症透析予防強化プログラム〉
- ・糖尿病性腎症透析予防強化プログラムの県内全地域での実施:6地域11市町村12医療機関
- ・介入効果の検証、進捗管理:推進会議の開催 年2回
- ・糖尿病患者への効果の周知や医療機関でのプログラム実施を拡大するための体制整備のための介入効果の見える化:冊子等啓発資料の作成
- ・治療中ハイリスク者への医療機関と保険者が連携した介入の仕組みづくり
- ・血管病調整看護師の活動定着と地域連絡会及び公開講座を活用した役割の周知
- ・外来栄養食事指導の提供体制の充実のため、管理栄養士の資質向上のための研修会を実施

直近の実績値(R4年度)

- ・重症化予防プログラム介入(R3・R5.3時点)
未治療者:121人
治療中断者:99人
治療中ハイリスク者:563人
- ・糖尿病アドバイザー派遣:13回
- ・透析予防強化介入:73人
(4地域9市町村10医療機関)
- ・糖尿病性腎症透析予防強化事業推進会議の開催:年2回
- ・血管病調整看護師育成:67人
- ・外来栄養食事指導協力医療機関数:91医療機関
- ・協力医療機関の外来栄養指導件数:13.6件/月・医療機関

今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
糖尿病性腎症重症化予防プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病アドバイザー派遣事業の実施(通年) ・診療報酬等データ分析システムによる、プログラム取組状況の調査・評価の実施 ・血管病重症化予防対策研修会の開催(8月) ・ブロック毎の医療機関向け研修会の開催 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム事例集による取組の周知 ・糖尿病予備群に対し、持続血糖モニタリングデータをもとにICTを活用した保健指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の希望調査結果に基づき、糖尿病アドバイザーの市町村への派遣調整(活用13市町村予定) ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施におけるセミナーで取組紹介(6/30) 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定 (C-A)
透析予防強化事業 糖尿病性腎症	<ul style="list-style-type: none"> ・県内全地域において、医療機関と保険者が連携した生活指導等の実施 ・介入結果を定期的に(年2回)把握し、介入効果を検証 ・推進会議及び実務者会で進捗管理、介入効果を検証 ・介入効果の見える化(冊子等啓発資料の作成) <ul style="list-style-type: none"> ➢糖尿病患者への効果の周知による透析予防強化プログラムへの動機付け ➢医療機関でのプログラム実施を拡大するための体制整備 ・「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」と「糖尿病性腎症透析予防強化プログラム」の統合による、治療中ハイリスク者への医療機関と保険者が連携した介入の仕組みづくり ・ワーキンググループによる事業の進捗状況の共有、プログラムVer.3の内容検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・4地域(土佐市、幡多、高知市内、中央東)・9市町村・10医療機関で73人に継続介入 ・安芸地域、須崎地域での実施体制の整備 →県内全6地域、12医療機関、新規介入者16人(予定)に介入(随時) 	【成果と課題】 【今後の取組】
連携体制構築事業 糖尿病保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ・血管病調整看護師の実践支援 11のモデル医療機関への事業説明会 血管病調整看護師の院内検討会の開催 コンサルテーションの実施 ・血管病患者を支援する活動手順書の運用及び普及 ・地域連携強化に向けた研修会等の開催 スキルアップ研修会、合同研修会の開催 ・血管病調整看護師の役割周知 公開講座、事業報告会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・血管病調整看護師を対象とした合同事業説明会(6/8) 	【成果と課題】 【今後の取組】
外来栄養食事指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士スキルアップ研修会(7月) ・講義と事例検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・幡多圏域(8月) ・安芸圏域(9月) ・須崎圏域(10月ごろ) ・中央圏域(2月) ・外来栄養指導件数の集計・分析 		【成果と課題】 【今後の取組】

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

										担当課	保健政策課
4 分野ごとの健康づくりの推進										計画冊子	P36～P45
(1) 栄養・食生活											
施策目標 (モニタリング指標含む)			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	適正体重を維持している人の割合 (肥満BMI25以上 やせBMI18.5未満の減少)	計画	40～60歳代男性の肥満者 40～60歳代女性の肥満者 20歳代女性のやせ							31%以下 19%以下 18%以下	
		実績	40～60歳代男性の肥満者 40～60歳代女性の肥満者 20歳代女性のやせ	34.2% 20.2% 20.0%	—	—	—	—	—	39.5% 19.1% 20.0%	
2	食塩摂取量	計画								8g以下	
		実績		8.8g	—	—	—	—	—	9.0g	
3	野菜摂取量の平均 果物摂取量100g 未満の人の割合	計画	野菜 果物							350g以上 30%以下	
		実績	野菜 果物	295g 55.6%	—	—	—	—	—	274g 56.6%	
4	65歳以上低栄養傾向 (BMI20以下)の割合	計画	男 女							男16%以下 女20%以下	
		実績	男 女	16.7% 21.2%	—	—	—	—	—	10.7% 18.4%	
M1	適正体重を維持している人の割合 (BMI18.5以上25未満)	計画	男 女								
		実績	男 女	63.8% 67.4%	63.4% 67.1%	62.3% 66.4%	62.0% 65.9%	61.2% 65.6%	—	57.4% 68.6%	
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)			
<p>○健康づくり啓発事業による県民への普及啓発</p> <p>○高知家健康チャレンジによる普及啓発 減塩と野菜摂取</p> <p>○健康づくりひとくちメモによる啓発</p> <p>・ヘルスマイトによる食育イベント</p> <p>・若い世代に減塩と野菜摂取の啓発</p> <p>・推定塩分摂取量測定を用いた減塩の啓発</p> <p>・低栄養予防レシピを活用した低栄養予防の普及啓発</p> <p>※高知県食育推進協議会で進捗管理 (第3期食育推進計画)</p>				<p>○健康づくり啓発事業による県民への普及啓発:10月に食生活改善に関する啓発CMを放送予定(高血糖予防・高血圧予防)</p> <p>○高知家健康チャレンジによる普及啓発</p> <p>①CM・チラシ・ポスター等の配布による周知啓発</p> <p>②量販店・コンビニの野菜関連商品に健康パスポートヘルシーポイントが取得できるシールを貼付、特設コーナー・POP等の設置、販促チラシへの掲載等</p> <p>・健康づくりひとくちメモによる減塩・野菜摂取の啓発:2回(5月末時点)</p> <p>・ヘルスマイトによる食育イベントの実施::34市町村実施予定</p> <p>・推定塩分摂取量測定事業の実施(31市町村)</p> <p>・低栄養レシピを活用した低栄養予防の普及啓発(27地区で実施予定)</p>				<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>			

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

	担当課	保健政策課
4 分野ごとの健康づくりの推進	計画冊子	P46～P49

(2) 身体活動・運動

	施策目標 (モニタリング指標含む)		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	日常生活における 歩数	計画	20～64歳 男女 65歳以上 男女							20～64歳 9,000歩 8,500歩 65歳以上 7,000歩 6,000歩	H28全国 20～64歳 男7,769歩 女6,770歩 65歳以上 男5,744歩 女4,856歩
		実績	20～64歳 男女 65歳以上 男女	20～64歳 6,387歩 6,277歩 65歳以上 4,572歩 4,459歩	—	—	—	—	—	20～64歳 6,210歩 5,960歩 65歳以上 4,894歩 4,229歩	
2	運動習慣者の割合	計画	20～64歳 男女 65歳以上 男女							20～64歳 36%以上 33%以上 65歳以上 58%以上 48%以上	H28全国 20歳以上 男35.1% 女27.4%
		実績	20～64歳 男女 65歳以上 男女	20～64歳 20.4% 19.0% 65歳以上 50.0% 38.2%	—	—	—	—	—	20～64歳 25.5% 21.8% 65歳以上 58.2% 36.7%	
M1	身体活動を1日1 時間以上実施 (市町村国保 特定健診結果)	計画									
		実績	男女	56.3% 56.5%	56.8% 57.7%	56.3% 57.4%	55.7% 56.6%	55.7% 56.6%			

・日常生活における歩数が平成23年と比較して減少しており、また、平成28年国民健康・栄養調査では全国最下位であり、歩数の増加に向けた対策が必要
 ・高齢者のフレイル対策として、運動器の機能向上に向けた筋力アップの働きかけが必要

【今年度の取組目標】

・身体活動・運動の大切さについて、広く啓発を行う

直近の実績値(R4年度)

・健康づくりひとくちメモによる運動の啓発 9回(3月末時点)
 特定保健指導従事者育成研修会の開催
 初任者編: 6/24(95名)
 経験者編Ⅰ: 10/18(110名)

	今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等による運動の啓発 ・健康づくりひとくちメモによる啓発 ・健康づくり啓発事業による県民への普及啓発 (再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康パスポート事業での啓発 ・特定保健指導従事者育成研修会による指導技術の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康チャレンジによる普及啓発運動に関する普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりひとくちメモによる運動の啓発 2回(5月末時点) ・健康づくり啓発事業における県民への普及啓発 10月の1ヶ月間、生活習慣改善(運動)の啓発CMを放送 (再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康パスポート事業での啓発 定期的にアプリを活用したイベントを実施 GW期間中(4月29日～5月7日)に実施 ・特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編 : 6月実施予定 経験者編Ⅰ : 10月実施予定 経験者編Ⅱ : 12月実施予定 ・高知家健康チャレンジによる普及啓発運動に関する普及啓発を実施(9月予定) 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課	保健政策課								
4 分野ごとの健康づくりの推進		計画冊子	P50～P57								
(3) 休養・こころの健康 (4) 飲酒											
年度施策目標 (モニタリング指標含む)			H28	H29	H30	R1	R2	R3	目標値 R4	目標値 R5	備考
1	睡眠による休養を十分とれていない人の割合	計画								12%以下	H28全国 19.7%
		実績		18.6%	—	—	—	—	—	17.5%	
2	自殺者(人口10万人あたり)	計画							14.6		R3全国 16.5
		実績		18.4	15.4	17.9	17.5	17.3	18.8		
3	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	計画	男女							15%以下 7%以下	H28全国 男14.6% 女9.1%
		実績	男女	16.4% 9.3%	—	—	—	—	—	16.8% 9.6%	
M1	毎日3合以上の飲酒量の人の割合 (市町村国保 特定健診結果)	計画	男女								
		実績	男女	11.4% 0.9%	11.0% 1.0%	10.7% 0.9%	11.1% 1.2%	10.7% 1.3%			
【課題】 (休養・こころの健康) ・睡眠による休養を十分とれていない人の割合は、成28年に比べて少し改善が見られるものの、依然として男性は40歳代、女性は50歳代が最も高く、職場と連携した取組が必要。 (飲酒) ・生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合は男女とも全国より高い。また平成26年度の特定健康診査データより、毎日飲酒すると答えた人は全国と比較して男女とも全ての年代で高く、飲酒する日に1日当たり日本酒3合以上を飲酒する人も、男女とも全ての年代で全国平均よりもかなり高いことから、各年代への適正飲酒に向けたさらなる啓発が必要。											
【今年度の取組目標】 ・休養やこころの健康に関する正しい知識の普及啓発を行う。 ・適正飲酒やアルコール健康障害及び関連問題等について正しい知識の普及を図る。									直近の実績値(R4年度) ・健康づくりひとくちメモによる啓発 9回(休養 4回 飲酒 5回) 特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編:6/24(95名) 経験者編 I :10/18(110名)		
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)			
休養・こころの健康	・出前講座等による啓発 ・健康づくりひとくちメモによる啓発 ※第2期高知県自殺対策行動計画に基づき進捗管理(障害保健支援課)			・健康づくりひとくちメモによる休養の啓発 1回(5月末時点)				【成果と課題】 【今後の取組】			
	飲酒	・出前講座等による啓発 ・健康づくりひとくちメモによる啓発 ・健康づくり啓発事業による県民への普及啓発(再掲) ・特定保健指導従事者育成研修会による指導技術の資質向上 ※高知県アルコール健康障害対策推進計画に基づき進捗管理(障害保健支援課) ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 飲酒に関する普及啓発			・健康づくりひとくちメモによる飲酒の啓発 1回(5月末時点) ・特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編 :6月実施予定 経験者編 I :10月実施予定 経験者編 II :12月実施予定 (再掲) ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 飲酒に関する普及啓発を実施(9月予定)				【成果と課題】 【今後の取組】		

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

	担当課	保健政策課
4 分野ごとの健康づくりの推進	計画冊子	P58～P62

(5)喫煙

施策目標 (モニタリング指標含む)			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	成人の喫煙率	計画	男女							20%以下 5%以下	H28全国 男30.2% 女8.2%
		実績	男女	28.6% 7.4%	—	—	—	—	27.0% 6.4%		
2	受動喫煙(家庭・ 職場・飲食店)の 機会を有する人の 割合	計画	家庭 職場 飲食店							3%以下 10%以下 14%以下	家庭7.7% 職場30.9% 飲食店42.2%
		実績	家庭 職場 飲食店	8.5% 28.9% 38.5%	—	—	—	—	5.0% 19.0% 9.6%		
M1	成人の喫煙率 (市町村国保 特定健診結 果)	計画	男女								
		実績	男女	23.4% 5.2%	23.2% 5.4%	22.8% 5.5%	22.8% 5.5%	21.8% 5.2%			
M2	市町村本庁舎の 建物内禁煙の割 合	計画				100%					R1.7.1改正健 康増進法一 部施行
		実績		73.5% (25市町村)	79.4% (27市町村)	—	100%	—	—	—	
M3	小・中学校の敷地 内禁煙の割合	計画	小学校 中学校				100%				同上
		実績	小学校 中学校	60.3% 46.2%	64.9% 54.8%	—	94.1% 93.3%	94.6% 94.2%	98.9% 95.0%	98.9% 94.8%	

【課題】

- ・受動喫煙防止対策強化を目的とした健康増進法が改正
- ・喫煙をやめたい人がやめられるように、禁煙治療につなぐ仕組みが必要。また、効果的な禁煙指導が行われるよう指導者のスキルアップが必要

【今年度の取組目標】

- ・改正健康増進法の全面施行に伴う各事業者等へ受動喫煙防止対策の徹底
- ・禁煙支援に携わる支援者のスキルアップ研修を実施

直近の実績値(R3年度)

- ・禁煙支援・治療のための指導者養成事業
修了者47名 終了率40.5%

今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定 (C-A)
<p>受動喫煙対策・禁煙対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デー・週間に合わせた啓発(5月) ・防煙教育スキルアップ研修 ・禁煙指導スキルアップ研修(WEB) ・禁煙治療指導者スキルアップ研修(とさ禁煙サポーターズフォローアップ) ・各種研修会・関係団体会議での健康増進法・禁煙支援に関する周知・啓発(通年) ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 禁煙に関する普及啓発 ・福祉保健所による健康増進法による指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙デー・週間にポスター掲示等での啓発(5月31日～6月6日) ・禁煙治療指導者スキルアップ研修(とさ禁煙サポーターズフォローアップ) (2月実施予定) ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 禁煙に関する普及啓発(9月予定) ・福祉保健所による健康増進法による指導・助言(随時) 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>

令和5年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課		保健政策課							
4 分野ごとの健康づくりの推進		計画冊子		P63～P67							
(6) 歯・口腔の健康											
	施策目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 R3	R4	R5	備考
1	一人平均むし歯数	計画	3歳 12歳 17歳					0.4本以下 0.5本以下 1.5本以下			高知県学校 歯科保健調 査
		実績	3歳 12歳 17歳	0.55本 0.97本 2.53本	0.47本 - -	0.5本 1.02本 2.63本	0.43本 - -	0.45本 0.68本 2.14本	0.47本 - -	- - -	
2	歯肉炎罹患率	計画	12歳 17歳					20%以下			高知県学校 歯科保健調 査
		実績	12歳 17歳	23.4% 24.4%	- -	22.9% 26.4%	- -	27.0% 23.5%	- -	- -	
3	40歳代で進行した歯周病 (4mm以上の歯周ポケットあり) に罹患している人の割合	計画						25%以下			高知県歯と 口の健康づ くり実態調 査
		実績	49.2%	-	-	-	-	68.7%	-	-	
4	80歳で自分の歯を20本以上 有する人の割合	計画						60%以上			高知県歯と 口の健康づ くり実態調 査
		実績	59.3%	-	-	-	-	56.7%	-	-	
5	定期的に歯科健診を受けて いる人の割合	計画						65%以上			高知県歯と 口の健康づ くり実態調 査
		実績	53.5%	-	-	-	-	62.4%	-	-	
【課題】											
<ul style="list-style-type: none"> ひとり平均むし歯数は減少傾向であるが、歯肉炎を有する者の割合が増加 歯科健診受診者数の増加に向けて市町村支援の充実が必要 											
【今年度の取組目標】									直近の実績値(R3、4年度)		
<ul style="list-style-type: none"> フッ化物洗口未実施施設への実施開始支援、既に実施している施設へのフォローアップ 働き盛り世代への歯周病予防対策強化 オーラルフレイル予防を推進するためのプログラムを更新し、普及啓発行う 									<ul style="list-style-type: none"> 一人平均むし歯数 3才:0.47本 (R3) フッ化物洗口実施割合 66.4% (R4) 		
今年度の当初計画(P)			今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定 (C・A)				
歯・ 口腔の 健康	<ul style="list-style-type: none"> 市町村や施設等に対してフッ化物洗口実施に向けた個別協議の実施 マスメディア等を活用した歯周病予防啓発 健診会場等での歯科保健指導の実施 県内5か所のモデル市町村でオーラルフレイル予防複合プログラムの実践 地域の通いの場においてオーラルフレイル予防複合プログラムを取り入れやすいようマニュアルの作成 		<ul style="list-style-type: none"> フッ化物応用推進事業を活用したフッ化物洗口開始施設の決定(6月) マスメディア等を活用した歯周病予防啓発(時期未定) 事業所での歯周病予防指導ができる歯科衛生士の育成研修会を実施(8月末までに3回実施予定) 健診会場等での歯科保健指導を実施(6月頃～) 県内5か所のモデル市町村でオーラルフレイル予防複合プログラムの実施(6月頃～) オーラルフレイル対策検討会の開催(8月) 				【成果と課題】 【今後の取組】				
	※高知県歯と口の健康づくり推進協議会で進捗管理										

令和5年度の取組について

子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着

第4期よさこい健康プラン21における対策

1 家庭・学校・地域との協働

- ・小・中・高校生の授業で副読本を活用した健康教育
- ・子どもの体力・運動能力、生活習慣等の調査による実態把握を行い、望ましい生活習慣の定着や体力向上を図る（教育委員会）
- ・健康教育に関わる関係機関と連携体制を構築し、学校へ医師をはじめとした健康教育の専門家を派遣する等、健康教育の一層の充実を図る（教育委員会）
- ・健康教育を通じた望ましい生活習慣の定着と、地域の団体や人材と協同した課題解決への取組推進（学校）
- ・就学前の子どもの保護者へパンフレット配付による望ましい生活習慣確立への意識の向上（教育委員会）
- ・課題校で朝食の大切さ及び将来に向けた健康教育の実施

2 食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及

- ・地域の住民組織等とともに体験的な学習による健康教育の推進
- ・ヘルスメイトと連携してオリジナル教材を活用した子どもの実践力を高める健康教育の実施
- ・市町村や量販店等事業者と連携した若い世代への啓発活動（高知県食生活改善推進協議会）

令和5年度の取組

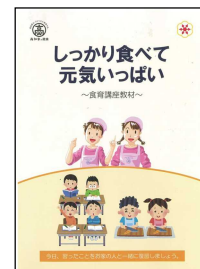
1 家庭・学校・地域との協働

- (1) 小・中・高校生を対象とした健康教育副読本の活用
- (2) 保護者や教員等への出前講座
- (3) 就学前の子どもの保護者を対象とした取組



2 食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及

ヘルスメイトによる児童生徒への健康教育及び朝食摂取課題校での健康教育の実施



1 学校・家庭・地域との協働

(1) 小・中・高校生を対象とした健康教育副読本の活用

【令和4年度副読本活用状況調査結果】

活用率：公立小中高等学校 100%

意見：高知県の調査結果や全国比較のグラフを活用することで、生徒の興味関心を高め、教科書の内容の理解がより深まる。

【活用方法】

- ・定期的な生活しらべの事前事後の指導に活用
- ・保健体育や特別活動の授業等で活用
- ・長期休業前後での生活習慣の見直しに活用

学年	目的	配布時期
小学校 低学年	家庭で、保護者と一緒に生活習慣チェックをし、「早ね・早おき、朝ごはんプラス運動」などの生活リズムの向上に取り組むことができる。 A4版10ページ副読本	令和5年5月 小学校1・2年生 全員に配布
小学校 中学年	食事・運動、休養・睡眠の健康三原則に気をつけ、健康的な1日の生活リズムを続けていくことができる A4版16ページ副読本	令和5年5月 小学校3年生 全員に配布
小学校 高学年	生活習慣病などの病気の予防について学ぶとともに、健康的な生活習慣を身につけることができる A4版16ページ副読本	令和5年5月 小学校5年生 全員に配布
中学生	健康的な生活と病気の予防について学び、思春期における自分自身の生活習慣を見直し、よりよい生活習慣の実践ができる 中学生用：A4版22ページ副読本	令和5年5月 中学生 全員に配布
高校生	社会に出る前に、本県の健康状況等を理解するとともに、自分自身の生活習慣を見直し、よりよい生活習慣の実践ができる A4版28ページ副読本	令和5年5月 高校1年生 全員に配布



(2) 保護者や教員等への出前講座

「子どもの頃からの健康的な生活習慣講師派遣事業」による出前講座

【実施状況】

平成30年度	22件
令和元年度	13件
令和2年度	3件
令和3年度	4件
令和4年度	3件

(3) 就学前の子どもの保護者を対象とした取組（県教育委員会幼保支援課）

就学前の子どもの保護者向けパンフレットの活用及び各保育所・幼稚園等での学習会の実施（県教育委員会幼保支援課）

◆保護者用パンフレット

保育所・幼稚園等の保護者を対象とした基本的な生活習慣に関するパンフレットを3歳児保護者に配付

A4サイズ・20ページ・フルカラー

〈内容〉

- ・生活リズムの大切さ
- ・早ね早おきの大切さ
- ・朝食の大切さ
- ・運動と遊びの大切さ
- ・子どもとの関わり方について
- ・取り組みカレンダー・シール



◆指導者用手引き

各園で3歳児保護者向けに基本的な生活習慣についての学習会を実施する際の指導者用手引の活用

◆指導者用データCD

各園で学習会を開催する際等に活用できるデータを収録したデータCDの活用

【スケジュール】

令和5年5月 保育所・幼稚園等に送付（5,000部）（6月・11月が取組強調月間）

2 食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及

(1) ヘルスマイトによる児童生徒への健康教育及び朝食摂取課題校での健康教育の実施

食生活改善推進協議会と連携した活動

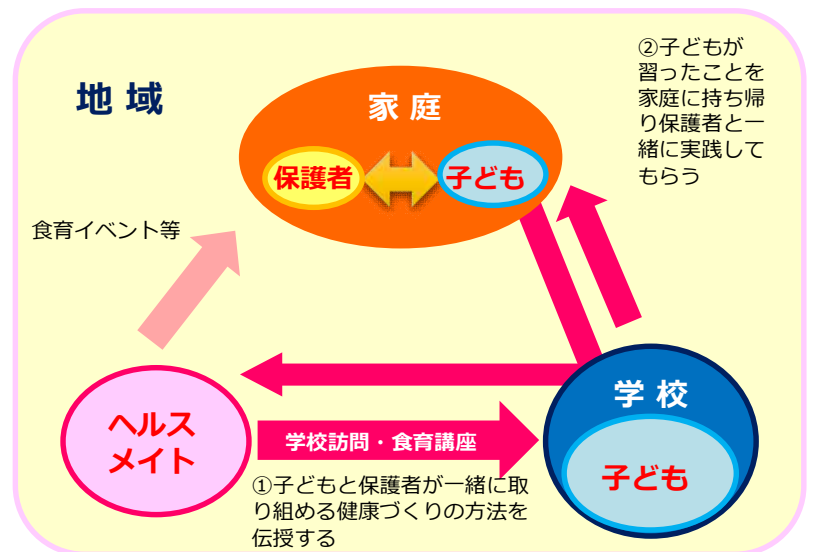
(内容)

- ヘルスマイトから子どもへの健康教育の実施（健康教育教材活用、実技・実演含む）
- 朝食摂取課題校（9校）において健康教育を実施できるよう教育委員会と連携
- 課題校にてアンケート調査を行い、実施後の行動・意識の変化等を把握

【教材】



A 4サイズ・14ページ・フルカラー
教材作成部数：4,200部



<内容>

- ・朝食の大切さについて
- ・食事のバランスについて
- ・おやつの内容について
- ・自己管理能力を高めるレシピ

<R5教材のポイント>

- ・小学生でも作ることができる簡単レシピを掲載

【参考】食生活改善推進員（ヘルスマイト）とは

食を通じた健康づくりをすすめるボランティアで、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、各地域で様々な食育活動に取り組んでいる。

正会員は、食生活改善推進員養成教室の修了が必要。

県内全市町村に組織（協議会）があり、会員数は1,336名（R5.5時点）

○主な活動

おやこの食育教室

学校での食育講座

男性のための料理教室

災害食の調理実習等 食と健康に関する活動

令和5年度の取組について

実施計画回数：103回

福祉 保健所	市町村	小学校数 (公立)	小学5年生 クラス数 a	R5年度 実施計画回数 b	R5年度 実績数	備考
安芸	室戸市	5	6	4		
	安芸市	8	9	9		
	東洋町	2	2	2		
	奈半利町	1	1	2		
	田野町	1	1	1		
	安田町	1	1	1		
	北川村	1	1	1		
	馬路村	2	2	1		
	芸西村	1	1	1		
	小計	22	24	22		
中央東	南国市	13	18	6		
	香南市	7	12	2		小学5年生の朝食づくり (市内全小学校対象)
	香美市	7	8	5		市内全小学校5年生対象事業
	本山町	2	2	2		
	大豊町	1	1	1		
	土佐町	1	1	1		
	大川村	1	1	1		
	小計	32	43	18		
高知市	高知市	39	88	7		
中央西	土佐市	9	10	2		とさっ子健診
	いの町	7	8	5		
	佐川町	5	6	6		
	越知町	1	1	2		
	仁淀川町	3	3	3		
	日高村	2	2	2		
	小計	27	30	20		
須崎	須崎市	8	9	6		
	中土佐町	3	3	3		
	梶原町	1	1	1		
	津野町	3	3	3		
	四万十町	12	14	7		
	小計	27	30	20		
幡多	四万十市	13	17	5		
	宿毛市	8	9	4		
	土佐清水市	6	7	2		
	黒潮町	8	8	3		
	大月町	1	1	1		
	三原村	1	1	1		
小計	37	43	16			
合計		184	258	103		

* 学校数は、R3年度現在の数

* 独自事業として小学校5年生を対象に全ての学校へ入っている場合、補足数を足して100%にしています。

働きざかりの健康づくりの推進

第4期よさこい健康プラン21における対策

1 健康づくりの県民運動

- ・高知家健康パスポート事業
- ・特定健診受診勧奨、高血圧・高血糖対策を重点に、生涯を通じた健康づくりについての総合的な啓発

2 職域と連携した健康づくり

- ・各圏域における健康づくり推進協議会の開催
- ・協会けんぽ高知支部と連携した圏域ごとの職場の健康づくり応援研修会の開催
- ・事業所への健康づくりの情報提供の機会拡大に向け、労働局や産業保健総合支援センター等と連携した啓発の実施
- ・県政出前講座等の実施や血圧計等の健康機器の貸し出しの実施
- ・高知県ワークライフバランス推進企業（健康経営部門）の認証及び公表
- ・高知家健康パスポートの健康経営への活用促進

令和5年度の取組

1 健康づくりの県民運動

- (1) 高知家健康パスポート事業
- (2) 高知家健康チャレンジ



2 職域と連携した健康づくりの推進

- (1) 関係機関等と連携した啓発
- (2) 健康経営に取り組む事業所への支援



1 健康づくりの県民運動

(1) 高知家健康パスポート事業

目的：壮年期の死亡率の改善を図るため、保険者が実施する予防・健康づくり事業のプラットフォームとして、県民の健康意識の更なる醸成と健康的な保健行動の定着化を図る。

開始時期：2016.9.1～

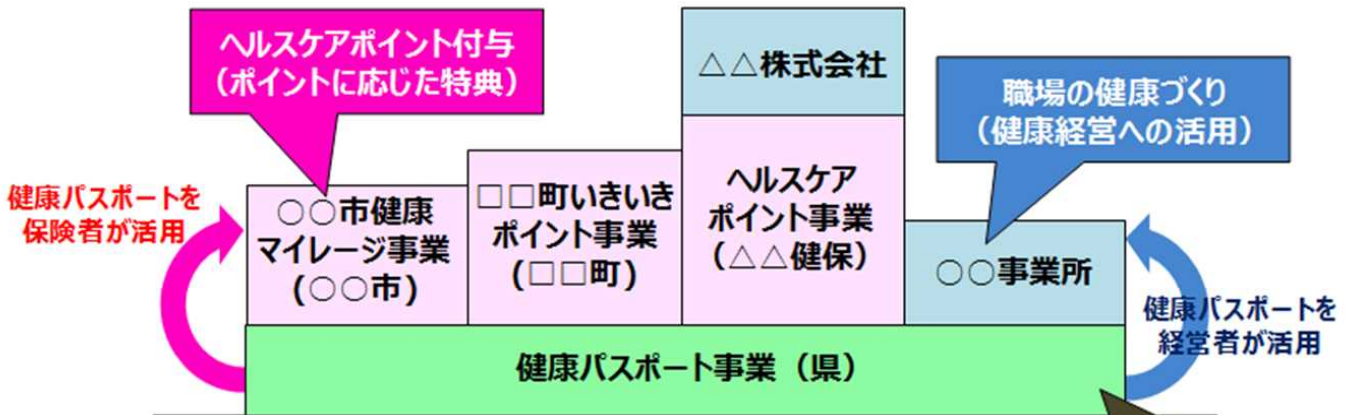
対象者：20歳以上の高知県民

内容：◆健診受診や運動施設の利用などを通じてポイントを貯めてパスポートを取得
◆ポイントを取得し、パスポートをランクアップすると特典が充実
◆健康パスポートアプリを配信→日々の歩数や血圧・体重測定の記録等でもポイント取得が可能
◆**令和4年4月から健康パスポート事業はアプリで運用**
※アプリを使用しない人向け「ヘルシースタンプシート」キャンペーン実施

特典：◆健康パスポート提示による参加施設での特典
◆取得者の応募によるプレゼントキャンペーンの実施（抽選）
◆ランクアップ者限定プレゼントの実施（抽選）

参加施設：令和5年3月末現在
ポイント付与：1,189施設 特典協力：440施設

健康パスポート事業は保険者インセンティブ事業や健康経営の普及を目指した健康づくりのプラットフォームです。



■ 健康づくりの県民運動を見据えた事業展開

・予防・健康づくりのプラットフォームとして県が事業展開

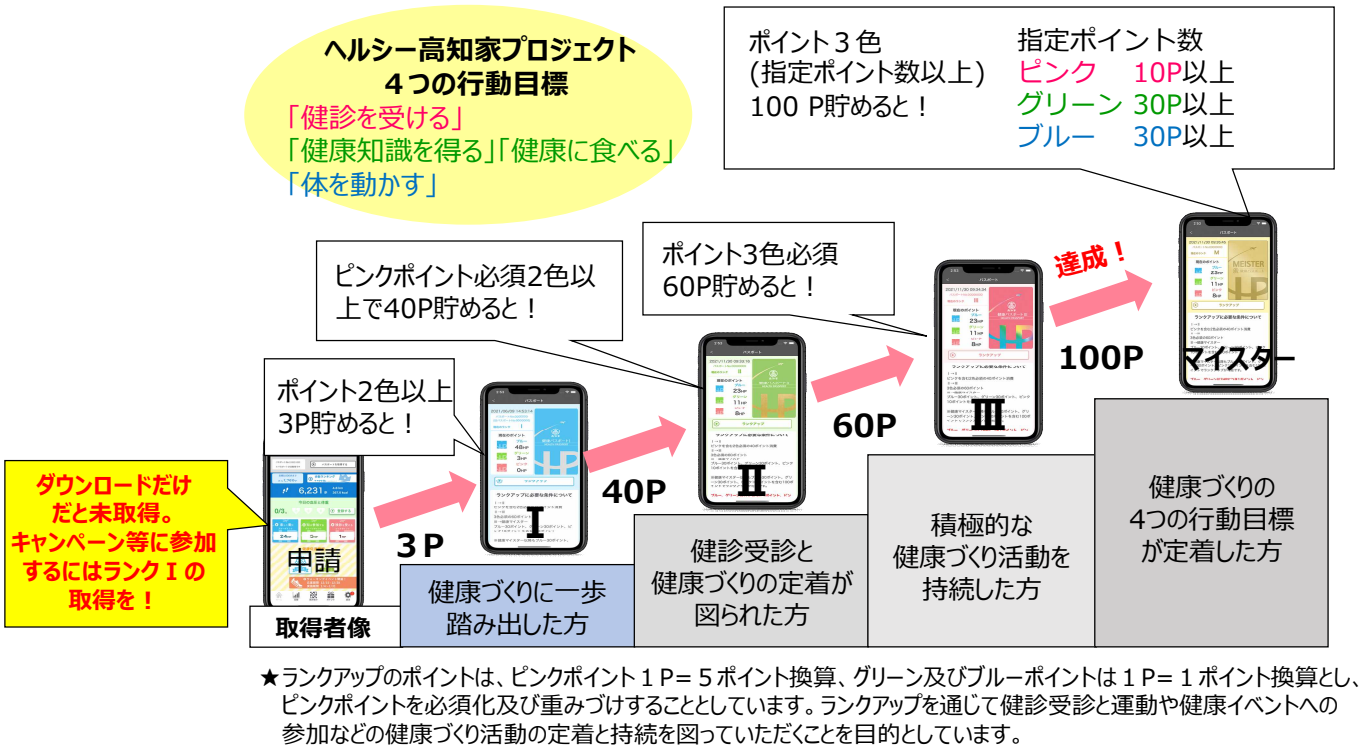
■ 県民が取り組みやすい制度設計

・健康パスポートを取得しやすいポイント数を設定

■ インセンティブを県と保険者の双方が提供

県がパスポートを発行
（プラットフォームの構築）
（協力店での割引等の特典）

【参考】健康パスポートの仕組み



- ・ **二次元コード**でヘルシーポイントを交付
- ・ 参加施設からアプリ利用者へのお知らせ通知機能追加により、**情報提供が容易**に！

【健康パスポートアプリの利用イメージ図】



- ・民間イベント運営者（ポイント付与事業所）
- ・特典参加施設 等

事業イベント申込から二次元コード発出までの流れ

①HPから事業イベント申込

ポイント対象事業承認

②ポイント取得用二次元コード発行
(メールで送信されます)

③二次元コードを読み取り



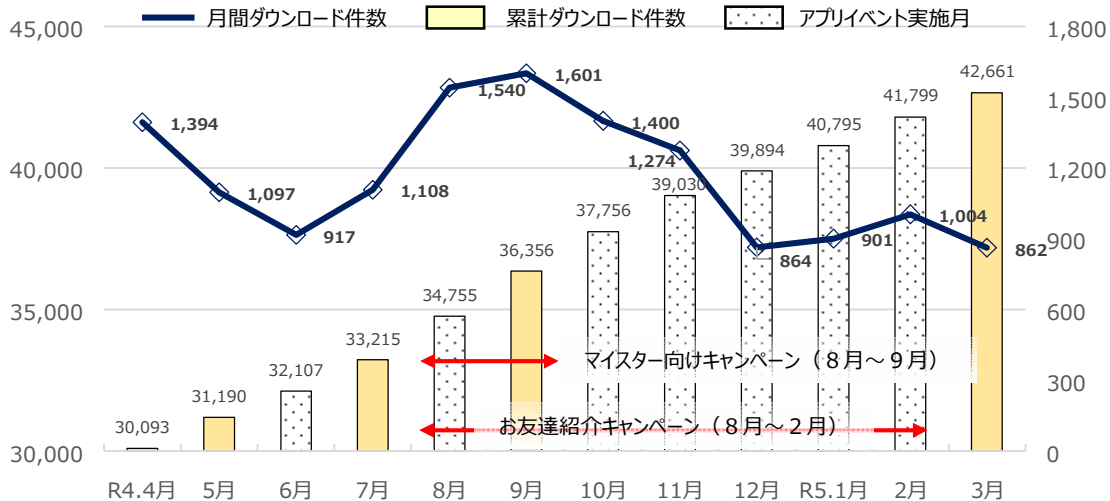
※福祉保健所及び市町村は台帳システムから直接登録が可能であり、承認は必要ありません。

健康パスポートの各種実績

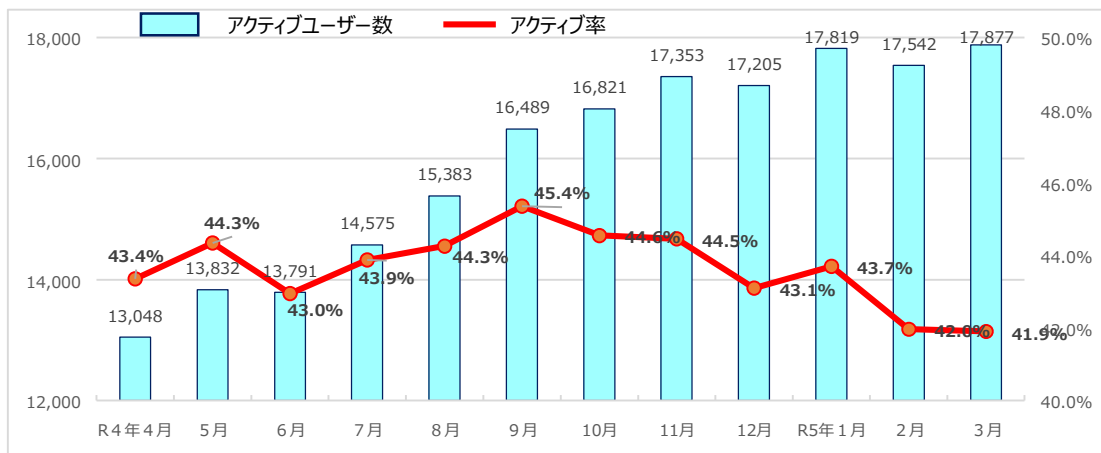
○直近のアプリダウンロード件数及び各ランク取得者数（R5年4月末）

	アプリダウンロード	I	II	III	マイスター
取得者数	43,568件	17,276名	10,307名	8,331名	5,658名
ランクアップ率	***	39.7%	59.7%	80.8%	67.9%

○アプリダウンロード件数推移（R4年度）



○アクティブユーザー数及びアクティブ率の推移（R4年度）



※アクティブユーザー：1日/月以上アプリを利用しているユーザー

アプリダウンロード件数及び定期的にアプリを活用する「アクティブユーザー」は順調に増加



働きざかり世代等への健康づくりをさらに推進するため、健康づくりのプラットフォームである健康パスポートの仕組みを強化する必要がある

現状の課題と令和5年度の取組予定

<現状の課題>

○健康経営の取り組みフォロー

- ・働きざかり世代の死亡率は全国平均より高く、職場での健康づくりが十分ではない。

○市町村と連携した取り組み

- ・市町村でアプリを活用した健康受診勧奨が十分ではない等、デジタル化を活かした健康づくりの取り組みをよりいっそう進める必要がある。

<令和5年度の取組予定>

○健康経営の取り組みフォロー

- ・事業者ごとに健康パスポートアプリを運用できるシステムの導入
- ・県内事業者への個別提案の実施
- ・取組成果をモデルケースとして紹介（事業者向け特設サイトで取組事例を紹介）
- ・事業者向けインセンティブ提供に向けて企業等へ協力依頼

○市町村と連携した取り組み

- ・市町村独自の健康づくりに係る取組支援を目的としたシステムをアプリに導入
- ・独自のインセンティブポイントの設定・運用システムの追加
- ・健診受診勧奨機能及びアプリイベント開催機能の追加
- ・市町村向け説明会の実施
- ・アプリイベント等取組事例の紹介（市町村向け特設サイトで取組事例を紹介）

○ポピュレーションアプローチの強化

引き続き、県としても啓発及び行動変容の促進に係る取組を継続していく。

【CM等による健康づくり啓発】

- ・健康づくりひとくちメモによる「よさこい健康プラン21」の総合的な啓発（通年）
- ・テレビCMによる高血圧及び高血糖対策・特定健診受診勧奨啓発(10月)

【高知家健康チャレンジと連動した行動変容の促進】

- ・アプリイベント等の開催（9月予定）
- ・健康意識に関するアンケート調査（8月及び10月予定）

【アプリイベント等の定期的な開催（年間6回予定）】

- ・四国4県対抗戦やライトユーザー向けのイベント等を開催予定

【参考】健康パスポートアプリ改修イメージ

事業所向け追加機能

○事業所ごとにアプリを運用できるように、アカウント登録及び運用システムを追加【アプリに追加する機能例】

- ・企業情報の登録及び編集機能（支店・部署ごとの登録も可能）
- ・企業コード（二次元コード）発出機能
- ・従業員（アプリ利用者）へのプッシュ通知・お知らせ通知機能
- ・イベント・キャンペーン開催機能
- ・イベント参加者編集機能
- ・事業所ごと（もしくは、事業所内における部門及び支店ごと）のアプリユーザー数、アクティブユーザー数、平均歩数、8,000歩／日以上達成者数、体重・血圧記録者数等の統計データを参照できる機能

アプリ画面イメージ



市町村向け追加機能

○アプリ内に各市町村ページを作成し、独自に運用するためのシステムを追加【アプリに追加する機能例】

- ・各市町村が独自ポイントを設定・運用するためのシステム追加
- ・ヘルシーポイント付与二次元コードと同一の二次元コードで独自のポイント付与できるシステムを追加
- ・ポイント収支管理機能を追加
- ・アプリ内イベント開催システムを追加

アプリ画面イメージ



(2) 高知家健康チャレンジ

現 状：高知県は65歳までに亡くなる人数を死因別に全国と比較すると、不慮の事故を除いて、がん、脳卒中、心疾患の生活習慣病の割合が高く、生活習慣病予防につながる行動変容が求められている。

事業目的：生活習慣病の発症リスクを高める5つの分野（減塩、野菜摂取、運動、節酒、禁煙）で新聞広告の掲載、テレビCMの放送等による普及啓発を行い、行動変容を促していく

目 標：5つの分野（減塩、野菜、運動、節酒、禁煙）の目標値（R5）達成
※図1参照

実施期間：9月にキャンペーンを実施予定

- 内 容：
- ◆事業アドバイザーの参画によるナッジ理論を活用したハードルの低い動作指示をキャッチコピーにした効果的な啓発事業の推進
 - ◆効果的な広報媒体の活用と高知家健康サポートアプリと連動した企画など、県民に届くプロモーションによる啓発の充実
 - ◆量販店、企業と協働した野菜摂取等に関する啓発活動を拡大し、県民とのタッチポイントを増やして行動変容を促す
 - ◆市町村や地区組織等による周知協力を得て啓発を実施予定



令和4年度のチラシ

#高知家健康チャレンジ
あれもこれもは無理だけど、自分にできることから始めてみませんか？

減塩：1日の塩分摂取 マイナス1g たったこれだけ!!
野菜摂取：野菜、もう1皿 (70g) たったこれだけ!!
運動：約1500歩 あと15分歩こう 5分×3回でもOK!!
節酒：週2日休肝日 たったこれだけ!!
禁煙：始めよう まずは禁煙外来へ!

高知家健康チャレンジとは
生活習慣病の5つのリスクは、「塩分過多」「野菜不足」「運動不足」「アルコール」「タバコ」[生活習慣を大きく変えるのはちょっと...]そんな方でも、いつもの暮らしに無理なく取り入れられる小さな「健康チャレンジ」始めてみませんか？

高知県では、「日本一の健康長寿県構想」に基づき、様々な取組を行っています。
高知県 保健政策課 ☎088-823-9675 高知家健康チャレンジこどもえいびり 後援

図1

5つの分野の【目標値(R5)】

減塩 ：食塩摂取量 H28 8.8g→R5 8g以下
野菜 ：野菜摂取量 H28 295g→R5 350g以上
運動 ：歩数(20~64歳) 男性 H28 6,387歩→R5 9,000歩 女性 H28 6,277歩→R5 8,500歩 歩数(65歳以上) 男性 H28 4,572歩→R5 7,000歩 女性 H28 4,459歩→R5 6,000歩
節酒 ：生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合 男性 H28 16.4%→R5 15%以下 女性 H28 9.3%→R5 7%以下
禁煙 ：成人の喫煙率 男性 H28 28.6%→R5 20%以下 女性 H28 7.4%→R5 5%以下

高知家健康チャレンジ

令和4年度のキャッチコピー

減塩：1日の塩分摂取 マイナス1g たったこれだけ!!

野菜摂取：野菜、もう1皿 (70g) たったこれだけ!!

運動：約1500歩 あと15分歩こう 5分×3回でもOK!!

節酒：週2日休肝日 たったこれだけ!!

禁煙：始めよう まずは禁煙外来へ!

2 職域と連携した健康づくりの推進

(1) 関係機関等と連携した啓発

①協会けんぽ高知支部と連携した「職場の健康づくり応援研修会」

- ・働き盛りの死亡率改善には、日中の大半を過ごす職場での健康管理が大切
- ・本県の40-50歳代男性は協会けんぽが4割と最大（国保は3割弱）

②地元新聞社等と連携した「こうち健康企業プロジェクト」

目的：従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営※」をテーマの中心に据え、新聞紙面特集等通じて県民に広く「職場の健康管理・推進」について理解促進を図り、高知県民の働きざかり世代の健康づくりを応援する。
【平成29年度から実施】

プロジェクト構成団体（R4年度）

高知県、高知県商工会議所連合会、全国健康保険協会高知支部 協力：高知新聞社、四国銀行

◆関係機関によるコンソーシアムの開催

- ・高知県における健康経営に対する意識統一と、キャンペーン推進のために、自治体・商工会議所等各機関との健康経営推進意見交換会を開催

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録指標

(2) 健康経営に取り組む事業所への支援

① 健康経営の啓発

【目的】

全国に比べて高い状況にある壮年期死亡率を改善するため、働きざかり世代の健康増進において重要な職場での健康づくりについて啓発を行い、事業所における健康経営の取組を推進する。

【内容】

ア 新聞広告の制作・掲載（10月から3月の間に2回程度）

イ テレビスポットの制作・放送（10月）

ウ 過去の健康経営アワード受賞企業の取組内容等をライブラリー化
過去に受賞した企業の取組とその後の成果や課題等を改めて調査し、ホームページ等で公表する。

② 健康経営に取り組む県内事業所の支援

職場の健康づくりが進んでいない県内事業所に対して、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の重要性の啓発を実施するとともに、**健康づくりのプラットフォームである高知家健康パスポートの活用を促進する。**

【内容】

ア 健康パスポートを活用した健康経営（職場の健康づくり）の取組促進を目的に、事業者ごとに高知家健康パスポートアプリを運用できる仕組みを導入（再掲）

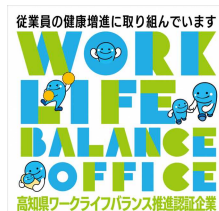
- ・県内事業者への個別提案を実施し、アプリ活用企業をフォロー
- ・取組成果をモデルケースとして紹介（事業者向け特設サイトで取組事例を紹介）
- ・アプリを活用する事業者向けのインセンティブ提供に向けた企業等への協力依頼

イ 従業員への健康パスポート取得の促進を認定要件とする高知県ワークライフバランス推進企業認証制度（健康経営部門）の認定企業の増加促進（啓発パンフレットの更新・配布、高知家健康企業宣言企業等へのアドバイザー訪問による取得支援）

ウ 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度（健康経営部門）
平成30年度より、商工労働部雇用労働政策課が所管する「高知県ワークライフバランス推進企業認証制度」に健康経営の項目を追加し、認証を受けた企業へ、インセンティブを提供

【認証にかかる主なインセンティブ】

- ・県HP等でのPR、認証企業対象の融資制度
- ・県建設工事競争入札参加資格審査における加点
- ★従業員への健康パスポートの取得促進を認定要件に設定し、健康経営への活用を促進★



高知県ワークライフバランス
推進企業認証マーク

生活習慣病の発症予防と重症化予防対策 血管病（①特定健診・特定保健指導）

第4期よさこい健康プラン21における対策

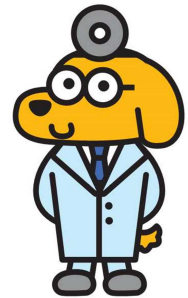
特定健診・特定保健指導

- ・特定健診・特定保健指導の受診勧奨等の徹底
- ・受診勧奨に取り組む健康づくり団体の育成・活性化支援
- ・広報等による啓発
- ・特定健診実施後の事後指導の徹底
- ・特定保健指導の実施率向上のための支援

令和5年度の実施

1 特定健診実施率向上対策について

- (1) 特定健診実施率の推移について
- (2) 特定健診実施率向上対策について
 - ①個別健診実施機関の健診実施の底上げ
 - ②国保保健事業による受診率向上対策
 - ③集団健診の利便性向上の取組
 - ④協会けんぽ高知支部と連携した被扶養者の受診率向上対策
 - ⑤制度周知・広報等
 - ⑥特定健康診査情報提供事業
 - ⑦福祉保健所による支援



2 特定保健指導実施率向上対策について

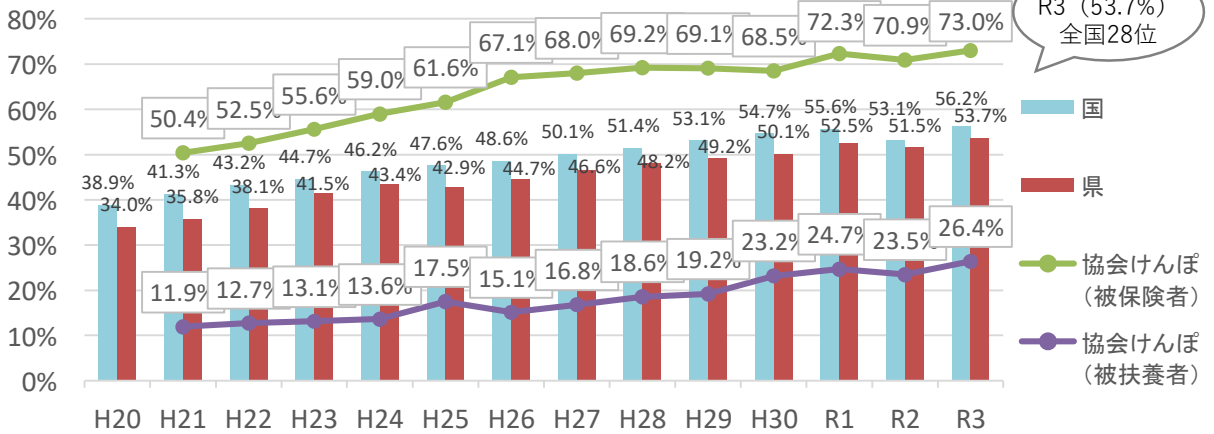
- (1) 特定保健指導実施率の推移について
- (2) 特定保健指導実施率向上対策について
 - ①特定保健指導従事者育成研修会
 - ②職場の環境づくりの推奨



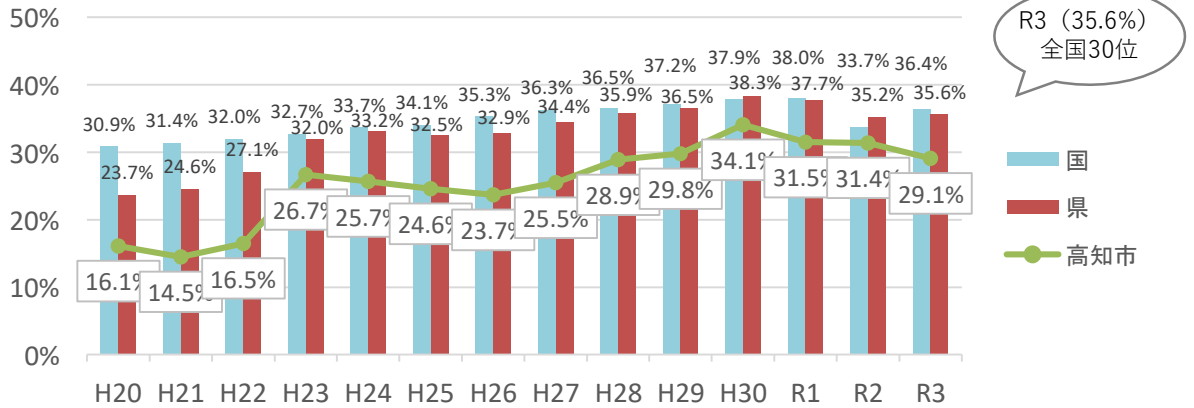
1 特定健診実施率向上対策について

(1) 特定健診実施率の推移について

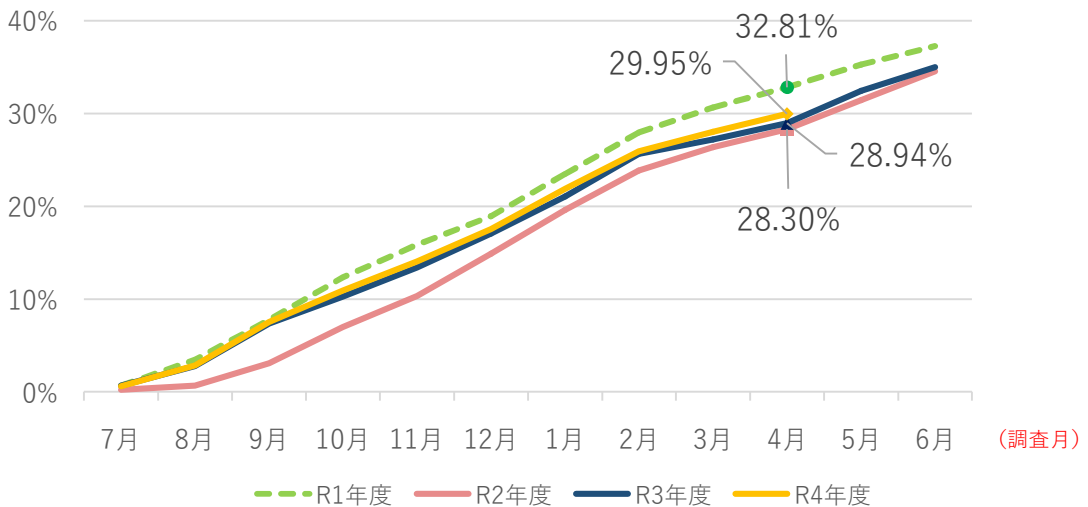
● 県全体・協会けんぽの実施状況



● 市町村国保の実施率状況



<参考> 市町村国保受診率の推移 (R1~R4)



出典：特定健康診査実施状況月例報告（国保連合会）

(2) 特定健診実施率向上対策について

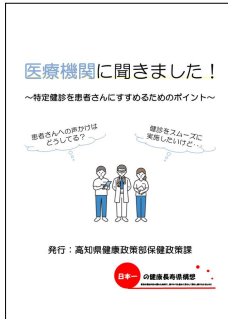
① 個別健診実施医療機関の健診実施の底上げ

受診勧奨の手引き及びチラシの送付

個別健診の実施率向上を目的として、特定健診実施医療機関からの働きかけを強化するため、個別健診の流れやポイントを示したリーフレットを県医師会と連携し配布する。

■ R4実績 (R5.3月送付)

(受診勧奨の手引き)



(受診勧奨チラシ)



(表)

(裏)

② 国保保健事業による受診率向上対策

○市町村国保では、国の事業（市町村国保ヘルスアップ事業）の活用や、休日健診、広報誌・地区放送を活用した広報活動などにより特定健診の受診率向上対策を実施している。

○市町村国保ヘルスアップ事業

被保険者の健康の保持増進、QOLの向上と医療費適正化に資するため、被保険者の積極的な健康づくりを推進し、地域の特性や創意工夫を活かした事業を実施する。

■生活習慣病予防対策

特定健診未受診者対策、特定健診受診者へのフォローアップ（特定保健指導未利用者への勧奨）、早期介入保健指導事業 等

■生活習慣病重症化予防対策

生活習慣病重症化予防における保健指導、糖尿病性腎症重症化予防

■国保一般事業

健康教育、健康相談、保健指導、歯科にかかる保健事業、地域包括ケアシステムを推進する取組、健康づくりを推進する地域活動等

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
活用市町村数	24	24	26	27	28	30	31	31

高知県国民健康保険課調べ

③ 集団健診の利便性向上の取組（特定健診とがん検診のセット化）

特定健診（集団健診）とがん検診（胃・肺）のセット状況

	受診率	巡回型				実施割合
		市町村数	実施回数	うちセット状況		
				市町村	回数	
H30年度	38.3%	32	371	32	317	85.4%
R1年度	37.7%	32	337	32	291	86.4%
R2年度	35.2%	31	285	31	240	84.2%
R3年度	35.6%	32	335	32	280	83.6%
R4年度	—	32	320	32	277	86.6%

高知県国民健康保険課調べ

④協会けんぽ高知支部と連携した被扶養者の受診率向上対策

ア 事業内容

- ・受診率が低く、セット健診（特定健診+がん検診）の環境が整っていない「協会けんぽ加入の被扶養者」に着目し、健診を受けるきっかけを提供。
- ・その際に、市町村のがん検診との「セット化」も行い、がん検診の受診も促進。
- ・費用負担は、特定健診分を協会けんぽ、がん検診分を市町村が負担（自己負担を除く）。
- ・平成28年度までは高知市のみの実施であったが、平成29年度から他市町村にも拡大。

イ高知市

実施方法	①施設内集団健診 (平日)	②集団健診 (がん検診の広域実施)	実施 予定者数	受診者数
H28	1,750名	650名	2,400名	1,302名
H29	1,410名	650名	2,060名	1,195名
H30	1,470名	840名	2,310名	1,387名
R1	1,510名	1,120名	2,630名	1,728名
R2	1,120名	740名	1,860名	1,370名
R3	1,510名	1,084名	2,594名	1,561名
R4*	776名	1,038名		1,814名

*R4～ セット健診（特定健診+がん検診）を受診した実数を計上（R5.4現在）

ウ高知市以外

- ・平成28年度から高知市以外の会場で特定健診を実施し、平成29年度から一部セット化を実施。セット化…特定健診と大腸がん検診の同時実施
- ・オプションとして、平成28年度はストレス測定、平成29年度は肌年齢測定を実施、平成30年度は肌年齢または脳年齢測定を実施、令和元年度は肌年齢測定を実施。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策のためオプションはなし。
- ・令和4年度、東部の3地域を追加。

実施方法	実施月	実施会場	がん検診とのセット化	申込者数	受診者数
H29	3月	11会場	6会場	652名	557名
H30	1, 3月	12会場	11会場	458名	394名
R1	1, 3月	5会場	5会場	396名	298名
R2	1, 3月	6会場	6会場	552名	489名
R3	1, 3月	6会場	6会場	629名	547名
R4	12, 1, 3月	9会場	9会場		568名

⑤制度周知・広報等

ア特定健診受診対象者及び特定健診前世代（39歳）への啓発（市町村国保）

- ・ 特定健診受診対象者向けに受診を呼びかける広報を実施（テレビ・ラジオCM、新聞広告、デジタルサイネージ、特に受診率の低い若年層世代向けにWEB、ネットTVのCM）。
- ・ 広報は令和4年度の受診勧奨事業で活用したキャラクターを引き続き使用。TVCM・ネットTVCM・デジタルサイネージ・WEB・SNS広告を特定健診受診券発送時期に合わせて実施することで、より効果的な受診勧奨につなげる。
- ・ 特定健診対象前世代（39歳）を対象にした意識啓発の広報も同じ媒体により実施。
- ・ 受診を呼びかけるポスターを作成し、商工会・商工会議所・農業協同組合・金融機関・量販店に掲示。

【事業内容】

- ・ テレビCM（5月・9月・2月）
高知放送・テレビ高知・さんさんテレビ 計493本予定
- ・ ネットTVCM（5月・2月）
- ・ デジタルサイネージ（5月・9月・2月）
- ・ WEB・SNS広告（5月・9月・2月）
LINE・YouTube・Twitter・Instagram・Yahoo!・Google
- ・ 新聞広告（5月下旬・9月中旬の2回掲載）
- ・ ラジオCM（9月・2月）
RKCラジオ・FM高知 計200本予定
- ・ ポスター掲示（6月から令和5年度中）



（参考：受診対象者向け新聞広告R4）

イ健康増進月間に集中したテレビCMによる啓発

対象：働き盛り男性及びその家族
 放送時期：令和5年10月（1か月間）
 放送局：（テレビ）高知放送、テレビ高知、さんさんテレビ 3局
 （SNS）YouTube
 （WEB広告）Googleバナー広告

■ R4実績

高血圧編	高血糖編	特定健診編
<p>高知家健康パスポートアプリ</p> <p>健康パスポートアイコンをシンプルに訴求</p> <p>山本さんは40代男性、その場でアプリキックが状況を解説する</p> <p>食事でワイワイしながらPC作業をする様子、アプリキックにスマホタイ、※昼休み、カフェメニューなど、※マスクはなし</p> <p>食事をする山本さん、食卓の食事は野菜多量、※アプリ画面は健康チェック、カレンダーに花丸が華々</p> <p>血圧測定をする山本さん、※アプリ画面は心臓の高さ、背丈に合わせたリラックス、左腕が一般的、※アプリ画面で、グループが分かる</p> <p>高血圧予防を促す内容のため</p>	<p>高知家健康パスポートアプリ</p> <p>Na:アプリ(男性) アプリで健康サポート! (SE:ピロント)</p> <p>健診検査結果を見ながら残念な表情の山崎さん。吹き出しで「[モノクロ]ボタン」部分のアップ、さらに赤丸が入る。</p> <p>そのまま引いて、二つの吹き出しが浮かぶ。</p> <p>バランスの良いさそうな食卓の写真</p> <p>階段を登っている様子</p> <p>おさえ</p> <p>※高知編で多い名前の3位が「山崎」</p>	<p>高知家健康パスポートアプリ</p> <p>Na:アプリ(男性) 楽しく健康づくり! (SE:ピロント)</p> <p>健康パスポートアイコンをシンプルに訴求</p> <p>小松さんは50代男性、その場でアプリキックが状況を解説する</p> <p>自宅でメタボ診断を受ける小松さん</p> <p>特定健診を受ける小松さん ※アプリ画面は、※アプリ画面はピンクが追加</p> <p>健診結果イマイチで改善を決意する表情、運動で生活改善に取り組み小松さん ※アプリ画面は、※運動はウォーキング、歩数が8,000歩を超える</p> <p>特定健診を促す内容のため</p>
<p>血圧高めな山本さん</p> <p>食生活を改善す!</p> <p>血圧測定も続けて、ポイントも貯まっていますよ。</p> <p>めざそう! 高知の血圧 130未満</p>	<p>血糖値、高めあなた</p> <p>心当たりありますか?</p> <p>まずは食生活を改善!</p> <p>適度な運動も心がけて!</p> <p>防ごう! 糖尿病の発症</p>	<p>メタボ気味な小松さん。</p> <p>特定健診、受けましょう!</p> <p>うーん...</p> <p>よし! 出来る事から生活改善!</p> <p>年一度は特定健診!</p>

ウ県の広報媒体を活用した啓発

対象：高知県内の40歳～74歳の方
 広報媒体：テレビ・ラジオでの読み上げ（「県民ニュース」「知っとく高知県」）
 さんSUN高知「情報ひろば」への掲載

⑥特定健康診査情報提供事業について

- ・特定健診受診率向上のため、治療中であることを理由に特定健診を受診しない場合に、治療中の検査結果を医療機関から市町村国保に提供してもらうことで、特定健診を受診したとする「みなし健診」を令和元年度から実施
- ・令和4年度は、10月末・11月末・12月末の計3回、国保連合会から市町村へ対象者の名簿を提供し、11月～3月に 医療機関から患者承諾のもと情報提供を受けた
- ・特定健診情報提供料 2,500円／1件

(参考) 情報提供項目

基本項目	問診
	診察（自覚症状及び他覚症状の検査）
	身体計測（身長、体重、腹囲、BMI）
	血圧
	血中脂質検査（中性脂肪、HDL、LDL）
	肝機能検査 （AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GT（ γ -GTP））
	血糖検査（HbA1c、空腹時血糖、随時血糖）
	尿検査（糖、蛋白）
その他 _{*1}	血清クレアチニン検査
	血清尿酸検査

*1:検査を実施している場合

○令和3年度の実施状況

- ・全市町村で実施
- 事業対象者リスト 11,803人
 - 10月提供分 4,143人
 - 11月提供分 3,894人
 - 12月提供分 3,766人
- ・うち事業実施者 2,824人
- ・うち受診者 438人
(特定健診対象者全体の0.4%)

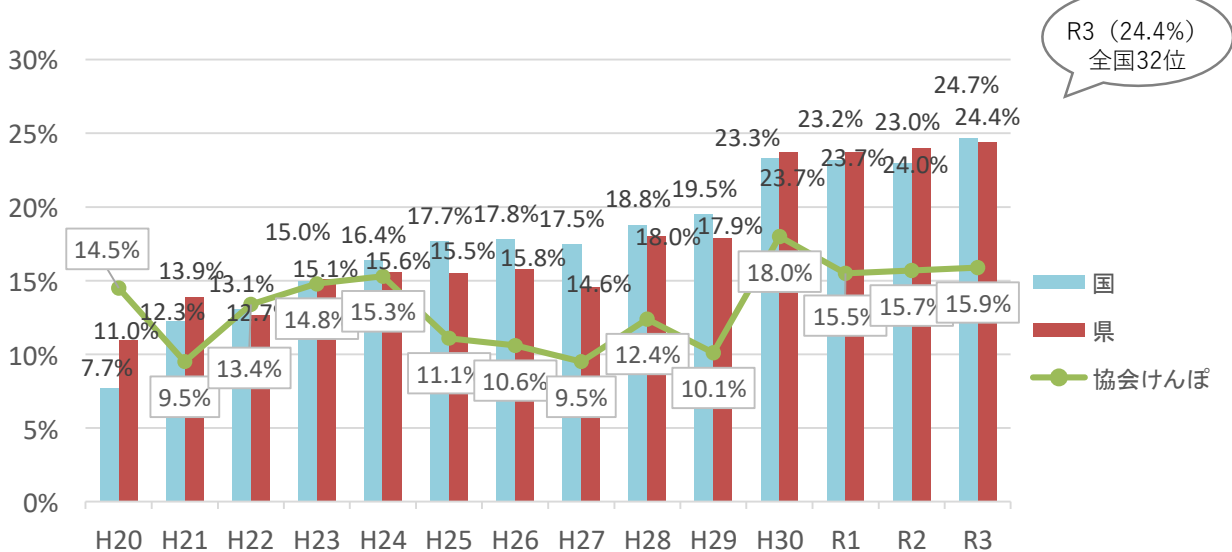
○令和4年度の実施状況

- ・全市町村で実施
- 事業者対象リスト 11,284人
 - 10月提供分 4,056人
 - 11月提供分 3,674人
 - 12月提供分 3,554人

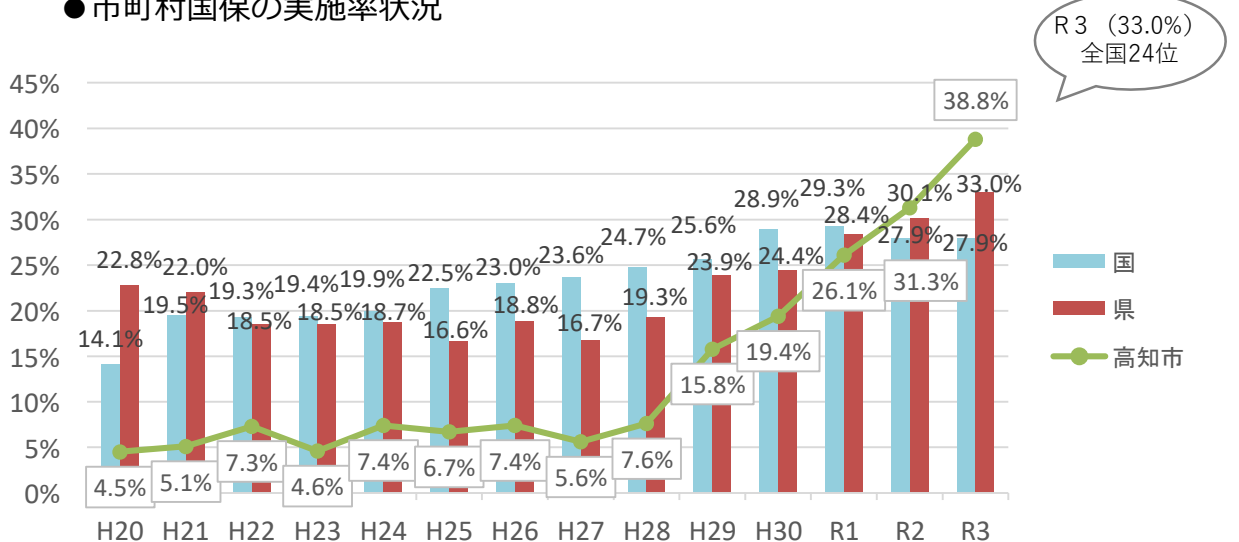
2 特定保健指導実施率向上対策について

(1) 特定保健指導実施率の推移について

● 県全体・協会けんぽの実施状況



● 市町村国保の実施率状況



2) 特定保健指導の実施率向上対策について

① 特定保健指導従事者育成研修会

ア 目的

県内特定保健指導従事者のスキルアップ

イ 対象者

- ・市町村の国保・保健衛生部門等で保健指導に従事する者
- ・医療保険者で保健指導に従事する者
- ・保健指導実施機関で保健指導に従事する者
- ・保健師、管理栄養士等で保健指導にかかわる予定がある者

ウ 日程・内容・参加者数

日程	研修区分	内容	参加者
令和4年6月24日 (リモート研修)	初任者編	・「健診・保健指導概論」 「保健指導の基本的事項」 説明：高知県保健政策課 ・「身体活動・運動に関する保健指導」 講師：健康運動指導士 池添 伊佐子 氏 ・「禁煙に関する保健指導」 講師：高知県立大学看護学部看護管理学 教授 久保田聡美 氏 ・「栄養・食生活に関する保健指導」 講師：土佐市健康づくり課 主査 高野 典子 氏 ・「メタボリックシンドロームの概念」 講師：高知赤十字病院 健診部長 大黒 隆司 氏	95人
令和4年10月18日 (リモート研修)	経験者編 I	・「効果的な保健指導のポイント ～第4期特定健康診査実施計画の見直しの方向性を 踏まえて～ 講師：女子栄養大学 特任教授 津下 一代 氏	110人

② 職場の環境づくりの推奨

特定保健指導を受けやすい職場環境づくりを健康経営の一つとして推奨

③ 特定保健指導の強化に向けた市町村への保健指導介入（血管病関連データ分析事業）

目的：効果的・効率的な特定保健指導を確立させ、市町村が実施する特定保健指導の質の強化を図る。

委託先：大阪大学大学院公衆衛生学教室

事業内容：モデル市町村において、生活習慣病ハイリスク者の保健指導効果検証研究

(J-HARP研究)で立証された保健指導モデルを活用し、対象者自身が自らの課題を認識し、健康行動を促進する、保健指導効果の高い特定保健指導を実施し、特定保健指導におけるHbA1c、メタボの改善効果を検証する。

モデル市町村：安芸市、土佐市、四万十市、越知町、大月町

1 家庭血圧を指標にした降圧治療の強化

(1) 医療機関での指導教材を活用した直接指導の継続

- ・指導教材を活用した指導についての依頼を継続

医療機関+薬局（352+307機関）に送付（7月中）



(2) 「高知家健康づくり支援薬局」を核とした指導

- ・身近で気軽に健康相談・支援が受けられる薬局を「高知家健康づくり支援薬局」として認定している。（令和5年3月現在：307薬局）
「高知家健康づくり支援薬局」薬剤師が、降圧薬処方時の家庭血圧測定と記録の促進の指導、服薬指導を実施。



健康づくり・セルフメディケーション*の推進
（*専門家の適切なアドバイスのもと身体の軽微な不調や症状を自ら手当すること）

2 健診等による高血圧への早い対処

①健診機関から指導教材を活用した直接指導の継続

特定健診受診機関及び生活習慣病予防健診実施機関にチラシの配布を依頼（継続）

- ・健診時に、医師から高血圧者への指導を実施

○対象者

- ①診察時にI度高血圧以上の血圧値であった者で、
- ②かつ、普段から家庭血圧を測定していない者

3 高血圧予防・治療に関する啓発

(1) 高血圧対策サポーター企業認定事業

○サポーター企業の活動

普及啓発活動	①ポスターの掲示やチラシの配布 ②顧客や従業員への呼びかけ ③ホームページや社内報で高血圧の危険性等に対する情報の掲載 ④社内における勉強会の開催
社会的な価値の創造	⑤企業方針としての打ち出し ⑥企業独自の企画（高血圧予防に関係する自社製品の販売等）の展開

このうち1つ以上の活動をお願いします！

○サポーター企業への啓発資材の提供



認定証ステッカー (A4サイズ)



ポスター 3種類 (A3サイズ)

○サポーター企業の認定状況

スーパー・飲食関係291社、薬局160社、その他80社 計531社 (R5.3月末現在)

- 令和5年度も、サポーター企業の新規登録数を増やすよう、職場の健康づくり応援研修等でPR

(2) 減塩プロジェクト

- 高血圧対策サポーター企業等と連携した食を通じた生活習慣の改善提案の実施

取組内容	
①減塩の啓発	店頭POP及びポスターの掲示、チラシでのPR
②商品紹介	減塩商品の紹介・販売、コーナー化
③健康サポート	高知家健康づくり支援薬局による血圧測定・健康相談の実施
④料理提案	減塩レシピ提案、減塩惣菜の販売、野菜の販売促進

○減塩プロジェクト参加企業 (令和5年3月末現在)・・・35社

- テレビ番組による減塩の啓発 (減塩プロジェクト)

減塩の特集で減塩プロジェクトの現状や取組を紹介

- 令和5年度も、高知家健康チャレンジと連動企画による「塩分マイナス1g」への複合的なアプローチ

(3) 血管病対策研修会の実施

■保健医療従事者のスキルアップ

医療機関、薬局、健診機関を対象に、高血圧者に対する指導方法を含めた血管病対策研修会を開催

- ・令和5年度研修
時期：R6.2月頃開催予定

(4) 高知家健康パスポート事業での啓発

高知家健康パスポート事業のアプリを活用した家庭血圧測定の記録を促進

- ・朝晩の家庭血圧記録をアプリに記録することで、3日間の記録ごとにヘルシーポイント緑を1ポイント付与



photo.jp - 2675002



ヘルシーポイント（緑）



(5) 推定塩分摂取量測定事業による健康教育

目的：受診者に対する食生活等生活習慣の改善に向けた指導や心疾患や脳血管疾患等の血管病の発症リスクである高血圧予防対策の推進を図る。

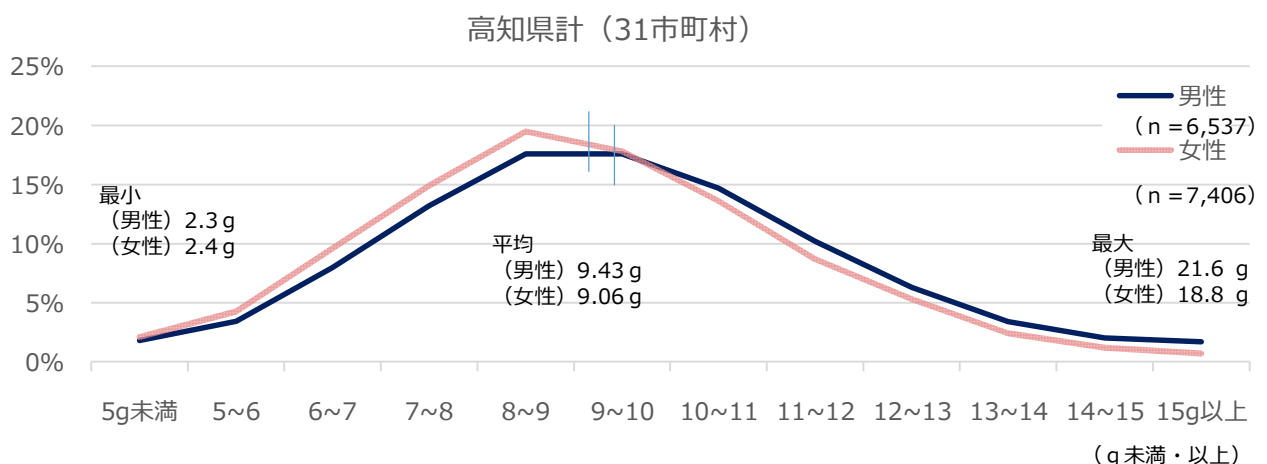
内容：市町村国保の協力を得て集団健診において、1日の推定塩分摂取量を測定し、減塩の健康教育に活用

予定：16,000件

委託先：公益財団法人高知県総合保健協会



○R4推定塩分摂取量測定事業実施結果（男女別分布_31市町村）



生活習慣病の発症予防と重症化予防対策

糖尿病性腎症重症化予防

第4期よさこい健康プラン21における対策

糖尿病性腎症重症化予防

- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、保険者と医療関係者等各関係機関が連携した重症化予防対策の推進を図るための体制整備
- ・対象者抽出の円滑な運用及び関係機関と連携した保険者の取組状況の進捗管理
- ・関係者への周知、保険者とかかりつけ医との連携体制の構築支援、及びかかりつけ医と専門医等との連携強化（医師会）
- ・構成団体への周知、及び県医師会やCKD対策連絡協議会と連携した透析予防を目的とした病診連携体制の構築（高知県糖尿病医療体制検討会議）
- ・CKDについての正しい知識の普及や人材育成及び重症化するリスクの高い患者について病診連携を推進する体制の構築（CKD対策連絡協議会）
- ・県内保険者へプログラムの周知及び取組促進への支援（保険者協議会）
- ・保健指導実施者の人材育成

令和5年度の実施

1 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取り組み

- (1) 高知県版糖尿病性腎症重症化予防プログラム
- (2) 糖尿病アドバイザー派遣事業による市町村の取り組み支援

2 ICTを活用した保健指導の実施

3 糖尿病性腎症透析予防強化事業

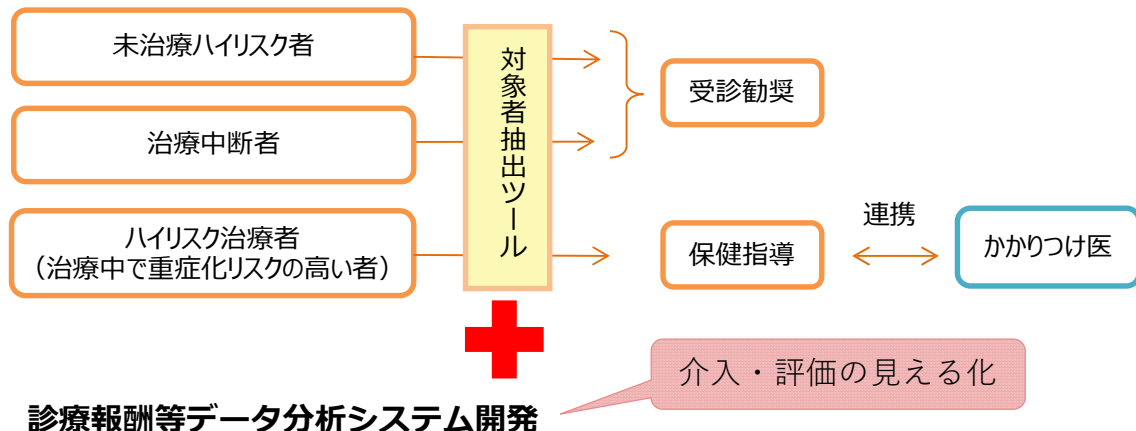
4 糖尿病保健指導連携体制構築事業

5 外来栄養食事指導の推進

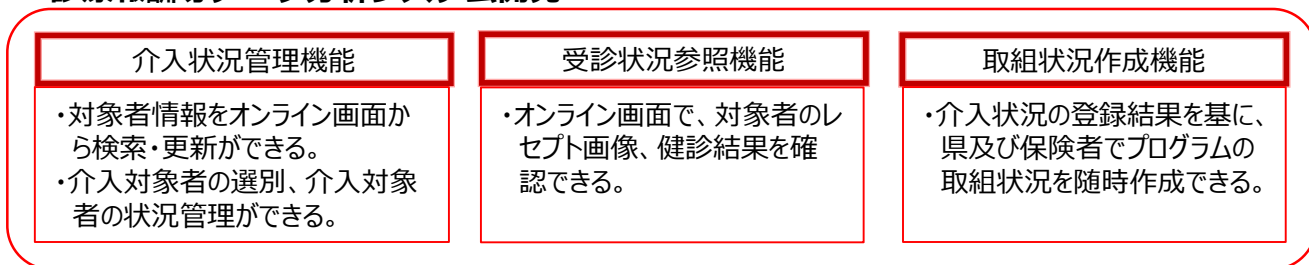
1 高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取り組み

(1) 高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム

- ・高知県医師会・高知県糖尿病医療体制検討会議・高知県の三者で糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定（平成30年1月）
- ・平成31年4月の国のプログラム改定を受け、県版プログラムも改定（令和元年11月）



診療報酬等データ分析システム開発



(参考) 未治療ハイリスク者・治療中断者への受診勧奨の実績

- ・脳卒中・虚血性心疾患・腎不全を発症するリスクが高く、薬物治療を受けていない人や、レセプトデータが途切れた治療中断者に対して、保険者が医療機関への受診勧奨を実施

未治療ハイリスク者<特定健診で医療機関への受診が必要と判断されながら健診後3ヶ月以上経過しても受診していない者>

表（国保連合会からの通知をもとに、市町村において精査した対象者）

対象者数	介入人数	医療機関受診者	
		人数	受診割合
152人	121人	43人	35.5%

※対象：R3年度特定健診受診者

治療中断者<過去に糖尿病の治療をしていたが、直近6ヶ月以上治療中断している者>

表（国保連合会からの通知をもとに、市町村において精査した対象者）

対象者数	介入人数	医療機関受診者	
		人数	受診割合
126人	99人	68人	68.7%

※対象：R3年度治療中断者

- ・令和5年度も、各福祉保健所単位で糖尿病性腎症重症化予防プログラムについての医療機関向け研修会を行い、プログラムの周知及び保険者との連携強化を支援する。

(参考) 治療中で重症化リスクの高い者へのかかりつけ医と連携した保健指導の実績

- ・糖尿病で通院する者のうち、腎症が重症化するリスクの高い者へ、本人及びかかりつけ医の同意のもと、かかりつけ医の指示により保険者が保健指導を実施。
- ・保険者による介入割合は、R元;44.5%⇒R2;49.6%⇒R3;55.4%と、介入割合は増加傾向にあるが、2市町がR4年度末時点で未対応。

治療中で重症化リスクの高い者 <糖尿病治療中で、特定健診で血糖(HbA1c)、血圧、尿蛋白、eGFRのいずれかの数値が基準値以上の者>

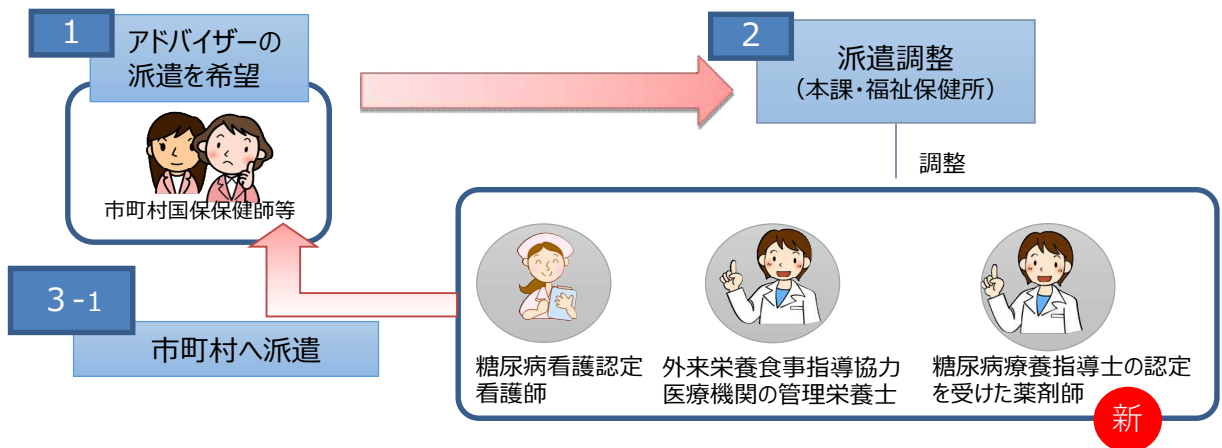
対象者数	介入人数	対象者へ連絡票を渡した数	主治医から対応方針の連絡があった者	保険者による保健指導依頼数	保健指導実施者数 (修了者及び継続中の者)
1,016人	563人	290人	61人	12人	6人

※対象：R3年度特定健診受診者

- ・保険者から対象者へ連絡票を渡した数のうち、医療機関からの返信は61件（返信率は21.0%）、さらに、そのうちプログラムを利用したのは35人と、医療機関と保険者との連携体制が課題となっている。
- ・令和5年度も、各福祉保健所単位で糖尿病性腎症重症化予防プログラムについての医療機関向け研修会を行い、プログラムの周知及び保険者との連携強化を支援する。

(2) 糖尿病アドバイザー派遣事業による市町村の取り組み支援

- ・糖尿病看護や栄養食事指導の専門家等を派遣し、それぞれの実情や困り事に合わせた助言を得られることで、市町村国保のプログラムの取り組みの推進を図ることを目的に実施する。



R4年度実績

依頼内容	実施回数
①保健師等への実践場面での助言	2
②プログラム対象者選別ミーティングでのアドバイス	0
③保健指導後の評価ミーティングでの助言	0
④事例検討会での助言	4
⑤勉強会講師	9
⑥糖尿病教室等の講師	0
計	15 (派遣回数は13回)

2 ICTを活用した保健指導の実施（委託）

- ・糖尿病予備群に対し、血糖状態を見える化するとともに血糖データに基づく保健指導を実施する。

■対象

特定健診の結果で、○HbA1c 5.8～6.4の者

※糖尿病、心不全、腎不全と診断された者及びBMI22以下の者等は除外

■介入内容

1クール3ヶ月の介入

○血糖管理ツール（FreeStyleリブレ）による持続血糖モニタリング

○データに基づくICTを活用した（タブレット端末等）保健指導

〈R4年度実績〉

- ・介入群（高知市、土佐市）：候補者302人に案内送付 ⇒ 初回面談実施 13人
- ・対照群※（香南市）：候補者263人に案内送付 ⇒ 初回面談実施 11人

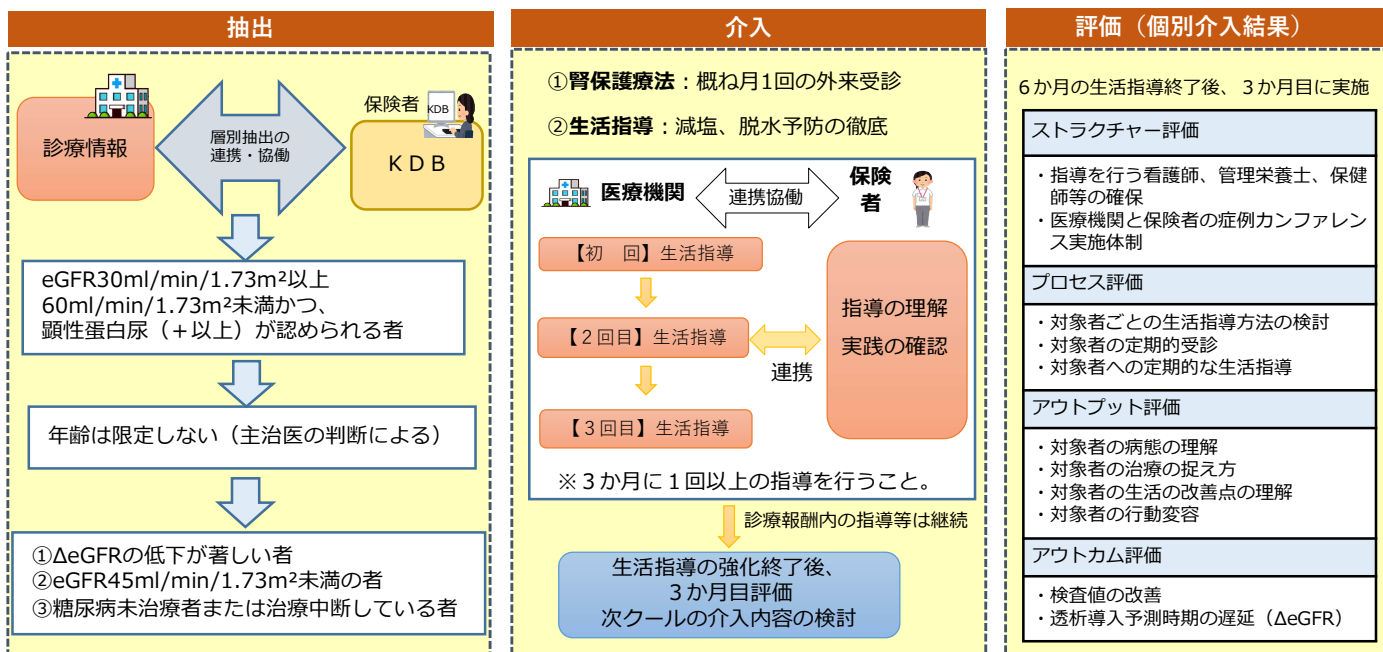
※ ICTを活用した保健指導のみを実施

- ・終了後にHbA1cの数値を確認できた20人（介入群12人、非介入群8人）について、介入前（R4年度特定健診時結果データ）と比較したところ、健診時よりHbA1cの値が減少していたのは介入群で12人(100%)、非介入群で7人(87.5%)と、いずれも有意差が見られた。

3 糖尿病性腎症透析予防強化事業

(1) 事業の概要

- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムでは、治療中で重症化リスクの高い方（プログラムⅡ）については、中等症までの者を対象としているが、概ね5年以内に透析導入が予想される患者への腎保護療法と生活指導の強化により、透析導入時期の遅延を図ることを目的とし、「糖尿病性透析予防強化プログラム」を策定。
- ・令和2年度からモデル事業として開始し、プログラムに基づき、医療機関と保険者と協働で生活指導等を行うとともに、定期的に事業評価を実施。



(2) 実施状況

- ・ R4年度までに、4地域（土佐市、高知市、幡多、中央東）・9市町村・10医療機関にて計73人に介入。
- ・ R5年度、安芸地域、須崎地域でも取組開始。
 - ⇒ 県内全6地域・11市町村・12医療機関で実施予定（新規介入者16人(予定)に介入（随時）

モデル医療機関及び介入者数

モデル地域	医療機関名	介入者数（新規）		
		R2介入開始	R3介入開始	R4介入開始
中央東地域	A病院（R4～）			2人
土佐市地域	B病院	4人（うち2人中止）	5人	－
	C病院	1人	－	－
幡多地域	D院	8人（うち1人中止）	4人	－
	E病院	7人	3人	3人
	F病院	3人（うち1人中止）	2人	－
	G病院（R4～）	－	－	6人
高知市	H病院	23人（うち3人中止）	－	－
	I病院（R3～）	－	3人	－
	J病院（R4～）			6人
計		46人（うち7人中止）	17人	17人
介入者合計（R5.1末）		73人		

(3) R5年度の取組

- ・ 介入結果を定期的に(年2回)把握し、介入効果を検証
- ・ 糖尿病性腎症透析予防強化事業推進会議及び実務者検討会にて、進捗管理、介入効果を検証
- ・ 介入効果の見える化（冊子等啓発資材の作成）
 - 糖尿病患者への効果の周知による透析予防強化プログラムへの動機付け
 - 医療機関でのプログラム実施を拡大するための体制整備
- ・ 福祉保健所ごとに医療機関、市町村（国保）への研修会を開催し、プログラムを周知
- ・ 福祉保健所単位の糖尿病対策推進協議会等を活用し、地域ごとのプログラム普及に向けた計画（R6～R9）を策定
- ・ 「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」と「糖尿病性腎症透析予防強化プログラム」の統合による、治療中ハイリスク者への医療機関と保険者が連携した介入の仕組みづくり
- ・ ワーキンググループによる事業の進捗状況の共有、プログラムVer.3の内容検討

(4) R4年度までの実績 (事業評価)

①介入前1年と介入後1年の比較 (介入強化群50人)

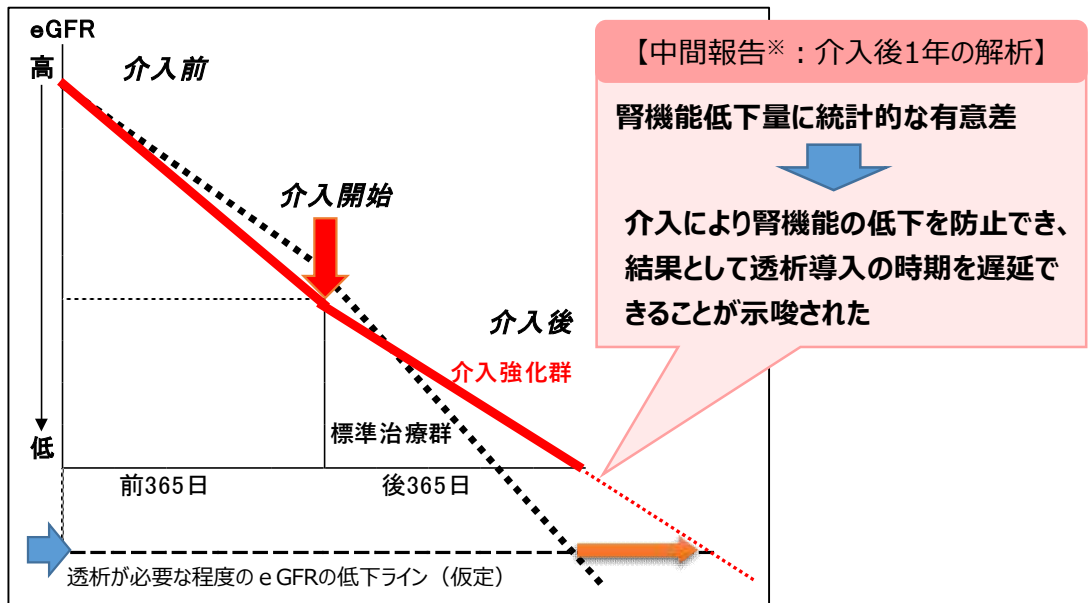
【中間報告】 現時点の評価であり、今後は2年後のデータを解析し最終評価を行う。

両群それぞれの腎機能低下量の平均値を介入 (基点) 前後で比較

	介入前のΔeGFR平均 (365日換算)	介入後1年のΔeGFR 平均 (365日換算)	差	P
介入強化群※	3.4	2.3	-1.11	0.022
標準治療群	2.6	4.5	1.87	

t検定 p < 0.05
で有意な差あり

※介入強化群：標準治療に加え糖尿病性腎症透析予防強化プログラムによる介入を行った群



②介入前1年と介入後1年・介入後2年の比較 (介入強化群34人)

個人ごとに介入 (基点) 前後の腎機能の低下量を比較

	改善・維持	悪化	計
介入1年後	20 (58.8%)	14 (41.2%)	34 (100%)
介入2年後	23 (67.7%)	11 (32.3%)	34 (100%)

介入2年後は、介入1年後より腎機能の低下量を維持・改善できている割合が増加した。

4 糖尿病保健指導連携体制構築事業（委託：高知県立大学）

- ・令和元年度より、高知県立大学に委託して実施。
- ・目的：モデル医療機関の看護師が、地域内の看護師や保健師等と連携した糖尿病患者への継続的かつ効果的な生活指導を充実させることで、地域における糖尿病患者の療養支援を強化する。
- ・課題：令和元年度からの取組により、13の基幹病院で67名の血管病調整看護師を育成。早期からの継続的な生活指導を実施することにより、治療中断者やコントロール不良を防ぐ関わりの充実に向け、血管病調整看護師の活動の定着に向けた支援が必要。

R4年度の実績

（1）血管病調整看護師の実践支援

第1期 県立あき総合病院、佐川町立高北国民健康保険病院、

第2期 高知高須病院、高知記念病院、JA高知病院、仁淀病院、くぼかわ病院

第3期 高知医療センター、高知大学医学部附属病院、高知赤十字病院、近森病院、三愛病院、
幡多けんみん病院

①モデル医療機関への協力依頼及び事前説明会の開催

②院内事例検討会の開催：各基幹病院（13か所）で1回以上

③合同事例検討会の開催：1回

④スキルアップ研修会の開催：3回

⑤コンサルテーションの実施：血管病調整看護師の事例展開へのICTの活用等による助言・相談

（2）関係機関との連携強化

①医療従事者向け公開講座の開催：1回

②地域連携会議への参画

（3）県民向け公開講座の開催：1回

（4）事例報告会の開催：1回

（5）活動手順書のバージョンアップ

5 外来栄養食事指導の推進（委託：公益社団法人高知県栄養士会）

- ・目的：糖尿病等の重症化予防を進めるため、管理栄養士が行う外来栄養食事指導を提供する体制の充実を図る。
- ・事業内容：外来栄養食事指導を提供する体制整備や充実のために、管理栄養士のスキルアップ研修や栄養食事指導の実績の把握を行う。
- ・実施内容

■研修会

R4.7.30（土） 参加人数 72名

講演「糖尿病性腎症の病態と診療について」

高知大学医学部附属病院 内分泌代謝・腎臓内科 藤本新平
症例発表

■症例検討会

高幡地区：R4.10.15（土） 参加人数 8名

講演及び事例発表（3施設）

安芸地区：R4.10.27（木） 参加人数 9名

講演及び事例発表（3施設）

幡多地区：R4.11.19（土） 参加人数 9名

講演及び事例発表（3施設）

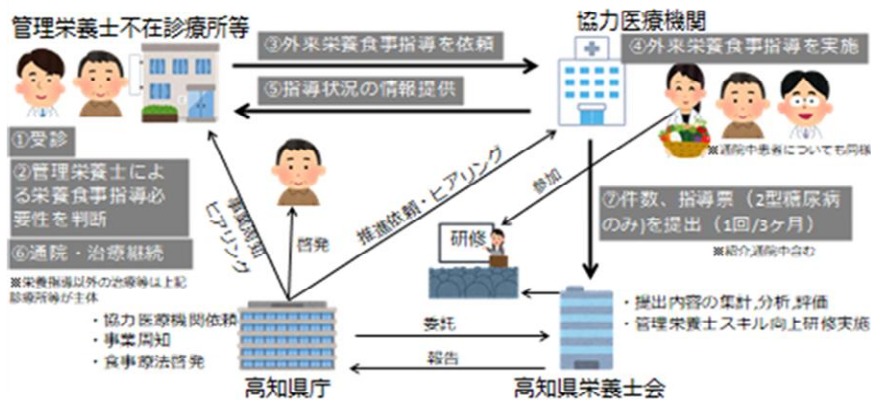
高知地区：R5.2.5（日） 参加人数 46名

講演及び事例発表（3施設）

■外来栄養食事指導件数

年間15,215件（月平均13.6件）

うち糖尿病患者の指導件数 6,886件（月平均6.2件）



分野ごとの健康づくりの推進

第4期よさこい健康プラン21における対策

分野	対策
栄養・食生活	<p>第3期高知県食育推進計画に基づく取組（食育連携推進協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早ね早おき朝ごはん」の普及啓発 ・研修会や講座等を活用した健康的な食生活習慣の形成の啓発 ・野菜の摂取量の増加や果物の適量摂取、減塩の普及啓発 ・生活習慣病予防を目的とした啓発や料理教室の開催 ・地域とのふれあい活動を通じた孤食防止や食生活等の自立支援 ・高齢者への低栄養予防、介護予防のための食生活に関する研修会等の実施
身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育や体育的活動の充実 ・出前講座やマスメディア等による啓発 ・高知家健康パスポートの啓発による運動の促進
休養・こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育や出前講座、マスメディア等を活用した啓発 ・関係機関と連携したそれぞれの世代への心の健康に関する普及 ・職場の健康づくり応援研修会等の実施による従業員への啓発
飲酒	<ul style="list-style-type: none"> ・保健教育を通じた子どもへの飲酒に関する正しい知識の普及啓発、飲酒防止 ・健康教育や出前講座、マスメディア等を活用した啓発 ・職場の健康づくり応援研修会や産業保健との連携により、従業員への啓発
喫煙	(喫煙対策 参照)
歯・口腔	<p>高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく取組 (歯と口の健康づくり推進協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期から、母体の健康状態や子どもの歯科保健の重要性の啓発 ・妊婦歯科健診の実施等による妊娠期の歯周病予防の重要性の啓発 ・フッ素入り歯磨剤の使用やフッ素塗布、フッ素洗口等のフッ素応用を啓発し、学校でのフッ素洗口の実施を推進 ・喫煙や受動喫煙と歯周病との関連等について、正しい知識の普及啓発 ・研修会等の開催による歯科医療関係者の資質向上

分野ごとの健康づくりの推進 令和5年度の取組

分野	取組内容	
栄養・食生活	第3期高知県食育推進計画に基づく取組 （食育連携推進協議会） ①食育の推進 ②食育を担う人材の育成支援、食育団体の活性化	生活習慣病予防の総合啓発 ・ナッジ理論を活用しハードルの低い動作指示をキャッチコピーとした啓発の実施 量販店等と連携したコラボ事業の強化 高知家健康パスポート事業と連携した取組
身体活動・運動	①「高知家健康パスポート」の活用 ②健康教育や出前講座の実施 ③高知県子どもの健康的な生活習慣支援講師の派遣	
休養・こころ		
飲酒		
喫煙		
喫煙	(喫煙対策 参照)	①「高知家健康パスポート」の活用 ②健康教育や出前講座の実施 ③高知県子どもの健康的な生活習慣支援講師の派遣
歯・口腔	高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく取組 （歯と口の健康づくり推進協議会） ①子どものむし歯の格差解消 ②歯周病予防対策の強化 ③在宅歯科医療体制の構築支援 ④オーラルフレイル予防対策 モデル市町村の通いの場でのプログラム（運動・口腔・栄養の複合プログラム）実践の継続	

喫煙対策

第4期よさこい健康プラン21における対策

喫煙対策

(防煙対策)

- ・子どもが喫煙の健康への影響について知り、考える場の提供
- ・母子健康手帳交付時等の機会を利用した喫煙者への保健指導や、妊産婦・乳幼児への受動喫煙防止対策（市町村）
- ・保健教育を通じた喫煙や受動喫煙に関する普及啓発及び喫煙防止対策（学校）

(禁煙支援)

- ・各団体と連携した啓発
- ・禁煙支援体制の強化、特定健診の機会等での保健指導、医療機関・健診機関・薬局等からの禁煙指導、とさ禁煙サポーターズにおける地域での禁煙サポート
- ・禁煙治療を実施している医療機関従事者の資質向上、保健指導実施者の人材育成

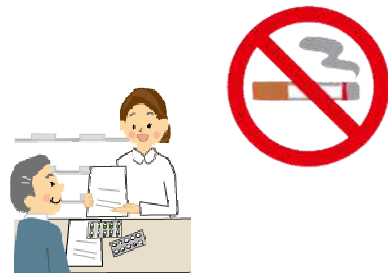
(受動喫煙防止対策)

- ・健康に及ぼす影響等の啓発
- ・職場における受動喫煙防止対策、研修会の開催、労働者等への情報提供（高知労働局、労働関係機関及び高知産業保健総合支援センター）
- ・教育委員会等の関係機関と連携した学校の受動喫煙防止対策の推進

令和5年度の実施

1【禁煙支援】喫煙をやめたい人への支援体制の充実

- (1) 禁煙へのつなぎ
- (2) 人材育成



2【防煙対策】未成年者への喫煙防止教育の充実

- (1) 健康教育



3【受動喫煙防止対策】

健康増進法に基づく受動喫煙対策の推進

1 【禁煙支援】喫煙をやめたい人への支援体制の充実

(1) 禁煙へのつなぎ

①喫煙者に対する、あらゆる機会を用いた禁煙のはたらきかけ

- ・高知家健康チャレンジによる啓発
「禁煙 始めよう まずは禁煙外来へ！」（予定）
「禁煙の味方は、意志ではなく医師です。」（予定）

- ・実施期間：9月にキャンペーン実施



令和4年度のキャッチコピー



令和4年度のチラシ

(2) 人材育成

①とさ禁煙サポーターズフォローアップ事業

目的：平成26年度までに養成した「とさ禁煙サポーターズ」に対し、講習会を実施することで、最新情報の提供やスキルアップを図る。

実施：各福祉保健所圏域

講習内容：「禁煙支援マニュアル」等、講師の作成する資料に基づく、講習、グループワーク等

□とさ禁煙サポーターズの取組

令和2年度に意向調査を行い、専門的な立場で禁煙支援活動を行うサポーターに絞った。
とさ禁煙サポーターズ 55名（令和5年度末時点）

・所属における、禁煙活動

- 例) 薬局において、喫煙者に対し、禁煙指導や禁煙補助薬の使用方法を説明
喫煙者への声かけ活動や、健康教育の実施
母子健康手帳交付時や乳幼児健診等の場において、禁煙指導の実施

・健康づくりイベントにおける啓発活動、禁煙指導の実施

- 例) 赤ちゃん会や、健康まつりなどにおける、禁煙相談コーナー

※新型コロナウイルス感染拡大防止等により、開催イベント減少

- ・健康づくり婦人会員等は団体の活動として、禁煙の呼びかけを継続して行う。

②禁煙支援・治療の指導者トレーニングプログラムの周知

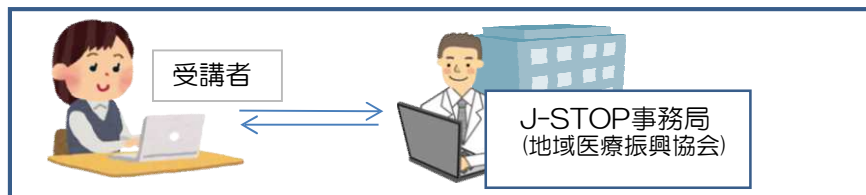
対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、市町村等の保健指導従事者等

目 的：禁煙希望者に対し、より効果的な禁煙治療や保健指導が実施されるよう、関係者のスキルアップを行うための周知

実施方法：WEB（自宅や職場のパソコンにて学習）

講習期間：随時

講習内容：下記のとおり

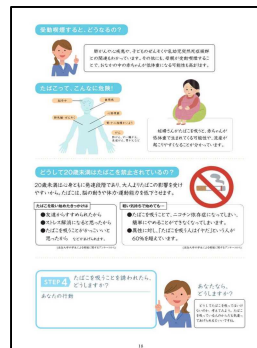


コース名	禁煙治療コース	禁煙治療導入コース	禁煙支援コース
用途	禁煙外来	日常診療 薬局・薬店	地域や職域の 保健事業の場
学習内容 (学習時間の目安)	ニコチン依存症管理料にもと づく禁煙治療 (13～15時間)	短時間でできる禁煙の動機づ けや情報提供 (6～7時間)	短時間でできる禁煙の動機づ けや情報提供、禁煙カウン セリング (7～8時間)
対象	医師やコメディカル	医師やコメディカル、 薬局・薬店の薬剤師	地域や職域の 保健指導者

2 【防煙対策】未成年者への喫煙防止教育の充実

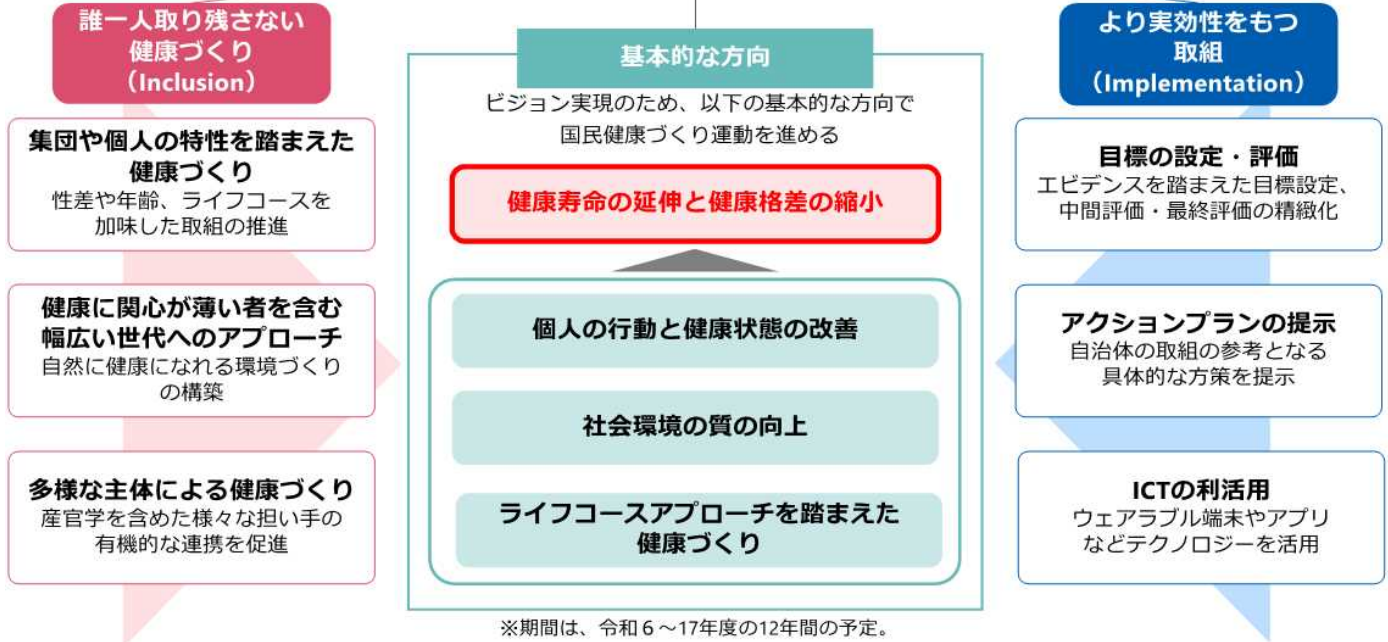
(1) 健康教育

①学校の授業等での副読本（中学生・高校生）を活用した喫煙防止教育の実施



○ 人生100年時代を迎え、社会が多様化する中で、各人の健康課題も多様化しており、「**誰一人取り残さない健康づくり**」を推進する。また、健康寿命は着実に延伸してきたが、一部の指標が悪化しているなど、さらに生活習慣の改善を含め、個人の行動と健康状態の改善を促す必要がある。このため、「**より実効性をもつ取組の推進**」に重点を置く。

ビジョン 全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現



健康日本21（第三次）の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



第5期計画の基本的な方向

基本目標

壮年期の死亡率の改善による「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」

基本方針

第4期（H30～R5）

1 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着

- ・健康的な生活習慣の定着に向けた健康教育

2 働きざかりの健康づくりの推進

- ・健康づくりの県民運動
ヘルシー・高知家・プロジェクト
- ・職域と連携した健康づくり

3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策

- ・がん対策
- ・循環器疾患対策
特定健診・特定保健指導
- ・糖尿病性腎症重症化予防対策

分野ごとの健康づくりの推進

- ・栄養・食生活
- ・運動・身体活動
- ・休養・こころの健康
- ・飲酒
- ・喫煙
- ・歯・口腔

第5期（R6～R17）

1 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着

- ・健康的な生活習慣の定着に向けた健康教育

2 働きざかりの健康づくりの推進

- ・健康づくりの県民運動
ヘルシー・高知家・プロジェクト
- ・職域と連携した健康づくり

3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策

- ・がん対策
- ・循環器疾患対策
特定健診・特定保健指導
- ・糖尿病性腎症重症化予防対策
- 新**・COPD対策
- 新**・骨粗鬆症対策

分野ごとの健康づくりの推進

- ・栄養・食生活
- ・運動・身体活動
- 拡**・休養・睡眠・こころの健康
- ・飲酒
- ・喫煙
- ・歯・口腔

新 社会環境の質の向上（再掲）※

- ・社会とのつながりの維持・向上
- ・誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

※3つの基本方針及び分野ごとの健康づくりの推進において、社会環境の質の向上に係る視点を取り入れる。

計画の期間について

1. 計画期間の見直しの背景

国においては、関連する計画（医療計画、医療費適正化計画、介護保険事業（支援）計画等と計画期間をあわせること、各種取組の健康増進への効果を短期間で測ることは難しく、評価を行うには一定の期間を要すること等を踏まえ、令和6（2024）年度から令和17（2035）年度までの12年間となった。これに伴い、各計画についても作成・見直しのサイクルが一致するよう計画期間を定めている。

2. 第5期計画の期間

高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の計画期間は、令和6（2024）年度から令和17（2035）年度までの12年間とする。なお、令和11（2029）年度で中間見直しを行う。

※次ページのとおり

各計画の計画期間

計 画 名	計 画 期 間												
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
高知県健康増進計画 (よさこい健康プラン21)	第4期(H30～R5)					第5期(R6～R17) ※R11で中間見直し							
高知県食育推進計画	第3期(H30～R5)					第4期(R6～R11)							
高知県歯と口の健康づくり 基本計画	第2期(H29～R3)			第3期(R4～R8)									
高知県保健医療計画	第7期(H30～R5)					第8期(R6～R11)							
高知県循環器病対策推進計画					第1期 (R4～R5)		第2期(R6～R11)						
高知県医療費適正化計画	第3期(H30～R5)					第4期(R6～R11)							
高知県がん対策推進計画	第3期(H30～R5)					第4期(R6～R11)							
高知県認知症施策推進計画				第1期(R3～R8)									
高知県地域福祉支援計画	第2期 (H28～R1)		第3期(R2～R5)			第4期(R6～R9)							
高知県高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業支援計画	第7期 (H30～R2)			第8期 (R3～R5)			第9期 (R6～R8)						
高知県自殺対策行動計画	第2期(H29～R4)				第3期(R5～R9)								
高知県アルコール健康障害 対策推進計画 ※名称変更予定	第1期(H30～R5)					第2期(R6～R11)							
高知県次世代育成支援行動計画 (改定版)	前期計画 (H27～R1)		後期計画 (R2～R6)										
高知県スポーツ推進計画	第2期(H30～R4)				第3期(R5～R9)								

第4期 (H30～R5)

第5期 (R6～R17)

1 「基本目標」の指標

項目	指標
健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小	健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小
壮年期死亡率の改善	脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人あたり)
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人あたり)

項目	指標
健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小	健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小
壮年期死亡率の改善	脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人あたり)
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人あたり)

2 「子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着」の指標

項目	指標
子ども	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合
	朝食を必ず食べる子どもの割合
	肥満傾向にある子どもの割合

項目	指標
子ども	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合
	朝食を必ず食べる子どもの割合
	肥満傾向にある子どもの割合

3 「働きざかりの健康づくりの推進」の指標

項目	指標
一次予防	健康づくりに一步踏み出した方的人数(高知家健康パスポートI取得者数)
	健康パスポートアプリダウンロード件数
	高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業所数

項目	指標
一次予防	(削除)
	健康パスポートアプリダウンロード件数
	高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業所数

4 「生活習慣病の発症予防と重症化予防施策」の指標

項目	指標
がん	がん検診の受診率 *40~69歳対象 子宮頸がんは20~69歳対象 (市町村検診+職域検診)
	がん検診の受診率 (40~50歳代) (市町村検診+職域検診)
	市町村がん検診の精密検査受診率
血管病	特定健診の実施率
	特定保健指導の実施率
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率
	降圧剤の服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合 (特定健診受診者)
	収縮期血圧の平均値 (40歳以上)
	収縮期血圧130mmHg以上の人の割合 (40歳以上)
	—
糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病性腎症による新規透析患者数
	特定健診受診者で糖尿病治療中の者のうち、HbA1c7.0%以上の人の割合
	未治療ハイリスク者・治療中断者に対する指導の成功率
	—

項目	指標
がん	がん検診の受診率 *40~69歳対象 子宮頸がんは20~69歳対象 (市町村検診+職域検診)
	がん検診の受診率 (40~50歳代) (市町村検診+職域検診)
	市町村がん検診の精密検査受診率
血管病	特定健診の実施率
	特定保健指導の実施率
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率
	降圧剤の服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合 (特定健診受診者)
	収縮期血圧の平均値 (40歳以上)
	収縮期血圧130mmHg以上の人の割合 (40歳以上)
	新 脂質(LDLコレステロール)高値の者の減少
糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病性腎症による新規透析患者数
	特定健診受診者で糖尿病治療中の者のうち、HbA1c7.0%以上の人の割合
	未治療ハイリスク者・治療中断者に対する指導の成功率
	新 糖尿病有病者の増加の抑制

項目	指標
—	—
—	—

項目	指標
新 COPD	COPDの死亡率の減少
新 骨粗鬆症	骨粗鬆症健診受診率の向上

5 「分野ごとの健康づくりの推進」の指標

項目	指標
栄養・食生活	適正体重を維持している人の割合 (肥満BMI25以上、やせBMI18.5未満の減少)
	食塩摂取量
	野菜と果物の摂取量
	65歳以上低栄養傾向(BMI20以下)の割合
身体活動・運動	日常生活における歩数
	運動習慣者の割合
休養・こころ	睡眠による休養を十分とれていない人の割合
	—
	自殺者(人口10万人あたり)
飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合

項目	指標
栄養・食生活	適正体重を維持している人の割合 (肥満BMI25以上、やせBMI18.5未満の減少)
	食塩摂取量
	野菜と果物の摂取量
	65歳以上低栄養傾向(BMI20以下)の割合
身体活動・運動	日常生活における歩数
	運動習慣者の割合
拡 休養・睡眠・こころ	睡眠による休養を十分とれていない人の割合
	睡眠時間が十分に確保できている者の増加
	自殺者(人口10万人あたり)
飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合

項目	指標
喫煙	成人の喫煙率
	受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する人の割合
歯・口腔	一人平均むし歯数
	歯肉炎罹患率
	40歳代で進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットあり）に罹患している人の割合
	80歳で自分の歯を20本以上有する人の割合
	定期的に歯科健診を受けている人の割合

項目	指標
喫煙	成人の喫煙率
	受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する人の割合
歯・口腔	一人平均むし歯数
	歯肉に炎症を所見を有する者の割合
	40歳代で進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットあり）に罹患している人の割合
	80歳で自分の歯を20本以上有する人の割合
	定期的に歯科健診を受けている人の割合

6 「社会環境の質の向上」の指標

項目	指標
—	—

項目	指標
新 社会とのつながりの維持・向上	地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合

第5期よさこい健康プラン 21 骨子（案）

第1章 計画の基本的な考え方

- 1 計画の目的
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 他の計画との調和
- 5 前計画の評価
 主な項目の達成状況

第2章 現状と課題

- 1 死亡等の状況
 疾病別死亡数、年齢調整死亡率、平均寿命
 （基本方針(2)、(3)につながる）
- 2 健康寿命の状況
 健康寿命（基本目標につながる）
- 3 生活習慣病の状況
 主要疾患の受療状況、糖尿病人工透析（基本方針(3)につながる）
- 4 健康状態の状況
 肥満（子ども、成人）、高血圧・高血糖・脂質異常者の割合
 （基本方針(1)、(2)、(3)につながる）

第3章 計画の基本的な方向

- 1 基本目標
 壮年期の死亡率の改善による「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」
- 2 基本方針
 - (1) 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着
 - (2) 働きざかりの健康づくりの推進
 - (3) 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策

第4章 具体的な取組み

- 1 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着
 - (1) 家庭・学校・地域との協働
 - (2) 食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及

- 2 働きざかりの健康づくりの推進
 - (1) 健康づくりの県民運動
 - (2) 職域と連携した健康づくり

- 3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策
 - (1) がん
 - (2) 循環器疾患（特定健診含む）
 - (3) 糖尿病性腎症重症化予防

新 (4) COPD

新 (5) 骨粗鬆症

- 4 分野ごとの健康づくりの推進
 - (1) 栄養・食生活
 - (2) 身体活動・運動
 - 拡** (3) 休養・睡眠・こころの健康
 - (4) 飲酒
 - (5) 分煙・防煙
 - (6) 歯・口腔の健康

新 5 社会環境の質の向上（再掲）

(1) 社会とのつながりの維持・向上

(2) 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

※ 3つの基本方針及び分野ごとの健康づくりの推進において、社会環境の質の向上に係る視点を取り入れる。

第5章 計画の推進体制と進行管理

(参考資料)

- 1 各計画の概要
- 2 「第5期よさこい健康プラン 21」指標一覧
- 3 高知県健康づくり推進協議会及び各部会の開催状況
- 4 令和5年度高知県健康づくり推進協議会及び各部会の委員名簿

計画策定等スケジュール

資料5

	令和5年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
健康づくり推進協議会			<ul style="list-style-type: none"> ◆第1回 ・第4期計画評価 ・第5期計画基本方針・骨子案 <p>6/15 (木) 開催</p>				<ul style="list-style-type: none"> ◆第2回 ・目標値案 ・計画原案 			<ul style="list-style-type: none"> ●郵送による意見照会 	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> ◆第3回 ・第5期計画承認 		
各専門部会								<ul style="list-style-type: none"> 子ども支援 特定健診・保健指導事業評価 たばこ対策 地域・職域連携検討 		※県が開催する(委託業務外)				
											2月議会への報告	第5期「よさこい健康プラン21」策定		